

げんてん

(日本医科大学第一内科学教室・同窓会年報)

第十一号

(1998年度)

付 日本医科大学第一内科学教室業績集

(1998年4月～1999年3月)

付 日本医科大学第一内科同窓会名簿

日本医科大学第一内科学教室・同窓会発行

目次

| | | |
|-------------------------|------|-----|
| はじめに | 高野照夫 | 1 |
| 寄稿 | 高野守人 | 3 |
| ごあいさつ | 宗像一雄 | 5 |
| I 故高橋孔一先生の思い出 | | 6 |
| II 故大竹 稔元教授を偲ぶ | | 7 |
| III 故遠藤孝雄助教授を偲ぶ | | 8 |
| IV 第一内科学教室、同窓会（げんてん会）記録 | | 11 |
| V 第一内科学研究活動状況 | | 13 |
| 不整脈研究グループ | | |
| 心臓カテーテル研究グループ | | |
| 心不全研究グループ | | |
| 心エコー研究グループ | | |
| 運動負荷研究グループ | | |
| 肝臓グループ | | |
| 糖尿病グループ | | |
| VI 医局員勤務表 | | 20 |
| VII CC・CPC | | 22 |
| VIII 学位取得者 | | 24 |
| IX 1998年度研究業績 | | 25 |
| X 同窓会会員名簿 | | 79 |
| 編集後記 | | 100 |



はじめに

第一内科主任教授 高野 照 夫

1999年は本当に、ほんとうに忙しい毎日でありました。げんてん会の先生方には、教室に、また各医局員に多くのお心づかいをくださり、誠にありがとうございました。

特筆すべきことは、第47回日本心臓病学会パネルディスカッションにおいて「急性冠症候群の初期診断と病診連携に関する検討：東京地区循環器実地診療医と共同研究(Tokyo Troponin T Trial)から」というタイトルで、本会の大林完二先生を中心としたグループと第一内科の現役医師との共同作業が発表されたことでありました。先輩医師と現役医師の濃密な関係がすばらしい発表になった、と多くの学会員から評価を受けました。大変に喜ばしいことです。また、第253回日本消化器病学会関東支部例会(荒牧琢己教授)と、日本循環器学会関東甲信越地方会第171回学術集会(高野照夫)の両学会も諸先輩方の御援助により盛大に開催されました。改めて御礼と感謝を申し上げます。

一方、高橋孔一先生(享年68才、平成11年1月2日)、大竹 稔教授(享年68才、平成11年1月27日)、遠藤孝雄助教授(享年48才、平成11年10月19日)、の御逝去という悲しい出来事がありました。高橋先生は木村内科の名医局長であり、その後緑風荘病院において地域医療に御尽力され、個人的に私も大変なお世話になりました。大竹先生といえば、糖尿病の診療と丸山ワクチン研究所所長として、多くの患者さんから敬愛を受けていました。また、げんてん会の名づけ親でもありました。遠藤助教授は、卓越した知力、見識と指導力を持ち、実験を中心とした虚血性心疾患研究班の長として、多くの若い医師を育成しました。また、英文論文作成の医局きっての牽引車でありました。すぐれた人物を3人も失ってしまい、痛恨の極みであります。先生方の御弔問を頂き御礼申し上げます。

話題は変わりますが、第一内科では現在12人の医局員が英国と米国に留学し、研究活動を行っています。留学が終わると私達のところへ挨拶に来るのが恒例です。その彼等の顔は明るく、希望に満ちたすばらしいものです。当然留学したときの知識と成果を十分に活用して、わが国の、大学の、また第一内科のため一生懸命に仕事をやるぞと決意が満ちみちております。その帰国医員らの心を察すると、研究に対する糸口をみつけることができた、そこを中心により大きく発展させ、医学会に貢献しようと考えているからだと思われました。小さな発見から大きな、大きなものへと進展させていく「そこをみつけたのだ」と思います。

私は、日常の生活や診療中のできごとを、自分の求めている研究と常に結びつけて考えることが、すなわち正確な観察のなかの小さな発見および発想が糸口となって、新知見を大きく発展すると考えてます。

私の強調したいところは、発見や発想は目の前にあるということです。東京新聞の筆談に、「日本の住所表示は都市、町村、番地、名前と広いところから狭いところへ書いていく。一方、欧米では逆に名前、番地から都市、国へ延びていく。これは、日本人の狭いところへ縮こまる傾向にあるのだろうか？」とありました。研究には欧米型の方が良いと、考えます。丁度その日、若い医局員の帰国の挨拶があったのは偶然でしょうか。本年度は、石川昌弘、椎葉邦人、田近研一郎、舘岡克彦、吉川雅智、福島正人、美浦和代の7名の新進気鋭の新入医局員を迎えることができました。現在、研修医として診療に毎日励んでいます。立派な臨床家や研究者として成長することを心から期待しています。

第一内科はげんてん会から物心両面にわたって多大な御援助を受けています。感謝を申し上げ、会員皆様の御健康と、本会および日本医科大学のますますの発展をいのります。さあ、全員で心をつちにして21世紀の新しい扉を開きましょう。

— 寄稿 —

「第一内科の歴史」



げんてん会会長
高野守人

“げんてん”への寄稿、10月中旬頃迄にとの依頼を医局長より、9月下旬に受け、快諾したものの、さて何かと、まわりを見回した所、最近調べた「第一内科の歴史」のメモがありましたので、書かせて頂くことにしました。

それには先ず密接な関係にある、日本医大そのものの歴史を調べてみるべく、あちこちの本を楽しく、みて行きまして痛感しました事は、明治時代は医学に於いても「官学優先」即ち「官尊私卑」でありまして（森鷗外等の文にある如く）、野口英世を始め優秀な人材をあれ程出した医学の私立済生学舎（校長 長谷川 泰）も廃校のやむなきに至り、放り出された当時の在校生達は苦労苦難を乗り越えいくつかの集まりを作り、その内の大きな医学研究会の一つが明治37年4月15日、日本医学校（校長 山根 政次）として誕生開講した。

然し、やがて文部省よりの厳しい「専門学校令」（私立医学専門学校指定規則）が出て、それに合うべく、苦勞し金を集め設備し、本郷根津の眞泉病院（昔の遊廊後利用し出来たもの）を付属病院とし、明治45年7月10日、財団法人私立「日本医学専門学校」が誕生した。

此の日本医学専門学校が暫く続き、待望の大学、日本医科大学が大正15年2月25日に認可、誕生したのである。それは平坦でなく、実に違しい道のりであったと思います。

そこで日本医科大学第一内科の起源を思いますと、前述の眞泉病院は付属病院と申しても外科と内科が主でありました。次に大正4年4月に、本駒込千駄木町59番地の現在の病院の所在地に、大学の付属病院として木造の医院をつくり、開院式を行なった。此れが真の意味における付属病院の始まりである。病院長は西川義方であって、内科部長も兼ねた。そして医学士米倉昌達等此れを補佐し、患者の診療を行っていた。

従って少なくとも84年となるのであります。それに日本医学専門学校（84年目）、日本医学校（95年目）、済生学舎（123年目）迄入れると実に120年以上になる訳ですが、此れ等は奥ゆかしく、源流として置くのも良い考えの一つかとも思います。いずれにしても立派な歴史だと思えます。

次に第一内科の主任教授（部長）は、

| | | | |
|----|-----|-------|------------------|
| 前記 | 第1代 | 西川 義方 | 「大正 4 年（1915）～」 |
| | 第2代 | 國崎 政治 | 「大正 11 年（1922）～」 |
| | 第3代 | 行徳 健助 | 「昭和 4 年（1929）～」 |
| | 第4代 | 木村 栄一 | 「昭和 34 年（1959）～」 |
| | 第5代 | 奥村 英正 | 「昭和 57 年（1982）～」 |
| | 第6代 | 早川 弘一 | 「平成 3 年（1991）～」 |
| | 第7代 | 高野 照夫 | 「平成 11 年（1999）～」 |

此の様な素晴らしい歴史の流れの内に身を置く事の出来る、我々“げんてん会”の者は、仕合わせ者だと思います。

種々の事はあるかと思いますが、「小異を捨てて大同につく」前向きな明るい気持ちで歴史に感謝し、先輩に負ける事無く頑張る頂き、日本医大の第一内科を益々発展させて頂きたいと思います。

（文中敬称略）



ごあいさつ

第二病院内科教授 宗 像 一 雄

平成 11 年 4 月より、原部長の後任として、第二病院内科部長として、赴任しました。第二病院内科は、昭和 12 年 6 月の日本医科大学丸子病院としての開院以来、60 年以上の歴史があり、私は第六代目の部長にあたります。内科学第一教室に所属し、従来は付属病院第一内科より派遣の医局員と、第二病院へ直接入局した医局員より構成されていました。私の赴任と同時に第二内科より北村助教授と山室医員とに来てもらうことになり、私以下、助教授 2 名、講師 1 名、助手 11 名、研修医 2 名の総勢 17 名で、内科系疾患全般の診療に努めています。診療範囲は各スタッフの専門性を生かし、循環器疾患、脳・神経疾患、腎疾患および消化器・肝臓疾患を中心に診療しておりますが、血液疾患、代謝疾患、呼吸器疾患および自己免疫・アレルギー疾患等の患者も多く診療範囲は多岐に渡っております。集中治療室および最新の心臓カテーテル機器が完備しており、急性冠疾患の急性期治療に十分な体制があります。また、6 月より斎藤寛和講師も加わり、不整脈診療にも十分な体制を整えつつあります。内科により管理・運営されております人工透析室は創立 20 年を迎え、新規導入患者が 500 名を越えております。透析導入から動静脈シャント形成術まで一貫して担当しております。消化器内視鏡では、上部消化管および下部消化管疾患の内視鏡的診断・治療にあたっており、内視鏡下でのポリペクトミー、出血性潰瘍の治療、食道静脈瘤の治療を実施しております。

第二病院に赴任しまして、今さらながら内科疾患の多様性に感動し、浅学非才を恥じております。今までの第二病院内科に勤務されました歴代の部長はじめ多くの先輩医局員の努力を無にすることのないよう、各スタッフと協力し、専門性を生かし地域医療へ貢献すべく努力する所存であります。また、同時に老人病研究所や各診療科と協力体制を整え、研究体制をより一層充実できるように努力する所存であります。今まで以上のご指導・ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

1 故高橋孔一先生の思い出

山崎 登志雄

平成 11 年 1 月 2 日、高橋孔一先生は難治性濃胸により 68 才の生涯を閉じられました。孔一さんは、昭和 31 年日本医大卒業でしたので私の 1 年先輩にということになります。共に行徳内科に入局し、すぐ木村栄一教授着任によって木村内科創世期というか揺籃期と一緒に勉強しました。彼（高橋先生というのも、いちいち孔一さんというのも一才感覚的にぴったりしないので、申訳ないが彼と書かせていただきます）は、入局前に半年位他の病院に勤務してからこられたので、私達昭和 32 年卒組とグループになって行動しました。その入局前に経験した病院というのは、ある意味で有名な佐久総合病院だったということです。彼はあそこの病院の意義を理解すべく就職したようですが、聞くと知るのとは違っていたようで早々に見切りをつけ、大学の医局を希望してきたとのことをあとで、彼独特のシニカルな微笑とともに煙草を苦しそうに吸いながら話してくれたことがあります。偶然のことに、彼は教養時代の横浜市大医学進学課程でも私の 1 年上にいらしたとのことでした。当時の医学部は昭和 30 年卒から 35 年卒の間のクラスは現在の学制と異なり、2 年間の教養課程を終了した段階で医学部専門課程 4 年へのためもう 1 回入試があり、その際には、必要単位を所有していれば日本全国の何処の医大を受験してもよいわけで、変則的な制度下にあったわけです。私と彼は横浜市大にあった医大進学課程で一年違いだったわけですが、2 年と 1 年と合わせてもたかだか 100 名余でしたので、合同講義がしばしばありました。ほとんど顔見知りの方ばかりでしたが、彼は物静かな、小柄でやせ型というためか、実は教養課程では存じあげていませんでした。しかし、同じ内科医局員になったあとは、時々その頃のことについても話をすることもありましたが、帰宅が同じ電車の時など、彼は鶴見で母親が開業しておられ、私は桜木町ということで、同じ京浜東北線の通勤仲間だったのです。

さて、木村教授のご指導により、我々も徐々に 1 人前になり、有給医局員のポストも巡ってきましたが、高橋さんと私たちの同期の盤若、八幡、中村、山崎と 5 名でいろいろ分担して仕事をするようになりました。考えてみるとこの 5 人のうち中村は北海道の旭川出身でしたが札幌の病院に就職し、そして高血圧が原因の脳出血で死亡してしまいました。盤若はまだ記憶に新しいと思いますが、老人科教授在職中に大腸腫瘍で死亡しました。今回高橋孔一さんが亡くなられ、当時の 5 人のうち生き残ったのは八幡と私の 2 人だけです。淋しい限りです。

牛山医局長のあと、彼は医局長となりました。新入局者も増え、医局の行事も多くなり雑事の処理に多忙であったと思いますが、その落ち着いた性格どおり、着実に黙々と仕事をこなしていました。たった一度だけ佐竹教授のことのあったあと、「山崎君結構大変だったんだよ」とポツリ一言私に言ったのは、彼にとって珍しく心の奥底をのぞかせた言葉で、今でも私の耳に残っています。無事に役目を終わり盤若に医局長を申し送り、緑風荘病院に就職したようですが、前から母親の跡では開業しないと聞いていたので予定通りであったようです。何日のことであったか時期は忘れましたが、検査所から彼にぴったりの似合いの方をみつけて結婚されました。落ち着いた控えめの方でした。きっと二人で静かな、ゆったりとした家庭を築いておられたことでしょう。奥様にはこの文中で心からお悔やみを申し上げます。

さて、我々 5 人のうち 3 人は冥界の人となってしまいました。恩師や先輩と共に現世のことでも語っているかもしれませんが、残った八幡と私は彼も含めてその分まで長生きするつもりです。

II 故大竹 稔元教授を偲ぶ

太田 眞夫

私が大竹先生と初めてお会いしたのは、ベッドサイドの実習で当時のA棟7階の病棟を廻ったころと記憶しております。まだ学生でしたが、医局の張りつめた雰囲気は十分感じられました。先生は当時病棟長として現場をまとめられており、その行動力・判断力には驚嘆するとともに畏敬の念を抱きましたが、一方で牛若丸のような神出鬼没ぶりには驚愕したものです。入局後は糖尿病の診療・研究について直接の指導を受けることになり、公私にわたり数多くの接点ができました。先生の業績・功績やお人柄については、「げんてん」を手にする方々をご承知のことと思いますが、永く接することができた者として、あらためてお人柄を示すいくつかのエピソードをご披露して、哀悼の意に代えたいと思います。

先生は日常の診療においても愛情を持ってひとりひとりの患者に接しているのがよくわかりました。ある日、たしか糖尿病外来を私が担当していた時と記憶しておりますが、当日非番であった先生が別の用事で診察室に入って来られました。たまたま居合わせた患者は先生の古い患者でもあり、ちょうど背中を訴えていたところでした。単なる筋痛であったと思いますが、先生はかなり強い痛みを訴えるのをご覧になると、「ちょっと待っていて」の一言を残してすぐに部屋を出て行かれました。薬剤科にうまく交渉されたのでしょうか、貼付薬を手数分して戻ってこられた先生は、患者に再度背中を出すように伝えるや自らその貼付薬を貼ってあげたのです。処方箋に書いておくように、との先生の声を診察医である私はあつけにとられて聞いていましたが、患者は大感激をしておりました。似たようなエピソードは私に限らず周囲の多くの人々が見聞していることと思います。とにかく相手の身になって考え行動する、というのが先生の人生の基本的ポリシーでした。

最後に闘病のご様子を記しておきたいと思います。先生は発病当初からかなり正確にご自身の病状を把握されておりました。そして、新たな事態が発生するとその分野のエキスパートを求めて全面的に治療を委ね、徹底的に病氣と闘うという姿勢を貫き通しました。みごとの一言に尽きます。ただ、先生も一人の人間、気弱になられることもあったのでしょうか、時々最新の資料を持って私のところに来られ、意見を求められることがありました。「大丈夫ですよ」との声を保っていることが言外に感じられ、心の痛む思いをしたものです。

自信の意識が薄れていくことを感じとられた先生は、外来診療中であつた私を病室に呼んでくださいました。そこでお別れの挨拶をしてからまもなく1年、68歳の若さで旅立たれたことがいまだに残念でなりません。「大竹先生らしい」といってよいようなむしろ人間くさい愉快な(?)エピソードもいくつか残され、人として医師として本当に尊敬のできる先輩でした。心から冥福をお祈りいたします。

III 故遠藤孝雄助教授を偲ぶ

—Science とは Research し続けることによって得られる真実である—

第一内科医局長 木内 要

1999年10月19日午前2時53分、遠藤孝雄助教授は本学付属病院集中治療室において肝硬変のため逝去されました。享年48歳という若さでした。先生は、1951年1月25日栃木県足利市でお生まれになりました。1969年に栃木県立足利高等学校を、1975年には日本医科大学を卒業し、当時木村栄一教授が主催していた内科学第一講座に入局、1980年から1982年まで米国 Deborah Cardiovascular Research に留学、1989年には医学博士を授与され、1993年に講師、1999年には助教授に任命されました。この間、1983年より1986年までA棟の病棟長を、1992年から1993年まで病棟医長を務められ、多くの貴重な疾患を発見し、さらにそれらを Case report として英文で報告しました。

先生は今年6月、北海道大学第一外科、藤堂 省教授のもと、米国での肝臓移植を行うための準備をしておりました。8月11日、特発性細菌性腹膜炎を併発し北海道大学付属病院集中治療部へ緊急入院となり、血漿交換、血小板輸血、持続的血液濾過透析などを施行しましたが、8月27日大量吐血し、人工呼吸器下の管理となりました。高野照夫主任教授指示のもと、私と佐藤直樹先生と麻酔科の池崎先生で小型ジェット機をチャーターして8月31日北海道大学付属病院集中治療部から日本医科大学付属病院集中治療室に連れて帰りました。その後、集中治療室のスタッフによる懸命の治療により病状は改善し、日本での死体肝移植の登録目前までいきましたが、肺炎から敗血症を併発し亡くなりました。

遠藤孝雄先生は私が入局した1984年には既に米国留学から帰国しており、A棟の病棟長でした。当時A棟に勤務していた清野先生、佐々木先生、堀川先生、寺田先生、草間先生、子島先生といったそうそうたるメンバーを卓越した指導力でまとめあげ、カンファレンスは Internal Medicine そのものでした。何か誤った発言をすると、「誰に聞いた？どこに書いてあった？著者は？全然ダメ、調べ直し、ハイ宿題」という言葉が飛び交い病棟カンファレンスは緊張の連続でした。日本語の教科書を読んでいるのが見つかり、「ダメ、ダメ、ダメ、こんな本を読んでいるのは」と言っごみ箱に捨てられ、先生がいなくなるとごみ箱から拾うこともしばしばでした。ある日、先生に呼ばれて研究棟に行くと、先生は犬の実験をしておられました。当時、再灌流により心筋梗塞サイズが縮小し、死亡率が減少することが知られていましたが、薬剤を併用することで不整脈、心筋梗塞サイズ、死亡率をさらに減少させることができるのではないかという研究をしておられました。この研究は1986年の *Circulation* 74:420-430 に掲載され、先生の学位論文にもなっております。当時は研究設備も乏しく、時間も限られていたため、金曜日の回診後に実験を行ってしまいました。感心した(つらかった?)のはどんなに遅くなっても、忙しくても実験を中止する

ことがなかったということです。そのため実験の開始が遅れると終わるのが翌日の2時過ぎになることもしばしばでした。また、毎週先生を中心に勉強会を行っていましたが、私は当時よく誤訳をして先生に叱られていました。この勉強会も開始が何時になっても中止になることは私が留学する1990年まで一度もありませんでした。私は、先生と子島先生の紹介でHarvard大学、Braunwald教授(実際の指導はCirculation ResearchのChief Editorを8年間努めたStephen F. Vatner教授でした)のもとに留学しましたが、私は1993年5月10日Braunwald教授と話をしている時に、先生の研究哲学がBraunwald教授やVatner教授と同じであるということに気がつき感銘を受けたことを今でも時々思い出します。MedicineとはScienceに支えられたArtであるといったのは確か米国の内科医William Oslerだったと思いますが、先生からは、*Science*とは*Research*し続けることによって得られる真実である、という研究哲学を教えられました。34番目の論文、Famotidine and acquired long QT syndromeは先生自身がテーマです。ひとり黙々と英語の原著論文を書き続けた遠藤孝雄先生の業績の一部を紹介致します。

先生のご冥福を心よりお祈りしております。

Manuscripts:

1. Endo T, Okumura H, Kikuchi K, Munakata J, Otake M, Nomura T, Asakawa H: Immunoglobulin E (Ig E) multiple myeloma. A case report and review of the literature. *Am J Med* 1981;70:1127-1132.
2. Seino Y, Takano T, Endo T, Obayashi K, Hayakawa H, Vyden JK, Rose H, Kimura E: Unloading effects of vasodilators on peripheral circulation and cardiac hemodynamics in patients with acute myocardial infarction. *Jpn Heart J* 1982;23:905-918.
3. Endo T, Ribeiro LGT, Cheung W-m, Faria DB, Petranto M, Maroko PR: Relationship between the extent of the hypoperfused zone of the myocardium and the occurrence of ventricular fibrillation. *Am Heart J* 1983;105:915-920.
4. Gessman LJ, Agarwal JB, Endo T, Helfant RH: Localization and mechanism of ventricular tachycardia by ice mapping 1 week after the onset of myocardial infarction in dogs. *Circulation* 1983;68:657-666.
5. Gessman LJ, Endo T, Egan J, Gallagher JD, Hastie R, Maroko PR: Dissociation of the site of origin from the site of cryo-termination of ventricular tachycardia. *PACE* 1983;6:1293-1305.
6. Takano T, Endo T, Saito H, Ida T, Tanaka K, Osaka S, Ikeshita M, Yamate N, Hayakawa H: Clinical usefulness of intraaortic balloon pumping in acute myocardial infarction complicated with cardiogenic shock, ventricular septal perforation and mitral regurgitation. *Jpn Circ J* 1984;48:678-689.
7. Takano T, Tanaka K, Endo T, Nagamine K, Katoh T, Hayakawa H, Hirosawa K: CCU network as primary care of acute myocardial infarction. *Jpn Circ J* 1984;48:690-697.
8. Takano T, Endo T, Tanaka K, Seino Y, Nitta T, Matsuyama Y, Koh M, Hayakawa H: Effects of positive end-expiratory pressure ventilation and extracorporeal ultrafiltration method in patients with refractory heart failure. *Jpn Circ J* 1986;50:359-367.
9. Endo T, Nejima J, Fujita S, Kiuchi K, Iida N, Kikuchi K, Hayakawa H, Okumura H: Comparative effects of nicardipine, a new calcium antagonist, on size of myocardial infarction after coronary artery occlusion in dogs. *Circulation* 1986;74:420-430.
10. Takano T, Endo T, Tanaka K, Hirosawa K, Yamaguchi T, Saito S, Kammatsuse K, Nakata Y, Yabuki S, Kamishima G, Irie A, Niitani H, Tanaka T, Takahashi S, Igarashi M, Ueda K, Kimura M, Sato T, Motomiya T, Ishii T, Okada M, Watanabe H, Nakanishi N: Current status of prehospital care of patients with acute myocardial infarction in Tokyo: analysis of 3-year experience with coronary care unit network. *Jpn Circ J* 1987;51:338-343.
11. Endo T, Nejima J, Kiuchi K, Fujita S, Kikuchi K, Hayakawa H, Okumura H: Reduction of size of myocardial infarction with nicorandil, a new antianginal drug, after coronary artery occlusion in dogs. *J Cardiovasc Pharmacol* 1988;12:587-592.

12. Koumi S, Endo T, Hata N, Takayama M, Sugiki Y, Atarashi H, Hayakawa H, Okumura H: Coronary artery-left ventricular fistulae with atrial septal defect. *Cardiology* 1989;76:461-464.
13. Endo T, Kiuchi K, Sato N, Hayakawa H, Okumura H: Does the extent of the zone at risk after coronary artery occlusion influence the percentage of the zone that evolves to infarction? *Cardiology* 1990;77:112-120.
14. Endo T, Kiuchi K, Sato N, Maroko PR: Sustained beneficial effects of gallopamil(D600) on size of myocardial infarction 24 hours after coronary artery occlusion in dogs. *Am Heart J* 1990;119:1002-1007.
15. Endo T, Koumi S, Katsuta Y, Hayakawa H, Okumura H: Multiple coronary arteriovenous fistulae associated with polymyositis. *Cardiology* 1990;77:58-61.
16. Koumi S, Endo T, Okumura H, Yoneyama K, Fukuda Y, Masugi Y: A case of Takayasu's arteritis associated with membranoproliferative glomerulonephritis and nephrotic syndrome. *Nephron* 1990;54:344-346.
17. Endo T, Sato N, Hayakawa H, Maroko PR: Reduction in myocardial hemorrhage and the extent of necrosis by gallopamil(D600) in dogs with coronary artery reperfusion. *J Cardiovasc Pharmacol* 1991;18:739-745.
18. Endo T, Sato N, Kaneko H, Kiuchi K, Fujita S, Nejima J, Hayakawa H, Suzuki Y: Regional myocardial blood flow measurement with radioactive microspheres in dogs with myocardial ischemia. *J Nippon Med Sch* 1991;58:696-702.
19. Miyauchi Y, Endo T, Kuroki S, Hayakawa H: Right atrial myxoma presenting with recurrent episodes of pulmonary embolism. *Cardiology* 1992;81:178-181.
20. Takano H, Endo T, Saito T, Hayakawa H: Extensive calcification in infarcted myocardium: diagnostic value of ultrafast computed tomography. *Cardiology* 1992;81:258-261.
21. Tomita Y, Endo T, Takano T, Hayakawa H, Tamura K, Sugisaki Y: Extensive hemorrhagic myocardial infarction associated with left atrial myxoma. *Cardiology* 1992;81:384-388.
22. Sato N, Endo T, Kiuchi K, Hayakawa H: Effects of a thromboxane synthetase inhibitor, Y-20811, on infarct size, neutrophil accumulation, and arrhythmias after coronary artery occlusion and reperfusion in dogs. *J Cardiovasc Pharmacol* 1993;21:353-361.
23. Yahata S, Endo T, Kawaguchi N, Aoki S, Katsuta Y, Hayakawa H: Dermatomyositis-polymyositis and malignancy. Is there a direct relation? *J Nippon Med Sch* 1993;60:50-53.
24. Endo T, Koike J, Kusama Y, Katsuta Y, Hayakawa H: Spinal cord sarcoidosis. [letter] *Neurology* 1993;43:1059-1060.
25. Endo T, Kawaguchi N, Yashima M, Tei H, Hayakawa H: Polymyositis-dermatomyositis and non-Hodgkin's lymphoma. *Intern Med* 1993;32:487-489.
26. Kaneko H, Endo T, Saitoh H, Katsuta Y, Aramaki T, Hayakawa H: Primary biliary cirrhosis associated with multiple myeloma. *Intern Med* 1993;32:802-805.
27. Yahata S, Endo T, Honma H, Ino T, Hayakawa H, Ogawa M, Hayashi H, Kumazaki T: Sunray appearance on enhanced magnetic resonance image of cardiac angiosarcoma with pericardial obliteration. *Am Heart J* 1994;127:468-471.
28. Saeki K, Endo T, Tomita Y, Hayakawa H: A case of spontaneous coronary dissection associated with acute myocardial infarction and stroke. *Jpn Heart J* 1994;35:237-240.
29. Ono T, Endo T, Saitoh H, Tomita Y, Hayakawa H, Ikeshita M, Tanaka S: An inflammatory abdominal aortic aneurysm presenting with acute dissection of the descending thoracic aorta. A case report. *Vasc Surg* 1994;28:495-500.
30. Kaneko H, Endo T, Kiuchi K, Hayakawa H: Inhibition of nitric oxide synthesis reduces coronary blood flow response but does not increase cardiac contractile response to β -adrenergic stimulation in normal dogs. *J Cardiovasc Pharmacol* 1996;27:247-254.
31. Endo T, Kaneko H, Kiuchi K, Fujita S, Yamamoto T, Takagi G, Takahashi N, Asai K, Suzuki I, Nejima J, Suzuki Y, Hayakawa H: Does inhibition of coronary nitric oxide synthesis alter coronary vascular tone in normal dogs? *J Nippon Med Sch* 1996;63:154-160.
32. Kitayama H, Kiuchi K, Endo T, Hayakawa H: The potential value of cardiac ultrafast computed tomography for detecting atrial thrombi in chronic atrial fibrillation. *Am J Cardiol* 1997;79:1292-1295.
33. Kiuchi K, Endo T, Nejima J, Okamoto K, Takayama N, Takano T, Hayakawa H: Purulent pericarditis with tamponade caused by *Salmonella* enteritidis. *Jpn Circ J* 1998;62:139-141.
34. Endo T, Katoh T, Kiuchi K, Katsuta Y, Shimizu S, Takano T: Famotidine and acquired long QT syndrome. [letter] *Am J Med* 1999, in press

IV 第一内科学教室、同窓会(げんてん会)記録

本年度は主催学会も多く、また高野照夫先生が主任教授に就任、遠藤孝雄助教授が逝去され、同窓会としまして多くの行事がありました。どの会も無事終了することが出来たのも、ひとえに第一内科同窓会の皆様のお力の賜であります。げんてん会の皆様に深く感謝し、御礼申し上げます。

1) 平成 11 年げんてん会

平成 11 年 2 月 27 日(土)、池之端文化センターにおいてげんてん会が開催され、同窓会会員 34 人、現役医局員 30 人の出席を頂きました。総会に先立ち、筑波大学循環器内科学主任教授山口 巖先生より「不整脈に対する自律神経の関与について」についての講演が行われました。また、早川弘一学長より、高野照夫先生の主任教授就任が報告されました。総会においては、会計報告が全会一致で承認されました。学会については、第 253 回日本消化器病学会関東支部例会、第 6 回心血管イメージング研究会、および第 171 回日本循環器学会関東甲信越地方会の報告が行われ、また、開催予定の第 28 回日本集中治療医学会総会(2001 年、会長：高野照夫)が紹介されました。

2) 平成 12 年度げんてん会ご案内

日時：平成 12 年 2 月 19 日(土)

会場：池之端文化センター

台東区池之端 1-3-45

TEL：03-3822-0200

多数の方々のご参加をお願い致します。

3) 第 171 回日本循環器学会関東甲信越地方会

日時：平成 11 年 2 月 20 日

会場：文京区民センター

会長：高野照夫

平成 11 年 2 月 20 日、文京区民センターで第 171 回日本循環器学会関東甲信越地方会を開催しました。皆様のご協力により一般演題 85 題を戴き、また学会参加者も 455 人と大勢の方々に来て頂き活発な討論により実りある地方会になりました。本学会の運営にお力添えを頂いたげんてん会の皆様に深く感謝し、御礼申し上げます。

4) 第 253 回日本消化器病学会関東支部例会

日時：平成 11 年 2 月 20 日

会場：日本海運倶楽部

会長：荒牧琢己

平成 11 年 2 月 20 日、日本海運倶楽部で第 253 回日本消化器病学会関東支部例会を開催しました。皆様のご協力により一般演題 117 題を戴き、また学会参加者も 550 人と大勢の方々に来て頂き活発な討論により実りある地方会になりました。本学会の運営にお力添えを頂いたげんてん会の皆様に深く感謝し、御礼申し上げます。

5) 第 6 回心血管イメージング研究会

第 6 回心血管内イメージング研究会が水野杏一会長のもと平成 10 年 12 月 4 日、5 日の 2 日間に亘り、東京半蔵門の東條会館にて開催されました。本研究会は、心血管疾患における画像診断をはじめとする診断法についての研究発表、論議の場として代表世話人の東邦大学第三内科 山口徹教授が平成 4 年に東京で第一回を開催されてから今回で第 6 回となりました。今回、参加者は実に 250 人を越え、シンポジウムを含め 60 題以上の演題の他、国外からランチョンパネルを含む招請講演に 5 人の著明な先生方をお招きしました。Michigan 大学の Dr.Abera に血管内視鏡による vulnerable plaque の診断を、Ceders Sinai Medical Center の Dr.Siegel に血管内超音波による冠動脈リモデリングについてを、Wake Forest 大学の Dr.Braden に IVUS guided lesion specific interventional therapy を、St.Louis 大学の Dr.Donohue に Doppler flow によるステント植込術の適応とその結果についてを、Catharina Hospital の Dr.Bonnier に圧力ワイヤーを用いた冠動脈インターベンションの決定についての御講演いただき、いずれも update で非常に興味深い内容でありました。また、シンポジウムをはじめ一般演題においても熱い討議が交わされ、誠に充実した会となったことは我々運営委員一同大変うれしく思いました。これも先輩諸先生からの暖かい御支援なくしては到底なし得るものではなかったと考えます。心より厚く御礼申し上げます。有り難うございました。(運営委員 酒井俊太)

6) 高野照夫主任教授就任記念祝賀会

高野照夫主任教授就任記念祝賀会が平成 11 年 6 月 21 日(月)、帝国ホテル 3 階「富士の間」にて開催されました。大塚敏文日本医科大学理事長、早川弘一日本医科大学学長、細田瑛一榊原記念病院院長、上松瀬勝男日本大学医学部第二内科学教室教授、平澤博之千葉大学医学部救急部、集中治療部教授(第 26 回日本集中治療医学会会長)、鯨岡兵輔衆議院議員をはじめ六百人を越える出席者で盛況でした。出席者より、高野教授の今後の活躍に大変期待しているとお話があり、高野先生からは若い医局員に火をつけ全人教育、全人医療を行いうる医師の育成を目指すとお話がありました。

7) 故大竹 稔元教授葬儀式

平成 11 年 1 月 27 日(水)、午後 1 時 5 分、大竹稔元教授は本学付属病院にて逝去されました。享年 68 才でした。故大竹 稔元教授のお通夜が 1 月 29 日(金)午後 6 時から、告別式が 30 日(土)正午より文京区白山にある寂園寺で執り行われました。また 2 月 28 日、日本医科大学同窓会、およびげんてん会の合同葬が本学大講堂にて執り行われました。

8) 故遠藤孝雄助教授葬儀式

平成 11 年 10 月 19 日(火)、午前 2 時 53 分、遠藤孝雄助教授は本学付属病院集中治療室において肝硬変のため逝去されました。享年 48 歳でした。故遠藤孝雄助教授のお通夜が 10 月 22 日(金)午後 7 時から、告別式が 23 日(土)午後 1 時 30 分より文京区白山にある寂園寺で執り行われました。

9) 早川弘一教授定年退職記念講演会ご案内

日本医科大学医学会において、早川弘一教授のご定年による退職を記念して講演会、パーティーを平成 12 年 3 月 4 日(土)、午後 1 時 30 分より千駄木校舎第一臨床講堂、大講堂において開催することになりましたので、お知らせいたします。案内状は後日郵送いたします。

V 第一内科学研究活動状況

不整脈研究グループ

小林 義典

現在、不整脈研究グループは加藤貴雄助教授、新 博次助教授、井野 威講師（多摩永山病院）、斉藤寛和講師（第二病院）以下約 30 名の医局員によって構成されております。そのうち電気生理学適検査 (EPS) やカテーテル・アブレーションなどの侵襲的検査、治療を行うグループ、平均加算心電図 (SAE) や T Wave Alternans (TWA) などの非侵襲的検査を研究対象とするグループ、動物実験グループなどありますが、いずれも活発に学会活動を行っており、また専門誌に掲載される原著論文も年々増加しております。近年不整脈診断、治療技術は個々不整脈の機序解明に伴い急速な発展を遂げ、過去十年間でその様相の変化はめまぐるしいものがあります。従って、up-to-date な情報の収集、また研究テーマの発見のために医局員は大変な努力を強いられておりますが、現在の所まづまづの成果を挙げているものと考えております。

診療状況：通常の外来業務以外に、金曜日午後主にアブレーション患者および重症心室性不整脈患者、特に埋込式除細動器 (ICD) 植え込み後の経過を観察する目的で不整脈外来を行っており、また薬物療法を中心とした心房細動外来も併設しております。EPS は毎週木曜日と土曜日に施行しており、年間約 150 例に達しますが、その内約 80 例はアブレーションの対象となります。アブレーションは WPW を含む早期興奮症候群、房室結節リエントリー性頻拍、心房粗動、心房頻拍、心房細動、心室頻拍、心室性期外収縮に対する根治療法として行っており、1991 年に同治療法を導入して以来現在までにすでに 400 例を越えました。その成功率は 90% 以上に達しており他施設に劣らない成績と思われます。また SAE、TWA 等の非侵襲的検査は火曜、金曜午後に施行しています。動物実験は平山悦之、八島正明助手が中心となり APD alternans の機序研究、心房細動における心房局所興奮の周波数解析を行っており興味ある結果が得られております。また今後は最新の Optical mapping 技術を導入し、新たなプロトコールを開始する予定です。

学会活動状況：国内では日循総会および地方会、心電学会、ペーシング学会で例年それぞれ 2-7 題の演題を発表、その他、自律神経学会、臨床薬理学会、老年病学会、ME 学会、臨床電気生理研究会、臨床不整脈研究会、アブレーション研究会など。また、海外でも AHA、ACC、北米電気生理学会 (NASPE) などここ数年はほぼ毎年、抄録が採択されています。

原著論文：最近 3 年間に学会誌等に採択された原著論文は約 20 編ほどで、掲載誌は Am J Cardiol, Eur Heart J, PACE, J Cardiovasc Pharmacol, J Cardiovasc Electrophysiol, J Intervent Cardiac Electrophysiol, Jpn Circ J, 心電図, 不整脈 (旧心臓ペーシング), 日本医大雑誌などと多彩です。

不整脈の最近の話題：臨床では非薬物治療の発展に伴い、各頻拍性不整脈に関する新知見が続々と世に輩出されています。最近では発作性心房細動の中で肺静脈や上大静脈起源の focal af が比較的多く、同部に対する点状焼灼により根治しえることがわかってきました。また ME 領域の発展もめざましく、現在では臨床的に心臓各 chamber で activation あるいは substrate map を三次元的に構築することが可能です (Electro-anatomical mapping)。非侵襲的検査では TWA すなわち micro-volt レベルの微細な T 波の alternans を検出する技術が目立っており、重症心疾患に観られる突然死との関連が検討されています。

心筋梗塞などの急性冠症候群において、心筋虚血による心機能低下、心筋壊死、また、再灌流時に出現する再灌流不整脈、心機能低下（気絶心筋）をはじめとする心筋の虚血/再灌流傷害の軽減は臨床的に重要な課題である。

我々の研究グループでは、心筋に対する虚血/再灌流傷害およびそれを軽減する心筋保護に関する研究を行っている。主な研究テーマは、ischemic preconditioning と関連して adenosine、ATP sensitive K⁺ channel 開口薬による虚血/再灌流傷害の軽減効果、Na⁺/H⁺交換系（この系は細胞内 pH の恒常性を保つ機能を有すが、虚血/再灌流傷害の発生に関与している）の阻害薬による心筋保護、Na⁺/H⁺交換系の調節機能の検討である。また、化学発光法による測定系を用い、虚血/再灌流に伴う NO の産生動態を検討している。

これまでの主要な研究成果は以下のごとくである。

A. 摘出灌流心を用いた実験モデルによる検討

- ・ Ischemic preconditioning、adenosine による虚血性不整脈軽減
- ・ ATP sensitive K⁺ channel 開口薬による再灌流不整脈軽減
- ・ ATP sensitive K⁺ channel 開口薬による心筋梗塞サイズ縮小
- ・ ATP sensitive K⁺ channel 開口薬による虚血/再灌流傷害の軽減効果
発現に至る細胞内情報伝達系への protein kinase C の関与
- ・ Na⁺/H⁺交換系活性亢進による再灌流不整脈増悪
- ・ Acidic reperfusion、Na⁺/H⁺交換系阻害による再灌流不整脈軽減
- ・ Na⁺/H⁺交換系活性の調節機構の検討（ $\alpha 1$ -受容体、thrombin 受容体の関与）

B. 単離心室筋細胞および細胞内イオン測定装置による検討

- ・ Thrombin による protein kinase C を介した細胞膜 Na⁺/H⁺交換系亢進
- ・ 細胞膜 Na⁺/H⁺交換系を調節する $\alpha 1$ -受容体サブタイプの検討

最近、ATP sensitive K⁺ channel、Na⁺/H⁺交換系が細胞膜のみならず、ミトコンドリア膜にも存在することが証明された。ミトコンドリア膜に存在する ATP sensitive K⁺ channel 開口は、より有効な虚血/再灌流傷害軽減手段となる可能性が示唆されており、また、ミトコンドリア膜 Na⁺/H⁺交換系も虚血/再灌流傷害の発生に重要な役割を果たしている可能性がある。今後は、ミトコンドリア膜の ATP sensitive K⁺ channel、Na⁺/H⁺交換系の心筋虚血/再灌流傷害への関与、また、虚血/再灌流に伴う NO の産生動態および心筋傷害への関与を検討し、より有効な心筋保護への応用を目標としている。

心不全研究グループ

清野 精彦（木内 要、佐藤直樹、他）

「心不全で難渋するような症例は木曜日と土曜日の外来にご紹介下さい。急性心不全は集中治療室に収容させていただきます。」

第一内科及び集中治療室から、急性および重症心不全の病態と治療に関して研究成績を発表してきましたが、我々の施設の特徴を生かし、臨床貢献度が高く独創性に富んだテーマについて研究を進めています。

[慢性心不全における進行性心筋傷害の病態と治療ストラテジーに関する研究]

心不全の重症度はNYHA分類、CTR、心機能（心エコー、RI、心カテ、圧容積曲線分析など）、運動耐容能（呼気ガス分析）などにより評価し、生化学的指標として血中カテコラミン、レニン・アンギオテンシン・アルドステロン系、ANP、BNPを、心筋傷害の指標としてトロポニンT、心臓型脂肪酸結合蛋白（HFABP）、各種サイトカイン、アポトーシス関連因子の動態を分析しています。心不全重症化の病態を究明し、難治性心不全治療ストラテジーの新展開を期しております。

[重症心不全の新しい治療]

ACC/AHA から心不全診療ガイドラインが提示されております。βブロッカー療法、強心薬との併用療法、間欠的強心薬投与、間欠的HANP投与、人工心臓など補助循環、心臓移植の適応判定と移植後管理など。

[心筋症の病態と治療に関する研究]

DCM、HCM、さらに心サルコイドーシス、尿毒症性心筋症、薬物性心筋症（抗癌剤、移植後免疫抑制剤など）などの病態と治療に関して症例を集積し検討しております。

[急性冠症候群における虚血性心筋傷害の早期検出とリスク層別化]

Tokyo Troponin T Trial では、同窓先輩諸先生との共同研究としてトロポニンT全血迅速判定法による早期診断の有用性について検討し、厚生省保険認可を獲得しました。現在、もっと早期に心筋傷害を検出できる心臓型脂肪酸結合蛋白（HFABP）の全血迅速判定法について臨床試験を進行中です。

[基礎的研究]

詳細は割愛しますが、基礎的研究（交感神経受容体情報伝達系の病態、NOS、アポトーシス、他）が進行中です。Molecular Cardiology 研究グループ（OB 長江顧問、富田顧問）も発足しました。

初めに私が所属している生理機能センターについてご説明いたします。現在、心エコーの検査は集中治療室を除いてほとんどの検査が生理機能センターで行われています。私は平成3年から心エコーを担当しておりましたが、平成7年から一般病棟を離れて生理機能センターの専属医師となって今日に至ります。生理機能センターの初代室長は学長早川弘一先生でありましたが、現在は第三内科の黒田 肇助教授でありその下に助手のポストが一つ（私であります）あります。心エコー検査専属の技師は3人で超音波医学会認定検査士は2人ありますが、平成12年には心臓、腹部の検査士がそれぞれ1人ずつ増える予定であります。平成3年から超音波検査の命は画像の質であるという基本にたち機械を選択してきましたが、第一内科医局はもちろん大学病院からも多大な援助を頂きました。多方面の援助のおかげで心エコーの機械は現在、HP社製 SONOS5500、2500、東芝社製 370A、140Aと大学病院として標準以上の機器をそろえることができました。この3年間の平均心エコー検査件数は内科で約6200件/年で、この数字は院内の全ての科、あるいは院外からの検査依頼に対応した結果であります。

生理機能センターで施行している心エコー検査は、経胸壁心エコー、経食道心エコー、ドブタミン負荷心エコー法です。臨床および研究が両立できる領域の充実を図ってきましたが、中でもドブタミン負荷心エコー法は、急性期再灌流療法後の残存虚血評価、運動負荷が十分できない患者の虚血判定、術前の虚血評価、局所心筋 viability 評価に威力を発揮しようと自負しております。

心エコーの研究では虚血性心疾患が主な対象であり、(1)integrated backscatter (超音波後方散乱) 法による心筋 viability の評価方法(2)ドブタミン負荷心エコー法と integrated backscatter 法による心筋 viability 評価の精度向上の評価(3)末梢静脈からの心筋コントラスト剤注入で残存虚血などの評価が可能かどうかなど心筋コントラスト剤を中心に進める予定です。将来、心筋性状が超音波で診断できる日がくることを願って研究を進めたいと考えております。

第一内科における運動負荷についての研究は、諸先輩先生方により様々な研究がなされ、既に数多くの業績があることはご存じの通りであると思います。私たちもこれまでの成果をさらに発展させるべく引き続き研究を続けておりますが、本文では新たに始まった研究（特に運動生理）を中心にご報告致したいと思っております。

運動生理の研究は古くからなされてきた研究分野であります。運動負荷時の心血管系の適応異常が如何なる病態に反映されるか等という臨床に直結した病態生理の研究は非常に少ないのが現状です（予後に関する研究は数多くありますが）。そこで私たちは、近年になり新たに評価可能となった指標を用い運動生理を見直し、その成果を臨床へ還元することを目的とした研究を計画致しました。新しい指標として注目したのは、運動負荷時の心血管系の適応反応において重要な役割を果たす体内のセンサー、baroreflex、chemoreflex および mechanoreflex についてです。現在、これらのセンサーが臨床上の運動負荷試験において果たす役割を評価し、センサー機能異常が運動負荷ストレスに対する循環器系の異常反応と関係するか否かを明らかにし、その異常応答がもたらす病態を調査しています。これまでに得られた成果の一部を下記に示します。

1) Baroreceptor reflex 機能低下例は、運動負荷時の高血圧および心拍反応低下 (chronotropic incompetence) と関連し、心室性不整脈が高頻度に認められる。また、異型狭心症や syndrome X では、baroreceptor reflex 機能異常例が多く心筋虚血出現との関係も示唆される。

2) Chemoreceptor reflex 機能亢進例は、交感神経系が持続的に活性化した状態にあるが、（おそらく down regulation により）運動負荷時の心拍反応は低下している。

Chemoreceptor reflex 機能低下例は、運動負荷ストレス時に産生される代謝産物に対する反応不良のため、心血管系の応答に異常を来し運動耐容能が障害される。

今後は予後等との関連について検討し、さらに臨床に還元できるものへと発展させる予定です

平成 11 年夏に呼気ガス分析装置が導入され、運動負荷試験における嫌気性代謝閾値 (AT) や最大酸素摂取量 (peak V_{O2}) 等の指標が測定可能となりました。これらの指標は近年注目されている心疾患に対する運動療法実施において欠くことが出来ません。また Peak V_{O2} は心不全例における心移植の適応を決定する指標の一つでもあります。今後の循環器疾患に対する医療の発展に遅れないよう、呼気ガス分析について習熟し、診療や研究に役立てる所存です。

循環器内科というメリットを最大限に生かして、肝臓班では十数年前から肝臓疾患における血行動態をテーマとしております。肝硬変性門脈圧亢進症の全身血行動態と肝循環の基礎的な成績が蓄積しておます。さらに門脈圧亢進症に対する薬物(β 遮断剤や利尿剤、亜硝酸剤など)による減圧療法の成績を報告しております。最近では肺循環異常を検討中で、門脈肺高血圧(portopulmonary hypertension; P-PHT)や肝肺症候群(hepatopulmonary syndrome; HPS)の臨床例についてレポートしました。両症候群とも低酸素血症をきたしますが、肝硬変性門脈圧亢進症における低酸素血症は木村内科の時代からしばしば肝臓班で取り上げてきた研究テーマでもあります。

【最近の成績】

(1)P-PHTに関して 心臓および肝静脈カテーテル検査を実施した250例の肝硬変例のうち5例、2%と高率に肺高血圧を認めました。一般人口での原発性肺高血圧有病率の0.01-0.02%よりも遙かに高い合併率であります。その5例について行動態や臨床像を通常の肝硬変と比較検討しました。通常の肝硬変に比して、心拍出量の減少、末梢血管抵抗の上昇、循環血漿量の減少などの相違点が明らかになりました。原発性肺高血圧に比し発症年齢は高齢側に偏移しており門脈側副路に何らかの原因があるものと考えております。

(2)HPSに関して 低酸素血症に加え肺内血管拡張の存在(生食バブルのコントラストUCGで証明)がHPSの診断基準の一つです。肺胞気と毛細血管の接触時間短縮が毛細血管拡張に加えて大きな要素であると考え、直径4 μ mの微粒子によるコントラストUCGを用いて、接触時間の指標として肺通過時間(PTT; 右心房 \rightarrow 左心房)を測定しました。PTTは動脈血酸素分圧と相関関係を示しました。PTTが短縮するほど低酸素血症が高度となり、短縮例ではorthodeoxiaを呈することも考慮すると、PTT測定が潜在的HPSの鋭敏な検出法として有用であると示唆されました。

(3)HPS実験モデル HPSの肺血管拡張の一因として一酸化窒素(NO)が推定されています。二次性胆汁性肝硬変(SBC)動物モデルについて動脈血酸素化とNOの関係を、NO合成酵素阻害剤(L-NAME)とNO donor (FK409)を用いて検討しました。L-NAMEによりPaO₂の上昇、A-aD_O₂の低下を認め、NO再供給によりそれらが逆転することをin vivoで確認しました。また、肺病理組織で肺胞毛細血管が著明に拡張している所見も得ました。

(4)Non-alcoholic steatohepatitis(NASH) 肝炎ウイルス(A型、B、C型、GBV?やTTV?)の測定系や原発性胆汁性肝硬変の血清マーカー(AMA、M2抗体)が測定可能となり、自己免疫性肝炎の診断基準も加わって、肝炎の原因診断が比較的容易になりました。近年アルコール性脂肪肝とは異なる原因不明の脂肪性肝炎(steatohepatitis)の輪郭(女性に多く、肥満体でやがて肝硬変に進展する)が明らかにされつつあります。肝臓班でも十数例のNASHを経験し臨床像を検討中であります。その症例中TTV核酸が80%と高率に陽性でした。脂肪肝として栄養指導されていた症例の中に本疾患が存在する可能性もあり、今後脂肪肝の臨床的扱いに多様性が要求されると思われます。今後も検討を継続する予定です。

昨年から今年にかけて、藤田進彦、田中古登子、藤岡幹雄の各医員が相次いで派遣より付属病院に帰任し、また従来からの橋本英洋教授（下谷病院）の援護もあって、われわれのグループもやっと人的な充足が得られつつあります。ほぼ同時期に完了した内科外来の整備・充足の恩恵をうけ、従来毎週木曜日に2つの診察室を使用して行っていた糖尿病外来を数ヶ月前より3室3診察医の体制に改めることができました。この結果、診療に時間的余裕が生まれ、本来患者教育が重要な意味を持つ実地診療はもちろんのこと臨床研究にも大きなメリットが得られています。また、本年3月からは毎週木曜の外来の時間に合わせて「糖尿病教室」を開催しました。計11回のシリーズを組めたこともあってかなり密度の濃い内容で開催することができ、患者からも好評であったと自負しております。来年度も同様に開催する予定で、通院患者に限らず院外からの聴講も歓迎いたします。

研究面では循環器疾患を主とする糖尿病の合併症について、上記の3医員がそれぞれテーマをかかげて研究を始めております。糖尿病に多い無症候性心筋虚血について、運動負荷試験・心筋シンチグラフィの成績と冠動脈造影所見との対比を従来と異なる方法で分析して、糖尿病に伴う冠動脈障害の病態を明らかにすること（藤岡・登戸病院での研究を発展）、糖尿病に多いび慢性の多枝冠動脈病変を運動負荷試験や糖化物（AGE）・過酸化物質・サイトカインなどの測定によって非観血的に推定できるか否かの検討（藤田）、早期腎症や糖尿病性心筋症の患者における腎血流予備能をアルギニン負荷によって評価すること（田中）などがその内容です。さらに、最近導入された人工膵臓によって、以上の病態とインスリン抵抗性との関連について明らかにすることも研究の視野に入れて準備をしております。クランプ法などの技術的安定が得られたならば、臨床の治療にも導入する予定です。

VI 医局員勤務表

1998年4月

移動 研修医 大学院生

付属病院

外来(4)

大須賀勝、長野、塚田、及川
(安武ひ、柏木、高木郁、小林み、佐藤丞、田宮、横島)

A6(10)

斎藤勉、古明地、平山、小原啓、桜井、福本、小川、高木啓、菊池
品田

C6(12)

富田、福間、星野、宮内、富村、清水治、岩崎、高橋啓、森田、豊田
竹永、愛須

E5(11)

小林義、安武正、内田高、佐野、緒方、林、石井、三浦、田邊潤
高橋保、(2内：酒巻)

CCU(7)

子島、木内、関戸、小倉、川口、小谷、上村

生理機能

本間、龜山

研修

淀川(CCU)、磯田(CCU)、平澤(2放射線)、徳山(2放射線)
加藤い(放射線)、相澤(放射線)、池田(放射線)

丸子(4)

寺田、雪吹、櫛方、高橋直

北総 内科

大國、多田、大村、酒井俊、松本、大野則、岡松、田辺浩

(8)

CCU(4) 今泉、小原俊、高山英、吉田博

永山(14)

田中邦、藤田信、中込、山中、田寺、遠藤康、青木、名知、宮本、
大野忠、田中古、大野忠、山本、川嶋、阿部

北村山

金、佐伯、大場、丸山、長戸

下谷

橋本、松尾、佐藤直、高田、葉梨、馬淵

鹿島

洪芳、黒川、金子、高久

駒込

丸山、宮武、荒尾、小野卓、清水一

波崎

笠井、上田、横山真、掃部

登戸

洪基、後藤、藤岡、藤田、松田、山根

横須賀

畑、国見、高野雅

大倉山

長江、笠神

海老名

岩原、坪

保谷厚生

内田拓、清宮

博慈会

小川剛、説田、大塚

東京都リハビリ

石川貴

東京白十字 小宮山

臨床薬理センター 大須賀恵

基礎大学院

生理：大坂、病理：吉田知、西垣、公衆衛生：馬場、
第2生化：佐藤越

国内留学

野村

留学生

呉、張、何、イゴール、金

留学(7)

八島、横山広、来馬、奥村、浅井、高野仁、高木元

1999年3月

移動 研修医 大学院生

付属病院

外来(4)

大須賀勝、上田、塚田、遠藤康
(安武ひ、柏木、福間裕、小林み、佐藤丞、田宮、横島)

A6(10)

斎藤勉、古明地、桜井、田中古、大野則、岩崎、菊池、淀川、高橋保
田畑

C6(11)

福間、八島、宮内、清水治、藤田進、及川、森田、平澤、愛須、竹永
木村

E5(10)

小林義、安武正、内田高、佐野、高山英、林、徳山、土田、相澤、
加藤浩

CCU(7)

木内、横山広、関戸、小倉、上村、緒方、笠神

生理機能

本間、川嶋

研修

堀江(CCU)、谷口(CCU)、山科(CCU)、加藤良(放射線)

丸子(4)

寺田、内田拓、櫛方、高橋直

北総 内科

大國、大村、酒井俊、松本、富村、大場、横山真、稲見、小野い、

(10) 田邊潤

CCU(4) 今泉、松田、清宮、磯田、品田、石川

永山(15)

藤田信、雪吹、中込、山中、田寺、川口、青木、宮本、大野忠、山本、
丸山、山根、壬生倉、池田、阿部

北村山

金、佐伯、掃部、坏、高橋啓

下谷

橋本、松尾、佐藤直、葉梨、福本、馬淵

鹿島

洪芳、吉田知、吉田博

駒込

説田、宮武、荒尾、小野卓、清水一

波崎

笠井、長野、長戸、田辺浩

登戸

洪基、後藤、藤岡、岡松、小川晃、亀山

横須賀

畑、三浦、豊田

大倉山

長江、大塚

海老名

岩原、高野雅

保谷厚生

平山、石井

博慈会

小川剛、田中邦、高木啓井

東京都リハビリ

石川貴

東京白十字 名知

臨床薬理センター 大須賀恵

基礎大学院

生理：大坂、病理：西垣、馬場、第2生化：佐藤越、微免：高久

留学生

呉、張、何、イゴール、金、尹

留学(11)

来馬、奥村、星野、小原俊、小原啓、浅井、野村、高野仁、小谷、
高木元、高木郁

Ⅶ CC・CPC

CC と CPC は下記の時間に開かれています。東京近郊にお住まいの方や、地方の方でも東京にお越しの際は、是非御参加下さい。

CC : 毎週火曜日午後 5 時 30 分から

場所 : 第 1 講堂

CPC : 第 4 月曜日午後 4 時 30 分から

場所 : 第 2 臨床講堂

CC

| 年月日 | 症例 | 病歴番号 | 担当医 | 診断名 |
|------------|--------|--------|-------------|---|
| 平成10年4月14日 | 52歳、男性 | 227497 | 竹永 星野 | Post PTSMA state for HOCM |
| 4月21日 | 68歳、女性 | 228069 | 酒巻 安武 | AIH with ITP |
| 4月28日 | 32歳、女性 | 227421 | 淀川 古明地 | Non-Alcoholic Steatohepatitis |
| 5月19日 | 57歳、女性 | 229228 | 品田 平山 | Long QT syndrome |
| 5月26日 | 29歳、女性 | 229084 | 池田 佐野 | Cardiac tamponade due to Toxoplasmic pericarditis |
| 6月9日 | 57歳、女性 | 230590 | 小原(啓) 関山 | CAH-PBC mixed type |
| 6月16日 | 21歳、男性 | 231739 | 高木(啓) 野村 | IE with multiple embolism |
| 6月23日 | 52歳、男性 | 232628 | 菊池 古明地 | Machado-Joseph disease |
| 7月7日 | 44歳、男性 | 217130 | 木村 星野 | Acute myocarditis |
| 9月22日 | 39歳、女性 | 232733 | 亀山 宮内 | Romano-Ward syndrome |
| 10月6日 | 25歳、女性 | 233948 | 堀江 古明地 | Guillan-Barre syndrome associated with CMV |
| 10月13日 | 62歳、男性 | 234339 | 田畑 斉藤(勉) | PN |
| 10月27日 | 66歳、男性 | 228719 | 桜井 古明地 | Refractory ascites, Peritoneo-venous shunt |
| 11月10日 | 67歳、女性 | 233256 | 田畑 斉藤(勉) | HCC with RV metastasis |
| 11月24日 | 79歳 女性 | 232025 | 山科 佐野 | Toxoplasmic pleuritis, MDS |

| 年月日 | 症例 | 病歴番号 | 担当医 | 診断名 |
|-------|--------|--------|----------------|-----------------------------------|
| 1月12日 | 26歳、女性 | 240046 | 川嶋 古明地 | Insulinoma |
| 1月19日 | 37歳、女性 | 238848 | 徳山 安武 | Cardiac syndrome X |
| 2月2日 | 27歳、女性 | 240018 | 田中(古) 斉藤(勉) | Pancreatic lithiasis |
| 2月9日 | 46歳 女性 | 239815 | 川嶋 桜井 | Aneurysm of left atrial appendage |
| 3月2日 | 25歳、男性 | 242553 | 土田 内田(高) | Adult Still's disease |
| 3月9日 | 61歳、女性 | 240747 | 田畑 斉藤(勉) | BOOP |

平成 10 年度第 1 内科 CPC 症例

| 年月 | 病歴番号 | 年齢 性 | 受持医 | 病理医 | 臨床診断 (病理診断) |
|-------------|-------------------|----------------------|-------------|-----|--|
| 平成 10 年 5 月 | 225074 | 74 歳 男性 | 磯田 | 二神 | Lung cancer with metastasis to liver and lymphnodes (Double cancer of lung) |
| 6 月 | 222772 (4 科合同) | 61 歳 男性 | 徳山 (1 内) | 恩田 | Fabry's disease with CRF & cardiac involvement (Fabry's disease) |
| 9 月 | (4 科合同) | 35 歳 男性 | 安 (3 内) | 田村 | Hemolytic anemia, hemochromatosis (Secondary hemochromatosis) |
| 11 月 | 227401 | 83 歳 男性 | 緒方 | 小原 | AMI with VT (Old & fresh myocardial infarction) |
| 11 月 | 233307 | 76 歳 女性 | 谷口 | 内藤 | Acute exacerbation of AIH (AIH with pericirrhotic stage) |
| 12 月 | 198187 | 62 歳 男性 | 林 | 逸見 | Myotonic dystrophy, DIC due to sepsis. (Myotonic dystrophy, Fungal sepsis) |
| 12 月 | 228526 | 55 歳 男性 | 徳山 | 橋本 | Primary pulmonary hypertension (PPH, acute pulmonary hemorrhage) |
| 平成 11 年 1 月 | 228014 (4 科合同) | 44 歳 男性 | 西山 (2 内) | 持丸 | Ehlers-Danlos syndrome (Type 4) Ehlers-Danlos syndrome (Type 4) |
| 2 月 | 291203 | 73 歳 男性 (1 内癌研合同) | 平山 | 山田 | CHF due to dilated phase of HCM with af & VT (Cardiomyopathy, dilated phase of hypertrophic type) |

※内科 4 科合同 CPC が 1,4,7, 10 月の年 4 回行われることになりました。病理医と各科専門医を中心に
討論が行われます。よろしく御出席下さい。また一部の CPC は雑誌「内科」に掲載される予定です。

Ⅷ 学位取得者

| 氏名 | 取得年月日 | 論文名 | 雑誌名・巻・号・頁 |
|-------|-----------|---|---|
| 西垣龍太郎 | 10. 5. 14 | Nitric Oxide Production and Energy State in the Heart after Endotoxin Administration | Jpn Circ J 62(7): 527-531:1998 |
| 福本裕子 | 10. 9. 10 | Immunohistochemical and Morphometric Evaluations of Coronary Atherosclerotic Plaques Associated with Myocardial Infarction and Diabetes Mellitus | J Atherosclerosis Thromb 5(1): 29-35:1998 |
| 小野卓哉 | 10.10.16 | Abnormality of Alpha-adrenergic Vascular Response in Patients with Neurally Mediated Syncope | Am J Cardiol 82(4): 438-443:1998 |
| 来馬明規 | 10.10.16 | Activation of Ca^{2+} -sensitive Chloride Current by Reverse Mode Na^+/Ca^{2+} Exchange in Rabbit Ventricular Myocytes | Eur J Physiol 436(6): 976-983:1998 |
| 大國眞一 | 11.1.18 | 経皮的冠動脈形成術（PTCA）後再狭窄のメカニズム：冠動脈血管内視鏡による検討 | 脈管学38(11): 795-801:1998 |
| 酒井俊太 | 11.1.18 | 急性冠症候群における標準四肢誘導心電図 aV_R 誘導のST上昇の意義に関する研究 | 心電図 18(6): 849-857:1998 |
| 横山広行 | 11.1.18 | α_1 -adrenergic stimulation of sarcolemmal Na^+-H^+ exchanger activity in rat ventricular myocytes:Evidence for selective mediation by the α_{1A} -adrenoceptor subtype | Circ Res 82(10): 1078-1085:1998 |
| 浅井邦也 | 11.2.5 | Voltage-dependent calcium channel promoter restores baroreflex sensitivity in conscious dogs with heart failure | Circulation 98(13): 1342-1347:1998 |
| 長野具雄 | 11.3.5 | Evidence for norepinephrine-activated Ca^{2+} permeable channels in guinea-pig hepatocytes using a patch clamp technique | J Nippon Med Sch 66(2):127-133:1999 |
| 野村敦宣 | 11.3.5 | 洞徐脈症例の脳虚血症状への α 交換神経異常の寄与—薬理学的自律神経検査による検討— | 日医大誌 66(2):119-126:1999 |

I X 1998 年度研究業績

(1998. 4. 1～1999. 3. 31)

| 著者名 | 著書・論文名 | 図書名・出版社 | ページ | 年・月 |
|--|--|---|---------|---------|
| 岸田 浩 | (分担)無症候性冠動脈疾患 | 循環器疾患 最新の治療 1998-1999(篠山重威, 矢崎義雄編) 南江堂 | 50-53 | 1998.4 |
| 岸田 浩 | (分担)米国における不安定狭心症の治療に関するガイドライン | 質疑応答による虚血性心疾患(木全心一編) 日本醫事新報社 | 136-138 | 1998.4 |
| 勝田倂実, 荒牧琢己 | (分担)肝腎症候群 | 肝臓病学(戸田剛太郎, 清澤研道, 沖田 極, 井廻道夫, 林 紀夫編) 医学書院 | 124-130 | 1998.4 |
| 水野杏一(千葉北総病院内科) | (分担)Lipid Research Clinics | DATA update 循環器系(編集 山口 徹, 日和田邦男, 斉藤 康) 先端医学社 | 278-279 | 1998.4 |
| 高山守正 ¹⁾ , 隈崎達夫 ²⁾ (¹⁾ 集中治療室, ²⁾ 放射線科) | (分担)急性心筋梗塞へのPrimary Stenting | 救急疾患のIVR—手技の実験とポイント メジカルビュー社 | 22-25 | 1998.5 |
| 水野杏一(千葉北総病院内科) | (分担)レーザー治療 | Key Word 1998-2000 高脂血症・動脈硬化(編集 萩原俊男, 斉藤 康, 馬淵 宏) 先端医学社 | 202-203 | 1998.6 |
| 清野精彦 | (自著)これでわかる心電図の読み方と心臓病 | これでわかる心電図の読み方と心臓病 南江堂 | 1-50 | 1998.9 |
| 岸田 浩 | (分担)第3章 狭心症<労作性狭心症> 1.病態生理・診断 | ナースのための冠疾患事典(藤田正俊監修) メディカ出版 | 75-85 | 1998.10 |
| 加藤貴雄 | (分担)I心電図検査 7.加算平均心電図—臨床的意義, 適応, 原理・装置, 検査の実際, 検査結果の解釈— | 循環機能検査ハンドブック(小川 聡, 永井良三, 堀 正二編) 中山書店 | 83-88 | 1998.11 |
| 新 博次 | (分担)第2章—5抗不整脈薬 I群薬の使い方 | 目でみる循環器病シリーズ13 循環器病の薬物療法(齋藤宗靖編) メジカルビュー社 | 120-126 | 1998.12 |
| 岸田 浩 | (分担)第2章—6Ca拮抗薬 狭心症におけるCa拮抗薬の役割と使い方 | 目でみる循環器病シリーズ13 循環器病の薬物療法(齋藤宗靖編) メジカルビュー社 | 144-150 | 1998.12 |
| 新 博次 | (分担)各論II病態別の診かたと処しかた 2.動悸・不整脈 心房細動・粗動の心拍コントロール | 心臓病診療プラクティス 19.エマーゼンシーを乗り切る(古川純一, 笠貫 宏, 土師一夫, 別府慎太郎, 松崎益徳編) 文光堂 | 104-105 | 1998.12 |

| 著者名 | 著書・論文名 | 図書名・出版社 | ページ | 年・月 |
|--|--|---|-----------|--------|
| 高野照夫(集中治療室) | (分担)ショック | 内科学書2 南江堂 | 1133-1138 | 1999.1 |
| 水野杏一(千葉北総病院内科) | (分担)動脈硬化の臨床診断の進歩 | 動脈硬化をめぐる最近の話題(斉藤 康編) 医事出版社 | 122-127 | 1999.1 |
| 水野杏一(千葉北総病院内科) | (分担)急性冠症候群における血管内視鏡の役割 | 循環器救急と画像診断(斉藤宗靖, 玉木長良編) 中外医学社 | 107-110 | 1999.1 |
| 加藤貴雄, 新 博次, 井野威 ¹⁾ (¹⁾ 多摩永山病院) | (分担)III章 不整脈 | 心電図のABC(改訂版)(五島雄一郎, 大林完二監修) 日本医師会 | 124-195 | 1999.1 |
| 金子昌裕 ¹⁾ , 恩田昌彦 ¹⁾ , 田尻孝 ¹⁾ , 鳥羽昌仁 ¹⁾ , 梅原松臣 ¹⁾ , 吉田 寛 ¹⁾ , 真々田裕宏 ¹⁾ , 松本智司 ¹⁾ , 山本一仁 ¹⁾ , 廣瀬洋一郎 ¹⁾ , 隈崎達夫 ²⁾ , 荒牧琢己 ¹⁾ (¹⁾ 第一外科, ²⁾ 放射線科) | (分担)肝性脳症を伴う門脈一大循環シャントに対し血管塞栓術が有効であった直腸静脈瘤の1例 | 示唆に富む肝疾患(佐藤俊一編) 新工医学出版社 | 131-136 | 1999.1 |
| 水野杏一 ¹⁾ , 北村克弘 ²⁾ (¹⁾ 千葉北総病院内科, ²⁾ 防衛医科大学第一内科) | (分担)冠動脈血管内視鏡で明らかになった冠疾患の病態 | 最新虚血性心疾患:新しい展開と診療の実際(矢崎義雄編) 永井書店 | 148-153 | 1999.2 |
| 水野杏一(千葉北総病院内科) | (分担)新しい検査法 | 内科学書(島田 馨編) 中山書店 | 1114-1116 | 1999.2 |
| 斎藤寛和, 早川弘一 | (分担)治療の実際について 11.予知できない疾患 | 治療のしかた(田村康二編) 医歯薬出版 | 314-327 | 1999.3 |
| 早川弘一 | (分担)心電図 | 内科学書(島田 馨編) 中山書店 | 1089-1092 | 1999.3 |
| 荒牧琢己, 大須賀勝 | (分担)肝血行異常 | 内科学書(島田 馨編) 中山書店 | 1784-1789 | 1999.3 |
| 平田清貴 ¹⁾ , 村田正弘 ¹⁾ , 長澤統一 ²⁾ (¹⁾ 多摩永山病院薬剤科, ²⁾ 同内科) | 注意すべき薬の飲み合わせ | 安心して薬を使用するために 文光堂 | | 1999.3 |
| 高野照夫(集中治療室) | (分担)急性心不全と心原性ショック | 循環器救急と画像診断 中外医学社 | 20-34 | 1999.3 |
| 新 博次 | (分担)2.不整脈 | 認定医・専門医のための内科学レビュー'99(酒井 紀, 早川弘一, 西崎 統, 小林祥泰, 福井次矢監修) 総合医学社 | 34-39 | 1999.3 |
| 清野精彦, 柏木睦美, 福本裕子 | (分担)6.大動脈・末梢血管疾患 | 認定医・専門医のための内科学レビュー'99(酒井 紀, 早川弘一, 西崎 統, 小林祥泰, 福井次矢監修) 総合医学社 | 60-65 | 1999.3 |

| 著者名 | 著書・論文名 | 図書名・出版社 | ページ | 年・月 |
|--|---|--|---------|--------|
| 斎藤寛和, 坪 宏一, 大野則彦, 野村敦直 | (分担)第三章 各種疾患とQT間隔K ARIとQT間隔 | QT間隔の基礎と臨床—QT interval and dispersion (有田 眞, 伊東盛夫, 犀川哲典編) 医学書院 | 141-145 | 1999.3 |
| 横島 友子, 森田典成, 宮内靖史, 岩崎雄樹, 川口直美, 小川晃生, 小倉宏道 ¹⁾ , 亀山幹彦, 林 明聡, 加藤貴雄 | (翻訳)不整脈診療ハンドブック—臨床的な理解と対応—(加藤貴雄監訳) | Cardiac Arrhythmias—Practical notes on interpretation and treatment—(David H.Bennett) メディカル・サイエンス・インターナショナル | | 1999.3 |
| 加藤貴雄 | (分担)緊急ペーシング | 今日の治療指針 1998 (日野原重明, 阿部正和監修) 医学書院 | 62-63 | 1998.1 |
| 林 明聡, 小林義典, 加藤貴雄 | (分担)植え込み型除細動器 | Annual Review循環器 1998 (杉本恒明, 松本昭彦, 杉下靖郎, 門間和夫編) 中外医学社 | 96-102 | 1998.1 |
| Bolli R, Dawn B, Tang X, Qiu Y, Ping P, Zhang J, Takano H (Division of Cardiology, University of Louisville) | (分担)Delayed preconditioning against myocardial stunning | "Delayed preconditioning and adaptive cardioprotection" (Baxter GF, Yellon DM, eds) Kluwer academic publishers | 29-46 | 1998.1 |
| Mathier MA, Asai K, Shannon RP, Vatner SF (Cardiovascular and Pulmonary Research Institute, Allegheny University of the Health Sciences) | (分担)Cardiovascular Physiology in Mice; Conscious Measurements and Effects of Anesthesia | "Cardiovascular Physiology in the Genetically Engineered Mouse" Kluwer Academic Publishers | | 1998.1 |
| 荒川 宏 ¹⁾ , 水野杏一 ²⁾ (¹⁾ 防衛医科大学第一内科, ²⁾ 千葉北総病院内科) | (分担)レーザー血管形成術 | 循環器疾患最新の治療 1998-1999 (監修 杉本恒明, 編集 矢崎義雄, 篠山重威) 南江堂 | 281-284 | 1998.2 |
| 加藤貴雄, 呉 小怡, 大村和子, 小原俊彦, 早川弘一 | (分担)II. 高分解能心電図 4. 不整脈の治療における加算平均心電図の役割 | 時空間心電情報の新しい視点—循環器病診断への応用 (外山淳治, 渡邊佳彦編) ライフメディコム | 185-195 | 1998.3 |
| 大坂元久, 斎藤寛和 | (分担)IV. 心拍変動 2. 心拍変動解析のための装置とその解析方法 | 時空間心電情報の新しい視点—循環器病診断への応用 (外山淳治, 渡邊佳彦編) ライフメディコム | 318-334 | 1998.3 |
| 加藤貴雄 | (分担)Late Potential | 不整脈Concept & Terminology (平岡昌和監修) ライフメディコム | 8-9 | 1998.3 |
| 田中啓治 (千葉北総病院集中治療部) | (分担)急性心不全, 肺水腫 | 疾患別最新処方 (矢崎義雄, 戸田剛太郎監修) メジカルビュー社 | 22-23 | 1998 |

| 著者名 | 著書・論文名 | 雑誌名・図書名 | 巻 | ページ | 年・月 |
|---|--|--------------------------|-------|-----------|--------|
| Atarashi H, Endoh Y, Saitoh H, Kishida H, Hayakawa H | (原著)Chronotropic Effects of Cilostazol | J Cardiovasc Pharmacol | 31(4) | 534-539 | 1998.4 |
| Takeda S ¹⁾ , Nejima J ¹⁾ , Takano T ¹⁾ , Nakanishi K ²⁾ , Takayama M ¹⁾ , et al (¹⁾ 集中治療室, ²⁾ 麻酔科) | (原著)Effect of Nasal Continuous Positive Airway Pressure on Pulmonary Edema Complicating Acute Myocardial Infarction | Jpn Cir J | 62(8) | 553-558 | 1998.4 |
| Qiu Y, Ping P, Tang XL, Manchikalapudi S, Rizvi A, Zhang J, Takano H, et al (Division of Cardiology, University of Louisville) | (原著)Direct evidence that protein kinase C plays an essential role in the development of late preconditioning against myocardial stunning in conscious rabbits and that epsilon is the isoform involved | J Clin Invest | 101 | 2182-98 | 1998.5 |
| Yokoyama H, Yasutake M, Avkiran M (Cardiovascular Research, The Rayne Institute, St Thomas' Hospital) | (原著) α_1 -adrenergic stimulation of sarcolemmal Na^+ - H^+ exchanger activity in rat ventricular myocytes—evidence for selective mediation by the α_{1A} -adrenoceptor subtype — | Circ Res | 82 | 1078-85 | 1998.6 |
| Kudej RK, Ghaleh B, Sato N, Shen YT, Bishop S.P., Vatner S.F (The Cardiovascular and Pulmonary Research Institute, Allegheny University of the Health Sciences) | (原著)Ineffective perfusion-contraction matching in conscious, chronically instrumented pigs with an extended period of coronary stenosis | Circ Res | 82 | 1199-1205 | 1998.6 |
| Ono T, Saitoh H, Atarashi H, Hayakawa H | (原著)Abnormality of Alpha-Adrenergic Vascular Response in Patients With Neurally Mediated Syncope | Am J Cardiol | 82 | 438-443 | 1998.6 |
| Takano H, Tang XL, Qiu Y, Guo Y, French BA, Bolli R (Division of Cardiology, University of Louisville) | (原著)Nitric oxide donors induce late preconditioning against myocardial stunning and infarction in conscious rabbits via an antioxidant-sensitive mechanism | Circ Res | 83 | 73-84 | 1998.7 |
| Fukumoto H ¹⁾ , Naito Z ¹⁾ , Asano G ¹⁾ , Aramaki T (¹⁾ Department of Pathology) | (原著)Immunohistochemical and morphometric evaluations of coronary atherosclerotic plaques associated with myocardial infarction and diabetes mellitus | J Atherosclerosis Thromb | 5(1) | 29-35 | 1998.7 |
| Takano H, Manchikalapudi S, Tang XL, Qiu Y, Rizvi A, et al (Division of Cardiology, University of Louisville) | (原著)Nitric oxide synthase is the mediator of late preconditioning against myocardial infarction in conscious rabbits | Circulation | 98 | 441-449 | 1998.8 |

| 著者名 | 著書・論文名 | 雑誌名・図書名 | 巻 | ページ | 年・月 |
|--|---|------------------|--------|-----------|---------|
| Aramaki T, Katsuta Y, Sekiyama T, Tsutsui H, Kome-ichi H, Ohsuga M, Satomura K, Yoshimura M ¹⁾ (¹⁾ Tokyo Research Laboratory, Kowa Co) | (原著)Effects of Aging and Liver Disease upon the Pharmacokinetics of Nipradilol | Clin Drug Invest | 16(3) | 251-257 | 1998.9 |
| Iwasaki Y, Ono T, Osaka M, Sasabe N, Kobayashi Y, Honma H, Saitoh H, Atarashi H, Katoh T, Kishida H, Hayakawa H | (原著)Circadian variation in the frequency of onset of neurally mediated syncope | Ther Res | 19(9) | 2692-95 | 1998.9 |
| Ohkura M, Furukawa K, Fujimori H, Kuruma A, Kawano S, et al (The Department of Cardiovascular Diseases, Medical Research Institute, Tokyo Medical and Dental University) | (原著)Dual regulation of the skeletal muscle ryanodine receptor by triadin and calsequestrin | Biochem | 37(37) | 12987-93 | 1998.9 |
| Hanashi A, Kishida H, Saitoh T, Hayakawa H | (原著)Usefulness of exercise thallium-201 imaging in evaluation of low- and high-risk groups in coronary artery disease patients with disappearance of anginal episodes by anti-anginal drug therapy | Jpn Heart J | 39(5) | 597-609 | 1998.9 |
| Saitoh T, Kishida H, Hanashi A, Tsukada Y, Fukuma Y, Sano J, Fukuma N, Kusama Y, Hayakawa H | (原著)Coronary Hyperreactivity to Adrenergic Stimulation and Increased Nocturnal Vagal Tone Trigger Coronary Vasospasm | Jpn Circ J | 62 | 721-26 | 1998.10 |
| Kobayashi Y, Miyauchi Y, Kawaguchi N, Ohmura K, Saitoh H, Ino T, Atarashi H, Katoh T, Kishida H, Hayakawa H | (原著)Detection of a Local Slow Potential Preceding the Surface QRS Complex During Non-Preexcited Impulse Propagation -A Phenomenon Reflecting Anterograde Concealed Conduction Through the Accessory Pathway?- | Jpn Circ J | 62 | 760-764 | 1998.10 |
| Osaka M, Yambe T ¹⁾ , Saitoh H, Yoshizawa M ²⁾ , Itoh T ³⁾ , Nitta S ¹⁾ , Kishida H, Hayakawa H ¹⁾ Institute of Development, Aging, and Cancer, Tohoku University, ²⁾ Faculty of Engineering, Tohoku University, ³⁾ Cancer of Information Science) | (原著)Mutual information discloses relationship between hemodynamic variables in artificial heart-implemented dogs | Am J Physiol | 275 | 1419-1433 | 1998.10 |
| Sasaki S ¹⁾ , Koumi S, Sato S ²⁾ , Murata M ¹⁾ , Nagasawa K ³⁾ , Sakurai E ³⁾ , Hikichi N ³⁾ , Hayakawa H ¹⁾ (¹⁾ Department of Pharmacy, Nippon Medical School, Tama Nagayama Hospital, ²⁾ Department of Molecular Pharmacology and Biological Chemistry, Northwestern University Medical School, ³⁾ Department of Pharmaceutics, Tohoku College of Pharmacy) | (原著)Kinetics of buccal absorption of propafenone single oral loading dose in healthy humans | Gen Pharmac | 31 | 589-591 | 1998.10 |

| 著者名 | 著書・論文名 | 雑誌名・図書名 | 巻 | ページ | 年・月 |
|--|---|-----------------------------|--------|-----------|---------|
| Bolli R, Dawn B, Tang XL, Qiu Y, Ping P, Xuan YT, Jones WK, Takano H, et al (Division of Cardiology, University of Louisville) | (原著)The nitric oxide hypothesis of late preconditioning | Basic Res Cardiol | 93 | 325-338 | 1998.10 |
| Aroundas AA ¹⁾ , Osaka M, Mela T ¹⁾ , Rosenbaum DS ¹⁾ , Ruskin JN ¹⁾ , Garan H ¹⁾ , Cohen RJ ¹⁾ (Harvard-MIT division of Health Sciences and Technology, Massachusetts Institute of Technology) | (原著)T-wave alternans and dispersion of the QT interval as risk stratification markers in patients susceptible to sustained ventricular arrhythmias | Am J Cardiol | 82(9) | 1127-1129 | 1998.11 |
| Ino T ¹⁾ , Tadera T ¹⁾ , Miyamoto S ¹⁾ , Tanaka K ¹⁾ , Ohno T ¹⁾ , Nagasawa K ¹⁾ , Hayakawa H ¹⁾ (The Department of Internal Medicine, Tama-Nagayama Hospital) | (原著)Ventriculoatrial block during atrioventricular nodal reentrant tachycardia utilizing multiple retrograde pathways | J Cardiovasc Electrophysiol | 9(11) | 1206-1213 | 1998.11 |
| Katoh T | (綜説)Primary care for arrhythmias detected in routine examinations | Asian Med J | 41(11) | 534-541 | 1998.11 |
| Kuruma A, Hiraoka M, Kawano S (Department of Cardiovascular Diseases, Medical Research) | (原著)Activation of Ca ²⁺ -sensitive CL _i current by reverse mode Na ⁺ /Ca ²⁺ exchange in rabbit ventricular myocytes | Eur J Physiol | 436 | 976-983 | 1998.11 |
| Aroundas AA, Osaka M, Mela T, Rosenbaum DS, Ruskin JN, et al (The Division of Health Sciences and Technology, Harvard University-Massachusetts Institute of Technology) | (原著)T-wave alternans and dispersion of the QT interval as risk stratification markers in patients susceptible to sustained ventricular arrhythmias | Am J Cardiol | 82(9) | 1127-29 | 1998.11 |
| Kishida H, Saitoh T, Oikawa K, Honma H, Kusama Y | (原著)Negative U-wave as a Predictor of Antihypertensive Treatment Effect on Regression of Echocardiographic Hypertrophy in Hypertensive Patients | Jpn Heart J | 40(1) | 31-44 | 1999.1 |
| Mizuno K ¹⁾ , Sakai S ¹⁾ , Okuni S ¹⁾ , Jing Z ¹⁾ , Hayakawa H ¹⁾ (千葉北総病院内科) | (綜説)The development and clinical feasibility of percutaneous transluminal coronary angiography | J Nippon Med Sch | 66(1) | 7-14 | 1999.1 |
| Osaka M, Gohara K ¹⁾ , Ishii S ²⁾ , Kishida H, Hayakawa H, Ito N ³⁾ (Department of Applied Physics, Graduate School of Engineering, Hokkaido University, ²⁾ Graduate School of Information Science, Nara Institute of Science and Technology, ³⁾ Department of Applied Physics, School of Engineering, The University of Tokyo) | (原著)Symbolic strings and spatial 1/f spectra | Physica D | 125 | 142-154 | 1999.1 |

| 著者名 | 著書・論文名 | 雑誌名・図書名 | 巻 | ページ | 年・月 |
|--|--|--------------|--------|---------|--------|
| Kodama I ¹⁾ , Ogawa S ²⁾ , Inoue H ³⁾ , Kasanuki H ⁴⁾ , Kato T, Mitamura H ⁵⁾ , Hiraoka M ⁶⁾ , Sugimoto T ⁶⁾ (¹⁾ Research Institute of Environmental Medicine, Nagoya University, ²⁾ Keio University, School of Medicine, ³⁾ Toyama Medical and Pharmaceutical University, Faculty of Medicine, Toyama, ⁴⁾ Tokyo Women's Medical College, ⁵⁾ Tokyo Medical and Dental University, Medical Research Institute, ⁶⁾ Kanto Central Hospital) | (原著)Profiles of Aprindine | Jpn Circ J | 63(1) | 1-12 | 1999.1 |
| Kuruma A, Hartzell H.C (Department of Cell Biology, Emory University School of Medicine) | (原著)Dynamics of Calcium regulation of Chloride currents in Xenopus oocytes | Am J Physiol | 276(1) | 161-175 | 1999.1 |
| Kawano S, Kuruma A, Hirayama Y, Hiraoka M (The Department of Cardiovascular Diseases, Medical Research Institute, Tokyo Medical and Dental University) | (原著)Anion Permeability and Conduction of Adenine Nucleotides Through a Chloride Channel in Cardiac Sarcoplasmic Reticulum | J Biol Chem | 274(4) | 2085-92 | 1999.1 |
| Honma H, Kishida H, Tsuchida T, Morita N, Tomita Y, Seino Y, Takano T, Nishigaki R ¹⁾ , Asano G ²⁾ (¹⁾ Department of Pathology Biology, Emory University School of Medicine) | (原著)A 68-Year-Old Man With Complete Atrioventricular Block and Congestive Heart Failure (Cardiovascular Imaging In-a-Month (English text)) in Xenopus oocytes | J Cardiol | 33(2) | 111-115 | 1999.2 |
| Ping P, Takano H, Zhang J, Tang XL, Qiu Y, et al (Division of Cardiology, University of Louisville) | (原著)Isoform-selective activation of protein kinase C by nitric oxide in the heart of conscious rabbits: a signaling mechanism for both nitric oxide-induced and ischemia-induced preconditioning | Circ Res | 84 | 587-604 | 1999.3 |
| 斎藤寛和, 新 博次 | (綜説)不整脈(検査データを考える) | 検査と技術 | 26(4) | 373-378 | 1998.4 |
| 清野精彦, 子島 潤 ¹⁾ , 高山守正 ²⁾ , 高野照夫 ³⁾ , 大林完二 ³⁾ (¹⁾ 集中治療室, ²⁾ 大林内科医院) | (綜説)急性心筋梗塞の早期診断と心筋トロポニンT全血迅速判定法の活用 | 治療 | 80(4) | 170-176 | 1998.4 |
| 加藤貴雄, 早川弘一 | (綜説)コンピュータ内蔵心電計の信頼性 | 総合臨床 | 47(4) | 665-667 | 1998.4 |
| 新 博次 | (綜説)心房細動の薬物治療 | 心臓 | 30(4) | 263-269 | 1998.4 |

| 著者名 | 著書・論文名 | 雑誌名・図書名 | 巻 | ページ | 年・月 |
|--|--|------------------------------------|-------|---------|--------|
| 草間芳樹 | (綜説)カルシウム拮抗薬(連載:ICUにおける心血管作動薬6) | 集中治療 | 10(4) | 436-439 | 1998.4 |
| 岸田 浩 | (綜説)無症候性心筋虚血(今月の主題:狭心症—日常臨床へのExpertise狭心症の治療—分類別の診断と治療法) | medicina | 35(4) | 627-629 | 1998.4 |
| 新 博次 | (綜説)高齢者における心房細動の治療(特集:高齢者の不整脈) | Geriat Med | 36(4) | 509-513 | 1998.4 |
| 新 博次 | (綜説)心房細動:薬物療法を中心に(上室性頻脈性不整脈の診断と治療(1)) | Ther Res | 19(4) | 969-974 | 1998.4 |
| 清野精彦, 福間長知, 本間 博, 早川弘一 | (綜説)Tacrolimusの心臓障害について | 腎移植・血管外科 | 9(2) | 125-130 | 1998.4 |
| 小谷英太郎, 高野照夫(集中治療室) | (綜説)救命救急外来における心疾患 | 総合臨床 | 47(4) | 648-656 | 1998.4 |
| 関戸司久, 高野照夫(集中治療室) | (綜説)心不全を合併している狭心性の治療 | medicina | 35(4) | 676-680 | 1998.4 |
| 田島廣之 ¹⁾ , 隈崎達夫 ¹⁾ , 川俣博志 ¹⁾ , 高橋修司 ¹⁾ , 後藤慎介 ¹⁾ , 岡島雄史 ¹⁾ , 市川和雄 ¹⁾ , 植田侯平 ¹⁾ , 高山守正 ²⁾ , 高野照夫 ³⁾ (¹⁾ 放射線科, ²⁾ 集中治療室) | (綜説)肺血栓症に対するIVR | IVR | | 177-182 | 1998.4 |
| 木内 要, 高野照夫(集中治療室) | (綜説)ショック時の心機能不全の病態と新しい薬物療法 | Intensive & Critical Care Medicine | 10(4) | 387-396 | 1998.4 |
| 子島 潤, 木内 要, 高野照夫(集中治療室) | (綜説)急性心不全の病態 | 医薬の門 | 38(4) | 207-214 | 1998.4 |
| 大野則彦, 水野杏一(千葉北総病院内科) | (綜説)一時的ペースメーカー挿入 | 救急医学 | 22(4) | 424-425 | 1998.4 |
| 酒井俊太, 水野杏一(千葉北総病院内科) | (綜説)内視鏡・血管内エコーによる冠動脈病変の診断 | Medicina | 35(4) | 723-727 | 1998.4 |
| 畑 典武 ¹⁾ , 国見聡宏 ¹⁾ , 松田裕之 ¹⁾ , 高野雅充 ¹⁾ , 長岡章平 ²⁾ , 青木昭子 ²⁾ (¹⁾ 国立横須賀病院循環器科, ²⁾ 国立横須賀病院内科) | (原著)ニコランジルとグリベンクファミドの相互作用についての検討 | Ther Res | 19(4) | 841-845 | 1998.4 |
| 小林義典, 林 明聡, 清水秀一, 松本 真, 川口直美, 小倉宏道, 宮内靖史, 小原俊彦, 大村和子, 斎藤寛和, 井野 威, 新 博次, 加藤貴雄, 早川弘一 | (原著)副伝導路離断後に薬剤抵抗性の非通常型心房粗動および心房頻拍が頻発した潜在性WPW症候群の1例 | 臨床心臓電気生理 | 21 | 171-181 | 1998.5 |

| 著者名 | 著書・論文名 | 雑誌名・図書名 | 巻 | ページ | 年・月 |
|--|---|------------|-------|----------|--------|
| 田寺 長 ¹⁾ , 井野 威 ¹⁾ , 宮本新次郎 ¹⁾ , 田中古登子 ²⁾ , 長澤絃一 ³⁾ , 小林義典, 新 博次, 早川弘一 ⁴⁾ (多摩永山病院内科) | (原著)左側副伝導路例における心房細動発生気序の検討—冠静脈洞Splitted Potentialとの関連 | 臨床心臓電気生理 | 21 | 209-217 | 1998.5 |
| 加藤貴雄 | (綜説)陳旧性心筋梗塞における心室性期外収縮2連発に対する治療の考え方 | 循環科学 | 18(5) | 464-465 | 1998.5 |
| 荒牧琢己 | (綜説)肝炎 | 臨床栄養 | 92(6) | 613 | 1998.5 |
| 遠藤孝雄, 佐藤直樹 | (綜説) α 遮断薬(連載:ICUにおける心血管作動薬8) | 集中治療 | 10(5) | 557-560 | 1998.5 |
| 中野博司 ¹⁾ , 清野精彦 ²⁾ (老人科) | (綜説)頸動脈の肥厚・狭窄(今月の主題:内科医がよく遭遇する血管疾患 末梢動脈疾患) | medicina | 35(5) | 863-866 | 1998.5 |
| 小林義典, 新 博次 | (綜説)wide QRSの頻拍症 | 救急医学 | 22(5) | 585-589 | 1998.5 |
| 宮内靖史, 清野精彦 | (綜説)房室ブロック | 救急医学 | 22(5) | 572-578 | 1998.5 |
| 太田眞夫, 子島 潤 ¹⁾ , 高野照夫 ²⁾ (集中治療室) | (綜説)ACE阻害薬, ALL受容体拮抗薬(連載:ICUにおける心血管作動薬7) | 集中治療 | 10(5) | 552-556 | 1998.5 |
| 村澤恒男, 森瀬景子, 網谷賢一, 東海林智子, 中村俊彦, 山口朋禎, 西垣朝裕, 伊藤達也, 増田康文, 雪吹周生, 上田征夫, 原文男 (第二病院内科) | (原著)安定期維持透析患者の血液透析に伴う加算平均心電図の変動:filtered QRSとfiltered P | 臨床透析 | 14(6) | 885-890 | 1998.5 |
| 高山守正, 坪 宏一, 酒井俊太, 関戸司久, 大久保直子, 木内要, 子島 潤, 高野照夫, 他 (集中治療室) | (綜説)急性大動脈解離:この致死的疾患をどう診断・治療するか | 日医大誌 | 65 | 176-179 | 1998.5 |
| 北本 清 ¹⁾ , 秦 哉 ²⁾ , 長澤絃一 ³⁾ , 他 ⁴⁾ (杏林大学医学部第1内科, ²⁾ 杏林大学医学部高齢医学, ³⁾ 多摩永山病院内科) | (原著)高齢者高血圧症に対する塩酸Benidipineの臨床的有用性に関する検討—多施設共同研究— | 新薬と臨床 | 47(6) | 991-1008 | 1998.6 |
| 子島 潤, 高野照夫 (集中治療室) | (綜説)急性期救命治療:劇症型心筋炎に対する体外循環補助の有効性と問題点 | Heart View | 2(6) | 696-701 | 1998.6 |
| 新 博次 | (綜説)抗不整脈薬ジソピラミド(リズモダン(R))の適正使用 | PTM | 9 | | 1998.6 |
| 高山守正 (集中治療室) | (綜説)一次救急と重症循環器疾患の取り扱い | ICUとCCU | 22(6) | 405-411 | 1998.6 |

| 著者名 | 著書・論文名 | 雑誌名・図書名 | 巻 | ページ | 年・月 |
|---|---|------------------|-------|-----------------|--------|
| 木内 要, 高野照夫(集中治療室) | (綜説)心不全に対する薬物治療の実際:急性心不全(慢性心不全の急性増悪を含む)の病態と治療手順 | Medical Practice | 15(6) | 943-948 | 1998.6 |
| 高山守正(集中治療室) | (綜説)特集:Coronary interventionの最近の動向 不安定狭心症のCoronary intervention | 集中治療 | 10(6) | 623-630 | 1998.6 |
| 木内 要, 高野照夫(集中治療室) | (綜説)心筋梗塞の薬物治療:心不全対策 | 今月の治療 | 6 | 1201-1204 | 1998.6 |
| 田畑博嗣 ¹⁾ , 水野杏一 ²⁾ (¹⁾ 防衛医科大学第一内科, ²⁾ 千葉北総病院内科) | (綜説)新しい抗血栓薬の効果 | 血栓と循環 | 6(2) | 59(147)-65(153) | 1998.6 |
| 鈴木 健, 大津文雄, 山中博之, 真鍋辰哉, 長澤紘一(多摩永山病院内科) | (原著)経皮的ニトログリセリン製剤連用時におけるニトログリセリン放出様式と耐性の関係 | 医学と薬学 | 40(2) | 319-327 | 1998.6 |
| 宮内靖史, 加藤貴雄 | (綜説)ペースメーカー療法—Pafの予防, Cafのペースメーカー—(特集:心房細動の治療と管理) | CARDIAC PRACTICE | 9(3) | 319-324 | 1998.7 |
| 岸田 浩 | (綜説)新しいカルシウムの拮抗薬の作用機序, 特徴と臨床的有用性(特集:カルシウムチャンネルをめぐって) | 循環器科 | 44 | 60-66 | 1998.7 |
| 子島 潤 ¹⁾ , 山本 剛(¹⁾ 集中治療室) | (綜説)心房性ナトリウム利尿ホルモン(連載:ICUにおける心血管作動薬11) | 集中治療 | 10(7) | 775-779 | 1998.7 |
| 小林義典, 加藤貴雄 | (綜説)<薬物療法の進歩>虚血性心疾患を合併した不整脈の治療戦略(特集:不整脈診療の実際—最新の知識から実践へ) | 内科 | 82(1) | 72-76 | 1998.7 |
| 柏木睦美, 清野精彦 | (綜説)B.血管拡張薬 PGE ₂ , PGI ₂ ,抗セロトニン薬—臨床的有用性と今後の展望 | 集中治療 | 10(7) | 780-783 | 1998.7 |
| 賈 大林, 安武正弘, 草間芳樹, 岸田 浩, 早川弘一 | (原著)フェニレフリン, エンドセリン, アンジオテンシンIIの再灌流性不整脈に対する影響—プロテインキナーゼCを介するNa ⁺ /H ⁺ 交換系の役割— | 日医大誌 | 65(4) | 276-283 | 1998.8 |
| 斉藤 勉, 岸田 浩, 佐野純子, 福岡祐美子, 福岡長知, 草間芳樹, 早川弘一 | (綜説)冠攣縮性狭心症におけるcoronary tonusに対する自律神経系とcatecholamineの寄与 | 心臓 | 30(3) | 109-111 | 1998.8 |
| 新 博次 | (綜説)循環器系疾患治療薬(特集:医薬品の適応外使用を考える) | 臨床と薬物治療 | 17(8) | 697-700 | 1998.8 |
| 高山守正(集中治療室) | (綜説)閉塞性肥大型心筋症に対する中隔心筋アブレーション | medicina | 35(8) | 1430-1434 | 1998.8 |

| 著者名 | 著書・論文名 | 雑誌名・図書名 | 巻 | ページ | 年・月 |
|--|---|------------------------------|-------|---------|---------|
| 水野杏一(千葉北総病院内科) | (綜説)再灌流療法後の急性冠閉塞予防 | 呼吸と循環 | 46(8) | 743-749 | 1998.8 |
| 佐野純子, 水野杏一(千葉北総病院内科) | (綜説)(C交感神経系)β遮断剤 | 集中治療 | 10(8) | 895-899 | 1998.8 |
| 松本 真, 水野杏一(千葉北総病院内科) | (綜説)(C交感神経系)中枢性, 節遮断, ラウオルフィア | 集中治療 | 10(8) | 901-903 | 1998.8 |
| 荒牧琢己 | (綜説)腹水の鑑別診断: 日常診療の指針 | 外科治療 | 79(3) | 353-354 | 1998.9 |
| 岸田 浩 | (綜説)虚血性心疾患の治療に思うこと | 呼吸と循環 | 46(9) | 847 | 1998.9 |
| 草間芳樹 | (綜説)薬物療法の選択 | 循環制御 | 19(3) | 348-352 | 1998.9 |
| 柴田明佳 ¹⁾ , 鈴木純子 ¹⁾ , 田所久子 ¹⁾ , 佐藤知枝 ¹⁾ , 池野廣幸 ¹⁾ , 鈴木 健 ²⁾ (¹⁾ 多摩永山病院中央検査室, ²⁾ 同内科) | (原著)酵母様真菌鑑別倍地ATG生寒天倍地の評価 | 私立医科大学臨床衛生検査技師会誌 KAMRADEN | 27 | 14-17 | 1998.9 |
| 鈴木 健(多摩永山病院内科) | (綜説)サイアザイド系, K保持性利尿薬(連載:ICUにおける心血管作動薬16) | 集中治療 | 10(9) | 989-991 | 1998.9 |
| 橋本政子 ¹⁾ , 隅田香織 ¹⁾ , 野本剛史 ¹⁾ , 里村克章 ¹⁾ , 米山芳雄 ²⁾ (¹⁾ 中央検査室, ²⁾ 産婦人科) | (研究報告)日立7150形自動分析装置を用いたランピアラテックスRUBELLA, ランピアラテックスTOXOの検討 | 医学と薬学 | 40(3) | 561-568 | 1998.9 |
| 森田典成, 小林義典, 林 明聡, 川口直美, 宮内靖史, 小原俊彦, 大村和子, 平山悦之, 斎藤寛和, 新 博次, 加藤貴雄, 早川弘一, 井野 威 ¹⁾ , 田中茂夫 ²⁾ (¹⁾ 多摩永山病院, ²⁾ 第二外科) | (原著)左右両側に2本の副伝導路を有し, 左側副伝導路にのみ過常伝導が観察された潜在性WPW症候群の1例 | 不整脈 | 14(4) | 426-432 | 1998.10 |
| 徳山権一 ¹⁾ , 木内 要 ¹⁾ , 子島 潤 ¹⁾ , 高山守正 ¹⁾ , 高野照夫 ¹⁾ , 早川弘一 ¹⁾ (¹⁾ 集中治療室) | (原著)急性肺動脈血栓症における先天性血栓性素因と抗リン脂質抗体の役割 | J Cardiol | 32 | 263-268 | 1998.10 |
| 桜井正之 ¹⁾ , 四倉昭彦 ¹⁾ , 佐藤 実 ¹⁾ , 伊東敏弘 ¹⁾ , 北畠 顕 ¹⁾ , 池田こずえ ¹⁾ , 久賀圭祐 ¹⁾ , 渡辺一郎 ¹⁾ , 高橋義和 ¹⁾ , 八木 洋 ¹⁾ , 杉本賢治 ¹⁾ , 大塚雄司 ¹⁾ , 新 博次, 遠藤康実, 野村敦宜, 松本 真, 小野寺威夫, 北山活気, 他(¹⁾ 北海道大学循環器内科, ²⁾ 山形大学第一内科, ³⁾ 筑波大学内科, ⁴⁾ 日本大学第二内科, ⁵⁾ 日本大学駿河台病院循環器内科) | (原著)心房細動と血栓症: 多施設共同調査 | J Cardiol | 31(4) | 227-238 | 1998.10 |
| 斎藤寛和, 野村敦宜, 大坂元久, 佐々部典子, 早川弘一 | (綜説)不整脈発生への自律神経の関与—心拍変動周波数解析による評価の限界と可能性— | 臨床モニター | 9(2) | 94-103 | 1998.10 |

| 著者名 | 著書・論文名 | 雑誌名・図書名 | 巻 | ページ | 年・月 |
|--|--|------------------------------------|--------|-----------|---------|
| 斎藤寛和, 小野卓哉, 野村敦宣, 岩崎雄樹, 大野則彦, 松本 真, 小林義典, 新 博次, 加藤貴雄, 岸田 浩, 早川弘一 | (綜説)神経調節性失神の自律神経学的背景—Head-up Tilt試験と薬理学的自律神経機能検査による検討— | 臨床病理 | 46(10) | 1043-1048 | 1998.10 |
| 新 博次 | (綜説)特発性心室細動とBrugada症候群 | 不整脈 | 14(4) | 368-378 | 1998.10 |
| 加藤貴雄 | (綜説)I群薬(特集:ICUにおける心血管作動薬17) | 集中治療 | 10(10) | 1097-1102 | 1998.10 |
| 清野精彦 | (綜説)免疫抑制薬が心血管系に及ぼす影響(特集:腎移植を成功させるためのチェックポイント) | 腎と透析 | 45(4) | 443-448 | 1998.10 |
| 清野精彦 | (綜説)急性心不全の治療—カテコラミンとそれ以外の薬剤の活用— | Medical Practice | 15(10) | 1745-1752 | 1998.10 |
| 斎藤寛和, 岸田 浩 | (綜説)不整脈を伴う例(特集:心筋梗塞の薬物治療) | 今月の治療 | 6(11) | 49-52 | 1998.10 |
| 新 博次 | (綜説)治験責任医師の立場から | 臨床医薬 | 14(14) | 2499-2501 | 1998.10 |
| 大野則彦, 斎藤寛和 | (綜説)II群薬, IV群薬(連載:ICUにおける心血管作動薬18) | 集中治療 | 10(10) | 1103-1105 | 1998.10 |
| 山家智之 ¹⁾ , 南家俊介 ²⁾ , 西平哲郎 ²⁾ , 田中 明 ¹⁾ , 大坂元久, 吉澤 誠 ³⁾ , 田林晃一 ⁴⁾ , 仁田新一 ¹⁾ (¹⁾ 東北大学加齢医学研究所, ²⁾ 公立黒川病院, ³⁾ 東北大学大学院工学研究科, ⁴⁾ 東北大学医学部胸部外科) | (綜説)複雑系としての心臓血管系のカオスのダイナミクスに与えるACE阻害薬の影響 | Prog Med | 18(10) | 2481-2490 | 1998.10 |
| 斎藤寛和, 野村敦宣, 大坂元久, 佐々部典子, 早川弘一 | (綜説)不整脈発生への自律神経の関与—心拍変動周波数解析による評価の限界と可能性— | 臨床モニター | 9(2) | 94-103 | 1998.10 |
| 荒牧琢己, 関山達也, 長戸孝道, 清水秀治, 古明地弘和, 長野具雄, 大須賀勝, 寺田秀人, 里村克章, 勝田俵美, 高木 元 | (研究報告書)早期診断及び治療・リハビリテーションに関する研究(特定内蔵系疾患)—慢性肝疾患患者における頭部MRIT1強調画像淡蒼球高信号の病態に関する検討 | 平成9年度特殊疾病(難病)に関する研究報告書 | | 65-71 | 1998.10 |
| 木内 要, 高野照夫(集中治療室) | (綜説)循環作動薬 | Intensive & Critical Care Medicine | 10 | 50-60 | 1998.10 |
| 小倉宏道, 高野照夫(集中治療室) | (綜説)循環動態のモニタリング | medicina | 35(11) | 32-37 | 1998.10 |
| 水野杏一(千葉北総病院内科) | (綜説)急性冠症候群の血管内視鏡所見 | 集中治療 | 10(10) | 1069-1074 | 1998.10 |

| 著者名 | 著書・論文名 | 雑誌名・図書名 | 巻 | ページ | 年・月 |
|---|---|------------------|--------|-----------|---------|
| 岡松健太郎, 水野杏一(千葉北総病院内科) | (綜説)血管内視鏡 | 循環 | 19(10) | 24-27 | 1998.10 |
| 小原俊彦 ¹⁾ , 田中啓治 ¹⁾ , 清宮康嗣 ¹⁾ , 丸山光紀 ¹⁾ , 笠神康平 ¹⁾ , 田中隆 ¹⁾ , 高山英男 ¹⁾ , 今泉孝敬 ¹⁾ , 加藤貴雄 ¹⁾ (千葉北総病院集中治療部) | (原著)心原性ショックに伴う難治性心室性不整脈にカリウムチャネル遮断薬MS-551が著効を示した1例 | 集中治療 | 10 | 1120-1125 | 1998.10 |
| 田近豊一郎 ¹⁾ , 畑典武 ²⁾ (¹⁾ 田近医院, ²⁾ 国立横須賀病院循環器科) | (綜説)多発塞栓は予防し得たか? | 循環科学 | 18(10) | 956-959 | 1998.10 |
| 勝田倭実, 本間博, 張雪君, 大須賀勝, 古明地弘和, 関山達也, 荒牧琢己 | (原著)慢性肝疾患における肺循環異常と動脈血酸素化障害: 拡散一血流障害 | 日門食会誌 | 4 | 311-313 | 1998.11 |
| 清野精彦, 子島潤, 高山守正, 高野照夫, 大林完二 ¹⁾ (¹⁾ 大林内科医院) | (原著)循環器診療における心筋Troponin T全血迅速判定法の有用性に関する検討: 東京地区循環器実地診療における評価 | J Cardiol | 31 | 281-287 | 1998.11 |
| 酒井俊太, 高野照夫, 高山守正, 早川弘一 | (原著)急性冠症候群における標準四肢誘導心電図V ₄ 誘導のST上昇の意義に関する研究 | 心電図 | 18(6) | 849-857 | 1998.11 |
| 大坂元久, 斎藤寛和, 新博次, 伊藤高司 ¹⁾ , 加藤貴雄, 岸田浩, 早川弘一, Armoundas AA ²⁾ , Cohen RJ ²⁾ (¹⁾ 情報科学センター, ²⁾ Massachusetts Institute of Technology) | (綜説)心室期外収縮の概日リズムと心臓突然死の関連 | 心筋の構造と代謝 | 20 | 275-278 | 1998.11 |
| 新博次 | 心房細動治療に今後望まれる薬剤について | Pharma Medica | 16(11) | 124-126 | 1998.11 |
| 岸田浩 | (綜説)冠縮の治療—特に異型狭心症(特集: 目でみる診断法・治療法) | 臨床成人病 | 28(11) | 1312-1314 | 1998.11 |
| 斎藤寛和, 木村祐子, 岸田浩 | (綜説)劇症型心筋炎の早期診断法(特集: 劇症型心筋炎の早期診断と治療戦略) | 循環器科 | 44 | 425-431 | 1998.11 |
| 斎藤寛和 | (綜説)電解質異常と不整脈(連載: 実地から学ぶ心電図の読みかた/不整脈編) | Medical Practice | 15(11) | 1969-1975 | 1998.11 |
| 新博次 | (綜説)III群薬(連載: ICUにおける心血管作動薬19) | 集中治療 | 10(11) | 1211-1212 | 1998.11 |
| 加藤貴雄 | (綜説)加算平均心電図 | 心電図検査 | | 83-88 | 1998.11 |
| 荒牧琢己, 岩尾忠 ¹⁾ (¹⁾ 久留米大学第二内科) | (綜説)肝硬変における循環動態異常 | 日門食会誌 | 4 | 284-289 | 1998.11 |

| 著者名 | 著書・論文名 | 雑誌名・図書名 | 巻 | ページ | 年・月 |
|---|---|---------------------------|---------|-----------|---------|
| 新博次 | (綜説)循環器用剤:注意すべき相互作用 | 循環科学 | 18(11) | 1046-1047 | 1998.11 |
| 岸田浩 | (綜説)求められる日本心電学会として | 心電図 | 18(6) | 815-816 | 1998.11 |
| 清野精彦, 富田喜文, 福本裕子, 子島潤, 高山守正, 高野照夫, 大林完二 ¹⁾ (¹⁾ 大林内科医院) | (研究報告書)心血管疾患の救急医療の現状と対策に関する研究 循環器救急における血液生化学的マーカー迅速診断システムの導入に関する検討 | 平成9年度厚生省循環器病研究委託費による研究報告集 | | 419 | 1998.11 |
| 高野照夫(集中治療室) | (綜説)急性心筋梗塞における救急医療の実績 | Medical Technology | 26(11) | 1188-1192 | 1998.11 |
| 大国眞一 ¹⁾ , 水野杏一 ¹⁾ , 岸田浩, 早川弘一 ¹⁾ (千葉北総病院内科) | (原著)経皮的冠動脈形成術(PTCA)後再狭窄のメカニズム:冠動脈血管内視鏡による検討 | 脈管学 | 38(11) | 795-801 | 1998.11 |
| 大塚俊昭 ¹⁾ , 清宮康嗣 ¹⁾ , 説田浩一 ¹⁾ , 小川剛 ¹⁾ , 富田喜文, 草間芳樹, 高山守正 ¹⁾ (博慈会記念総合病院循環器内科) | (原著)当院におけるcoronary interventionの実状. | 第13回足立区医学会論文集 | | 43-44 | 1998.11 |
| 小野卓哉, 加藤貴雄 | (綜説)ムスカリン受容体遮断薬の薬理と使い分け(特集:抗不整脈薬一選択と適正使用のための基礎知識) | 治療薬 | 3(4) | 58-60 | 1998.12 |
| 清野精彦, 島井新一郎, 早川弘一, 竹田晋浩 ¹⁾ , 池崎弘之 ¹⁾ , 高野照夫 ¹⁾ , 小川龍 ²⁾ (¹⁾ 集中治療室, ²⁾ 麻酔科) | (綜説)急性心不全における肺うっ血の病態と治療に関する考察 | 循環制御 | 19(4) | 492-499 | 1998.12 |
| 荒牧琢己 | (綜説)自己免疫性肝炎の診断と治療 | 日医会誌 | 120(11) | 1605-1610 | 1998.12 |
| 高野照夫, 上村竜太, 木内要(集中治療室) | (綜説)心原性ショックの新しい治療 | 現代医療 | 30(IV) | 3213-3220 | 1998.12 |
| 竹田晋浩 ¹⁾ , 小林徳行 ²⁾ , 高野照夫 ¹⁾ (¹⁾ 集中治療室, ²⁾ 麻酔科) | (綜説)特集:集中治療中の合併症;循環器合併症 | ICUとCCU | 22(12) | 881-885 | 1998.12 |
| 山口朋禎, 雪吹周生, 原文男, 櫛方美文, 上田征夫, 他(第二病院内科) | (原著)急性心筋梗塞様心電図を呈し経過中に突然死をきたした肥大型心筋症の1例 | 心臓 | 30(4) | 69-73 | 1998.12 |
| 子島潤(集中治療室) | (綜説)心原性ショックの機械的治療 | Ther Res | 19(12) | 3685-3673 | 1998.12 |
| 酒井俊太, 水野杏一(千葉北総病院内科) | (綜説)冠血管内視鏡 | Heart View | 2(12) | 28-33 | 1998.12 |

| 著者名 | 著書・論文名 | 雑誌名・図書名 | 巻 | ページ | 年・月 |
|--|---|------------------------------------|---------|-----------|---------|
| 柴田泰史 ¹⁾ , 里村克章 ¹⁾ , 久志本成樹 ²⁾ , 木村昭夫 ³⁾ , 山本保博 ³⁾ , 他 ¹⁾ (¹⁾ 中央検査室, ²⁾ 救急医学講座) | (研究報告)敗血症性DICに対するATⅢ製剤投与による血中メディエーターの変動 | バイオメディカル | 8 | 19-21 | 1998.12 |
| 畑典武 ¹⁾ , 国見聡宏 ¹⁾ , 松田裕之 ¹⁾ , 長岡章平 ²⁾ , 青木昭子 ²⁾ , 他 ¹⁾ (¹⁾ 国立横須賀病院循環器科, ²⁾ 国立横須賀病院内科) | (原著)進行性全身性硬化症における心病変 | J Cardiol | 32(6) | 397-402 | 1998.12 |
| 井野威(多摩永山病院内科) | (綜説)救急薬 硫酸アトロピン (ICUにおける心血管作動薬22) | 集中治療 | 10 | 1338-1340 | 1998.12 |
| 遠藤孝雄, 山本剛, 子島潤 | (綜説)カリウムチャンネル開口薬 | 医薬ジャーナル | 35(S-1) | 112-119 | 1999.1 |
| 荒牧琢己, 勝田徳実, 関山達也, 寺田秀人 | (綜説)Hyperdynamic circulationの成因と病態(特集:門脈圧亢進症—病態と治療) | 肝胆脾 | 38(1) | 19-25 | 1999.1 |
| 山家智之 ¹⁾ , 吉澤誠 ¹⁾ , 大坂元久, 田林暎一 ²⁾ , 高安秀樹 ³⁾ , 竹田宏 ⁴⁾ , 仁田新一 ⁴⁾ (¹⁾ 東北大学大学院工学研究科, ²⁾ 東北大学医学部胸部外科, ³⁾ ソニーコンピューターサイエンス, ⁴⁾ 東北学院大学工学部) | (綜説)循環系のカオスの起源と臨床応用について | 加齢医学研究所雑誌 | 50(1) | 1-16 | 1999.1 |
| 清野精彦 | (綜説)急性冠症候群—生化学的マーカーと治療ストラテジー—(特集:治療トピックス100) | 治療 | 81 | 148-153 | 1999.1 |
| 高崎雄司 ¹⁾ , 長野具雄, 北村裕 ²⁾ , 橋本綱子 ³⁾ , 宗像一雄, 落雅美 ³⁾ , 江本直也 ¹⁾ , 岸田浩, 山中宣昭 ⁴⁾ , 飯野靖彦 ¹⁾ , 弦門昭彦 ¹⁾ , 内藤善哉 ⁴⁾ , 後藤真 ³⁾ (¹⁾ 内科, ²⁾ 外科, ³⁾ 皮膚科, ⁴⁾ 病理, ⁵⁾ 東京都立大塚病院膠原病リウマチ科) | (綜説)早老症に重症狭心症を合併し, 冠動脈バイパス術を施行した1例 | 内科 | 83(1) | 145-154 | 1999.1 |
| 木内要(集中治療室) | (綜説)炭酸水素ナトリウム | Intensive & Critical Care Medicine | 11 | 81-82 | 1999.1 |
| 高野照夫(集中治療室) | (綜説)心筋梗塞と狭心性の最近の話題 | 埼玉県医師会雑誌 | 33(3) | 442-446 | 1999.1 |
| 水野杏一(千葉北総病院内科) | (原著)インターベンション時の血管内視鏡の有用性 | 脈管学 | 39(1) | 29-33 | 1999.1 |
| 張静, 水野杏一(千葉北総病院内科) | (綜説)血管内視鏡による冠動脈プラークの検出 | Pharma Medica | 17(1) | 75-81 | 1999.1 |
| 酒井俊太, 水野杏一(千葉北総病院内科) | (綜説)血管内視鏡 | The Lipid | 10(1) | 61-67 | 1999.1 |
| 平岡昌和 ¹⁾ , 小川聡 ¹⁾ , 杉本恒明 ²⁾ , 井上博 ²⁾ , 加藤貴雄 ¹⁾ , 他 ¹⁾ (¹⁾ 日本心電学会「抗不整脈ガイドライン」小委員会委員, ²⁾ 日本循環器学会診療基準委員会委員) | (綜説)抗不整脈開発・研究の基礎的諸問題—薬物治療ガイドラインのための資料作成の経験から— | 心電図 | 19(1) | 63-68 | 1999.1 |

| 著者名 | 著書・論文名 | 雑誌名・図書名 | 巻 | ページ | 年・月 |
|--|--|-----------------|-------------|---------|--------|
| 新 博次 | (綜説)非薬物治療中心の時代における薬物治療の意義—頻脈性不整脈を中心に(特集:不整脈治療—基礎から臨床まで) | 循環科学 | 19(2) | 110-112 | 1999.2 |
| 加藤貴雄, 早川弘一 | (綜説)心室細動(不整脈用語解説 連載15) | Pharma Medica | 17(2) | 93-97 | 1999.2 |
| 高山守正(集中治療室) | (綜説)G抗凝固薬 ヘパリン, ワーファリン, 他 | 集中治療 | 11(2) | 183-186 | 1999.2 |
| 畑 典武, 国見聡宏, 高野雅充 (国立横須賀病院循環器科) | (綜説)一過性心房細動の除細動後(ジソピラマイド静注)にST上昇を認めた陳旧性心筋梗塞の1例 | 医療 | 53(2) | 117-120 | 1999.2 |
| 桜井正之 ¹⁾ , 四倉昭彦 ¹⁾ , 佐藤 実 ¹⁾ , 伊東敏弘 ¹⁾ , 北畠 顕 ¹⁾ , 池田こずえ ²⁾ , 久賀圭祐 ³⁾ , 渡辺一郎 ⁴⁾ , 高橋義和 ⁵⁾ , 八木 洋 ³⁾ , 杉本賢治 ³⁾ , 大塚雄司 ⁶⁾ , 新 博次, 遠藤康実, 野村敦宣, 松本 真, 小野寺威夫, 北山活気, 他 ^(¹⁾北海道大学循環器内科, ²⁾山形大学第一内科, ³⁾筑波大学内科, ⁴⁾日本大学第二内科, ⁵⁾日本大学駿河台病院循環器内科) | (原著)高齢者の心房細動と血栓塞栓症の実態:多施設共同調査 | J Cardiol | 33(1) | 27-35 | 1999.3 |
| 新 博次 | (綜説)心房細動発生機序の変遷 | J Cardiol | 33(Suppl 1) | 53-57 | 1999.3 |
| 清野精彦, 竹田晋浩 ¹⁾ , 高野照夫 ¹⁾ (集中治療室) | (綜説)急性心不全の治療戦略をたてる 急性心不全における人工呼吸管理と離脱の仕方について(特集:急性心不全の新しい治療戦略) | 集中治療 | 11(3) | 277-282 | 1999.3 |
| 本間 博 | (綜説)アスピリン, チクロピジン, ジピリダモール, シロスタゾール, その他(連載:ICUにおける心血管作動薬27) | 集中治療 | 11(3) | 289-293 | 1999.3 |
| 関戸司久 ¹⁾ , 高野 照夫 ¹⁾ , 高山守正 ¹⁾ , 早川弘一 ²⁾ (¹⁾ 集中治療室, ²⁾ 第一内科) | (原著)最近10年間の感染性心内膜炎の動向:臨床的・微生物学的・治療的特徴の分析 | J Cardiol | 33(4) | 209-215 | 1999.3 |
| 水野杏一(千葉北総病院内科) | (綜説)貴方も名医—肺梗塞 | Clinic Magazine | 335 | 81-82 | 1999.3 |
| 松田裕之, 国見聡宏, 畑 典武 | (綜説)心腔内異物摘出の1例 | 循環器科 | 45(3) | 283-286 | 1999.3 |

| 著者名 | 著書・論文名 | 雑誌名・図書名 | 巻 | ページ | 年・月 |
|---|---|-----------------------------------|-------|---------|--------|
| Narumi S ¹⁾ , Tominaga Y ¹⁾ , Tamaru M ¹⁾ , Shimai S ²⁾ , Okumura H ²⁾ (¹⁾ Pharmaceutica Basic Research Laboratories, Japan Tobacco, Inc. Central Pharmaceutical Research Institute, ²⁾ Department of Internal Medicine, Fussa Hospital) | (原著) Expression of IFN-Inducible Protein-10 in Chronic Hepatitis. | J Immunol | 158 | 5536-44 | 1997.6 |
| Lee YZ ¹⁾ , Belk PA ¹⁾ , Mullen TJ ¹⁾ , Rivers S ¹⁾ , Zhang X ¹⁾ , Armondas AA ¹⁾ , Osaka M, He B ¹⁾ , Aldea C ¹⁾ , Cohen RJ ¹⁾ (¹⁾ Harvard-MIT division of Health Sciences and Technology, Massachusetts Institute of Technology) | (原著) Comparison of body surface potential and Laplacian mapping with epicardial mapping for detection of cardiac ischemia in pigs | Annals Noninvasive Electrocardiol | 3 | 244-251 | 1998.1 |
| Takano M, Mizuno K(千葉北総病院内科) | (綜説) coronary angiography | Quarterly Bulletin of Angiology | 2(2) | 1-3 | 1998.2 |
| 荒尾正人 ¹⁾ , 星野仁彦 ²⁾ , 宮武佳子 ³⁾ , 土持英嗣 ⁴⁾ , 田上憲次郎 ⁵⁾ (¹⁾ 都立駒込病院循環器内科, ²⁾ 都立臨床医学総合研究所循環器研究部門) | (研究報告) ATⅢ欠損症に関する研究(平成7年度東京都特別研究) | 平成7年度衛生局報 | | 271-272 | 1995 |
| 荒尾正人 ¹⁾ , 宮武佳子 ²⁾ , 土持英嗣 ³⁾ , 田上憲次郎 ⁴⁾ , 赤松紀子 ⁵⁾ (¹⁾ 都立駒込病院循環器内科, ²⁾ 都立臨床医学総合研究所循環器研究部門) | (研究報告) 造影剤による流血中血小板活性化能に及ぼす影響について(平成6年度東京都特別研究) | 平成6年度衛生局報 | | 269-270 | 1996 |
| 荒尾正人, 土持英嗣(都立駒込病院循環器内科) | (研究報告) Pimobendanの心機能への影響 | 先端医療 | 3(6) | 69-72 | 1997 |
| 加藤貴雄, 早川弘一 | (綜説) 洞頻脈, 心房細動, 心房粗動, 偽性心室頻拍。(不整脈用語解説 連載7) | Pharma Medica | 15(5) | 174-178 | 1997.5 |
| 横山真也, 町井正人, 杉本忠彦, 岩原信一郎, 他(都立駒込病院循環器内科) | (原著) 慢性心房細動の心房有効不応期の不均一性 | 心臓 | 29(3) | 11-12 | 1997.6 |
| 加藤貴雄, 早川弘一 | (綜説) 発作性上室性頻拍, 房室結節リエントリー性頻拍, 房室回帰性頻拍, 異所性心房頻拍。(不整脈用語解説 連載8) | Pharma Medica | 15(7) | 148-152 | 1997.7 |
| 加藤貴雄, 早川弘一 | (綜説) 早期興奮症候群, WPW症候群, 副伝導路, ケント束, マハイム線維。(不整脈用語解説 連載9) | Pharma Medica | 15(9) | 193-198 | 1997.9 |
| 中込明裕, 長澤絃一(多摩永山病院内科) | (原著) 昇圧薬(特集: 循環器薬と薬剤干渉) | 循環器科 | 44(3) | 233-237 | 1998 |
| 佐々木聡 ¹⁾ , 渋谷正則 ²⁾ , 村田正弘 ³⁾ , 小海信一 ⁴⁾ , 井野威 ⁵⁾ , 長澤絃一 ⁶⁾ (¹⁾ 多摩永山病院薬剤科, ²⁾ 同内科) | (原著) メキシレチンのTDM—有効治療域の検討 | TDM研究 | 15 | 211-217 | 1998 |

| 著者名 | 著書・論文名 | 雑誌名・図書名 | 巻 | ページ | 年・月 |
|--|---|-------------------|-------|-----------------|--------|
| 佐々木聡 ¹⁾ , 堀川佳津美 ¹⁾ , 村田正弘 ¹⁾ , 小谷英太郎 ²⁾ , 井野威 ²⁾ , 長澤紘一 ²⁾ (¹⁾ 多摩永山病院薬剤科, ²⁾ 同内科) | (原著)抗不整脈薬の処方実態調査 | 薬品相互作用研究 | 21 | 133-138 | 1998 |
| 井野威, 田寺長, 宮本新次郎, 田中古登子, 大野忠明, 長澤紘一(多摩永山病院内科) | (原著)特異な心電図所見を呈した上室性頻拍の1例 | Ther Res | 19(4) | 56-65 | 1998 |
| 園部一成, 橋本政子, 森本進, 野本剛史, 里村克章(中央検査室) | (原著)HCV抗体検出試薬の第三代と称するに基づいた改良と感度の関連性 | 臨床検査機器・試薬 | 21 | 219-223 | 1998 |
| 新博次, 井野威, 斎藤寛和, 小野寺威夫, 来馬明規 | (原著)塩酸ピルジカイド注射剤(SUN1165(注))の電気生理学的効果ならびに心行動態に及ぼす影響—発作性上室性頻拍例における検討— | 臨床医薬 | 14(1) | 63-74 | 1998.1 |
| 大野則彦, 加藤貴雄 | (綜説)QT間隔の変動とその臨床的意義(特集:不整脈) | カレントセラピー | 16(2) | 132-139 | 1998.2 |
| 山本剛, 葉山修陽, 笠神康平, 横山真也, 上村竜太, 小林利行, 大国眞一, 水野杏一(千葉北総病院内科) | (原著)冠動脈疾患を伴った慢性血液透析患者における凝固系の意義 | J Jpn Coron Assoc | 4(2) | 47-51 | 1998.2 |
| 里村公生 ¹⁾ , 水野杏一 ²⁾ (¹⁾ 防衛医科大学第一内科, ²⁾ 千葉北総病院内科) | (綜説)冠動脈再狭窄の臨床—血管内視鏡から | Heart View | 2(3) | 32(296)-36(300) | 1998.2 |
| 加藤和三 ¹⁾ , 新博次, 杉本恒明 ²⁾ , 比江嶋一昌 ³⁾ , 飯沼宏之 ¹⁾ , 笠貫宏 ⁴⁾ , 片桐敬 ⁵⁾ , 井上博 ⁶⁾ (¹⁾ 心臓血管研究所, ²⁾ 公立学校共済組合関東中央病院, ³⁾ 東京医科歯科大学第一内科, ⁴⁾ 東京女子医科大学日本心臓血圧研究所循環器内科, ⁵⁾ 昭和大学第三内科, ⁶⁾ 富山医科薬科大学第二内科) | (原著)塩酸ピルジカイド注射剤(SUN1165(注))の各種頻拍不整脈停止効果—多施設共同による後期第II相試験— | 臨床医薬 | 14(4) | 699-718 | 1998.3 |
| 加藤和三 ¹⁾ , 佐久間昭 ²⁾ , 新博次, 杉本恒明 ³⁾ , 比江嶋一昌 ⁴⁾ , 飯沼宏之 ¹⁾ , 笠貫宏 ⁵⁾ , 片桐敬 ⁶⁾ , 井上博 ⁷⁾ (¹⁾ 心臓血管研究所, ²⁾ 東京医科歯科大学, ³⁾ 公立学校共済組合関東中央病院, ⁴⁾ 東京医科歯科大学第一内科, ⁵⁾ 東京女子医科大学日本心臓血圧研究所循環器内科, ⁶⁾ 昭和大学第三内科, ⁷⁾ 富山医科薬科大学第二内科) | (原著)塩酸ピルジカイド注射剤(SUN1165(注))の発作性上室性頻拍停止効果—多施設共同による用量検討のための後期第II相試験— | 臨床医薬 | 14(4) | 679-698 | 1998.3 |
| 加藤和三 ¹⁾ , 佐久間昭 ²⁾ , 井上博 ³⁾ , 杉本恒明 ⁴⁾ , 比江嶋一昌 ⁵⁾ , 飯沼宏之 ¹⁾ , 片桐敬 ⁶⁾ , 笠貫宏 ⁷⁾ , 新博次 ⁸⁾ (¹⁾ 心臓血管研究所, ²⁾ 東京医科歯科大学, ³⁾ 富山医科薬科大学第二内科, ⁴⁾ 関東中央病院, ⁵⁾ 東京医科歯科大学保健衛生学科, ⁶⁾ 昭和大学第三内科, ⁷⁾ 東京女子医科大学日本心臓血圧研究所循環器内科) | (原著)塩酸ピルジカイド注射剤(SUN1165(注))の心室性期外収縮に対する臨床評価—用量検討のための多施設二重盲検比較試験— | 臨床医薬 | 14(4) | 661-678 | 1998.3 |

| 著者名 | 著書・論文名 | 雑誌名・図書名 | 巻 | ページ | 年・月 |
|--|---|-------------------|-------|---------|--------|
| 加藤和三 ¹⁾ , 佐久間昭 ²⁾ , 新博次 ³⁾ , 杉本恒明 ⁴⁾ , 比江嶋一昌 ⁵⁾ , 飯沼宏之 ⁶⁾ , 片桐敬 ⁷⁾ , 笠貫宏 ⁸⁾ , 井上博 ⁹⁾ (¹⁾ 心臓血管研究所, ²⁾ 東京医科歯科大学, ³⁾ 関東中央病院, ⁴⁾ 東京医科歯科大学第一内科, ⁵⁾ 昭和大学第三内科, ⁶⁾ 東京女子医科大学日本心臓血圧研究所, ⁷⁾ 富山医科薬科大学第二内科) | (原著)塩酸ピルジカイド注射剤(SUN1165(注))の発作性心房細動・粗動停止効果—プラセボを対照薬とした多施設二重盲検群間比較試験— | 臨床医薬 | 14(4) | 769-790 | 1998.3 |
| 加藤和三 ¹⁾ , 佐久間昭 ²⁾ , 井上博 ³⁾ , 杉本恒明 ⁴⁾ , 比江嶋一昌 ⁵⁾ , 飯沼宏之 ⁶⁾ , 笠貫宏 ⁷⁾ , 片桐敬 ⁸⁾ , 新博次 ⁹⁾ (¹⁾ 心臓血管研究所, ²⁾ 東京医科歯科大学, ³⁾ 富山医科薬科大学第二内科, ⁴⁾ 関東中央病院, ⁵⁾ 東京医科歯科大学保健衛生学科, ⁶⁾ 東京女子医科大学日本心臓血圧研究所循環器内科, ⁷⁾ 昭和大学第三内科) | (原著)塩酸ピルジカイド注射剤(SUN1165(注))の心室性期外収縮に対する臨床評価—ジソピラミドを対照薬とした多施設二重盲検比較試験— | 臨床医薬 | 14(4) | 719-745 | 1998.3 |
| 加藤和三 ¹⁾ , 佐久間昭 ²⁾ , 新博次 ³⁾ , 杉本恒明 ⁴⁾ , 比江嶋一昌 ⁵⁾ , 飯沼宏之 ⁶⁾ , 片桐敬 ⁷⁾ , 笠貫宏 ⁸⁾ , 井上博 ⁹⁾ (¹⁾ 心臓血管研究所, ²⁾ 東京医科歯科大学, ³⁾ 関東中央病院, ⁴⁾ 東京医科歯科大学第一内科, ⁵⁾ 昭和大学第三内科, ⁶⁾ 東京女子医科大学日本心臓血圧研究所循環器内科, ⁷⁾ 富山医科薬科大学第二内科) | (原著)塩酸ピルジカイド注射剤(SUN1165(注))の発作性上室性頻拍停止効果—プラセボを対照薬とした多施設二重盲検比較試験— | 臨床医薬 | 14(4) | 747-768 | 1998.3 |
| 斎藤寛和, 遠藤康実, 大坂元久, 早川弘一 | (綜説)心拍変動解析の限界と展望 | 心電図 | 18(1) | 58-63 | 1998.3 |
| 里村公生 ¹⁾ , 悦田浩邦 ²⁾ , 正田浩之 ³⁾ , 西川健一郎 ⁴⁾ , 田畑博嗣 ⁵⁾ , 高瀬凡平 ⁶⁾ , 荒川宏 ⁷⁾ , 渋谷利雄 ⁸⁾ , 大鈴文孝 ⁹⁾ , 水野杏一 ¹⁰⁾ (¹⁾ 防衛医科大学第一内科, ²⁾ 千葉北総病院内科) | (原著)冠縮性狭心症における血中フィブリノゲン値の意義 | 循環器科 | 44(3) | 263-267 | 1998.3 |
| 高野雅充, 酒井俊太, 大国真一, 水野杏一(千葉北総病院内科) | (原著)Cutting balloon angioplastyにおける血管内エコーの有用性 | J Jpn Coron Assoc | 4(3) | 123-127 | 1998.3 |
| 水野杏一 ¹⁾ , 嶽山陽一 ²⁾ (¹⁾ 千葉北総病院内科, ²⁾ 防衛医科大学第一内科) | (綜説)急性心筋梗塞における再灌流療法の遠隔期成績 | 医学と薬学 | 39(3) | 471-472 | 1998.3 |
| 大場崇芳, 佐伯和則, 金 應文, 長戸孝道, 丸山光紀(北村山公立病院内科) | (綜説)当院における突然死の検討 | 北村山公立病院医学雑誌 | 3(1) | 62-67 | 1998.3 |

| 演 者 名 | 演 題 名 | 学 会 名 | 年 月 |
|--|---|---|---------|
| Hayakawa H, Homma H | (特別講演)Non-invasive quantification / localisation of ischemia (Ischemic Heart Disease) | 8th International Congress on Holter and Noninvasive Electrocardiology (Ulm, Germany) | 1998.5 |
| 安武正弘, 草間芳樹, 横山広行, 賈 大林 | (特別講演)虚血/再灌流傷害の発生機序:Na/H交換系の役割及び神経体液性因子の影響 | 第66回日本医科大学医学学会総会 | 1998.9 |
| 水野杏一(千葉北総病院内科) | (特別講演)血管内視鏡の開発と臨床応用 | 第66回日本医科大学医学学会総会 | 1998.9 |
| 早川弘一 | (特別講演)心電学の将来—ホルター心電図を中心に(心電学の未来) | 第15回日本心電学会学術集会 | 1998.10 |
| 水野杏一(千葉北総病院内科) | (特別講演)心血管イベント発症と抑制の機序:冠動脈血管内視鏡による検討 | 平成10年度動脈硬化学会冬季大会 | 1998.12 |
| 加藤貴雄 | (教育講演)心室期外収縮の薬物選択:不整脈薬物治療の進歩—Sicilian Gambitの考え方— | 日本循環器学会第107回東海・第92回北陸合同地方会 | 1998.10 |
| 高野照夫(集中治療室) | (教育講演)難治性心不全の集中治療の限界と心移植 | 第26回日本集中治療医学会総会 | 1999.3 |
| 水野杏一 ¹⁾ , 大國眞一 ¹⁾ , 酒井俊太 ¹⁾ , 今泉孝敬 ²⁾ , 他 ¹⁾ (¹⁾ 千葉北総病院内科、 ²⁾ 同集中治療部) | (シンポジウム)冠動脈血管内視鏡の開発と臨床 | 第37回日本ME学会大会 | 1998.5 |
| 清野精彦, 島井新一郎, 今泉孝敬, 説田浩一, 竹田晋浩 ¹⁾ , 子島 潤 ¹⁾ , 高野照夫 ¹⁾ , 小川 龍 ²⁾ (¹⁾ 集中治療室, ²⁾ 麻酔科) | (シンポジウム)急性心不全における肺うっ血の病態に関する考察 | 第19回日本循環制御医学会総会 | 1998.5 |

| 演者名 | 演題名 | 学会名 | 年月 |
|--|---|--------------------|---------|
| 水野杏一(千葉北総病院内科) | (シンポジウム)酸化LDLと冠動脈疾患の臨床 | 第30回日本動脈硬化学会総会 | 1998.6 |
| 新 博次 | (シンポジウム)非弁膜症性心房細動の機序と薬物療法(循環器疾患の最新の診断と治療) | 第33回日本循環器管理研究協議会総会 | 1998.7 |
| 宮本 明 ¹⁾ , Abela GS ²⁾ , 水野杏一 ³⁾ (¹⁾ 防衛医科大学第一内科、 ²⁾ 千葉北総病院内科) | (シンポジウム)血管内視鏡による易破綻性プラークの定量的評価の試み3 | 第9回日本脈管学会総会 | 1998.9 |
| 酒井俊太 ¹⁾ , 小川晃生 ¹⁾ , 稲見茂信 ¹⁾ , 岡松健太郎 ¹⁾ , 大野則彦 ¹⁾ , 横山真也 ¹⁾ , 松本 真 ¹⁾ , 北村克弘 ²⁾ , 大村和子 ¹⁾ , 福間祐美子 ¹⁾ , 大國 真一 ¹⁾ , 水野杏一 ¹⁾ (¹⁾ 千葉北総病院内科、 ²⁾ 防衛医科大学第一内科) | (シンポジウム)冠動脈内視鏡を治療戦略ガイドランスとして用いたカテーテルインターベンション | 第39回日本脈管学会総会 | 1998.9 |
| 水野杏一(千葉北総病院内科) | (シンポジウム)虚血性心疾患 | 第21回日本血栓止血学会学術集会 | 1998.9 |
| 新 博次 | (ファイアーサイドシンポジウム)III群薬と上室性不整脈 | 第15回日本心電学会学術集会 | 1998.10 |
| 佐々部典子 ¹⁾ , 斎藤寛和, 新 博次, 早川弘一(¹⁾ NTT東京中央健康管理センター循環器科) | (ファイアーサイドシンポジウム)発作性心房細動発症における自律神経の関与 | 第15回日本心電学会学術集会 | 1998.10 |
| 斎藤寛和 | (シンポジウム)抗不整脈薬治療の面から(心不全と心房細動) | 第5回心不全と不整脈フォーラム | 1998.12 |
| 竹田晋浩 ¹⁾ , 夏目隆史 ¹⁾ , 池崎弘行 ²⁾ , 高野照夫 ³⁾ , 中西一浩 ³⁾ , 他(¹⁾ 小山市民病院, ²⁾ 集中治療室, ³⁾ 麻酔科) | (シンポジウム)急性呼吸不全に対するNoninvasive ventilation.Positive pressure ventilation(Nasal CPAP)とNegative pressure ventilation(External high-frequency oscillation)の効果 | 第26回日本集中治療医学会総会 | 1999.3 |

| 演者名 | 演題名 | 学会名 | 年月 |
|--|---|---|---------|
| 松田裕之, 田中啓治, 高橋保裕, 愛須紀子, 清宮康嗣, 野村敦宣, 今泉孝敬(千葉北総病院集中治療部) | (シンポジウム)PCPSから多臓器補助システムへの発展の可能性(PCPSの現状と将来への展望) | 第12回日本医工学治療学会学術集会 | 1999.2 |
| 清宮康嗣, 田中啓治, 田邊潤, 池田真人, 高山英男, 野村敦宣, 今泉孝敬(千葉北総病院集中治療部) | (シンポジウム)急性心不全に対する血液浄化法の適応(主題:クリティカルケアにおける持続的血液浄化法の適応と有用性) | 第26回日本集中治療医学会総会 | 1999.3 |
| 清宮康嗣, 田中啓治, 田邊潤, 池田真人, 高山英男, 野村敦宣, 今泉孝敬(千葉北総病院集中治療部) | (シンポジウム)急性心筋梗塞に伴う難治性心不全に対する血液浄化法の適応 | 第26回日本集中治療医学会総会 | 1999.3 |
| 古明地弘和, 荒牧琢己 | (パネルディスカッション)当科における肝硬変の成因別実態 | 第2回日本肝臓学会大会 | 1998.10 |
| 清野精彦 | (セミナー)腎移植と心障害 | 第32回日本腎移植臨床研究会 | 1999.3 |
| 勝田悌実, 張雪君, 大須賀勝, 関山達也, 荒牧琢己 | (ワークショップ)肺高血圧を合併した肝硬変症の臨床的背景—門脈肺高血圧症—(高度肺血圧の成因をめぐって) | 第38回日本呼吸器学会総会 | 1998.3 |
| 斎藤寛和 | (ブリーフ・レビュー)TWA | 第9回体表心臓微小電位研究会 | 1999.2 |
| 新博次 | (ミニコース)発生機序の変遷(不整脈治療の新たな展開:心房細動の基礎から臨床まで) | 第46回日本心臓病学会学術集会 | 1998.9 |
| 加藤貴雄 | (ミニコース)微小電位(体表面心電図からわかること) | 第15回日本心電学会学術集会 | 1998.10 |
| 松本真, 野村敦宣, 斎藤寛和, 岩崎雄樹, 亀山幹彦, 緒方憲一, 小林義典, 新博次, 加藤貴雄, 早川弘一 | (会長指定特別セッション)T波オルタナンス判定基準の検討 | 第15回日本心電学会学術集会 | 1998.10 |
| Takayama H, Ohara T, Katoh T, Hayakawa H | (一般講演)Very transient change of high frequency components of QRS complex may be arrhythmogenic | The 23rd Annual Conference of International Society of Computerized Electrocardiology (Keystone, U.S.A) | 1998.4 |
| Asai K, Uechi M, Meguro T, Vatner DE, Ishikawa Y, et al (Cardiovascular Pulmonary Research Institute, Allegheny University of the Health Sciences) | (一般講演)Attenuation of autonomic tone in the transgenic mice with overexpression of cardiac Gs α . | Federation of American Societies for Experimental Biology (San Francisco) | 1994.4 |

| 演者名 | 演題名 | 学会名 | 年月 |
|---|--|--|--------|
| Ibuki C, Hoshino K, Ja D, Munakata K, Kusama Y, Hayakawa H | (一般講演)Catecholamine mediates the protective effects of angiotensin-II preconditioning in rat hearts | XVI World Congress of International Society of Heart Research (Rhodes, Greek) | 1998.5 |
| Sutovsky I, Wu XY, Ohara T, Katoh T, Hayakawa H | (一般講演)Changes in SAECG parameters after slow or intermediate Na-channel blockers and the predictability of their therapeutic effects | 8th International Congress on Holter and Noninvasive Electrocardiology (Ulm, Germany) | 1998.5 |
| Ono T, Saitoh H, Katoh I, Iwasaki U, Ohno N, Kobayashi Y, Homma H, Atarashi H, Katoh T, Kishida H, Hayakawa H | (一般講演)Is vasodepressor type included in entity of neurally mediated syncope? Evaluation of autonomic nervous function and drug efficacy | 8th International Congress on Holter and Noninvasive Electrocardiology (Ulm, Germany) | 1998.5 |
| Ogata K, Shimizu S, Matsumoto S, Nomura A, Hirayama Y, Kobayashi Y, Saitoh H, Atarashi H, Katoh T, Hayakawa H | (一般講演)Mechanism of T wave alternans - relation between T wave alternans and monophasic action potential alternans | 8th International Congress on Holter and Noninvasive Electrocardiology (Ulm, Germany) | 1998.5 |
| Yasutake M, Jia D, Kusama Y, Kishida H, Hayakawa H | (一般講演)Cardioprotective effects of a novel long-acting calcium antagonist pranidipine in rat | XVI World Congress of International Society of Heart Research (Rhodes, Greek) | 1998.5 |
| Sutovsky I, Wu X-Y, Ohara T, Katoh T, Hayakawa H | (一般講演)Changes in SAECG parameters after slow or intermediate sodium channel blockers and the predictability of their therapeutic effects | XXVth International Congress on Electrocardiology, 39th International Symposium on Electrocardiology (Budapest, Hungary) | 1998.6 |

| 演者名 | 演題名 | 学会名 | 年月 |
|--|--|---|--------|
| Endoh Y, Atarashi H, Saitoh H, Kobayashi Y, Kishida H, Hayakawa H | (一般講演)Clinical significance of QTc dispersion after myocardial infarction | XXVth International Congress on Electrocardiology, 39th International Symposium on Ectocardiography (Budapest, Hungary) | 1998.6 |
| Yokoyama H, Avkiran M (St. Thomas' Hospital) | (一般講演) α 1-adrenergic stimulation of sarcolemmal Na ⁺ /H ⁺ exchanger activity: receptor subtype selectivity | The International Society of Heart Research International Session (Rhodos Island) | 1998.7 |
| Takano H, Tang XL, Qiu Y, Banerjee S, Dawn B, Bokki R (Division of Cardiology, University of Louisville) | (一般講演)The mechanism of NO donor-induced late preconditioning in conscious rabbits involves protein kinase C activation | XX Annual Meeting of the International Society for Heart Research, American Section (Ann Arbor) | 1998.6 |
| Dawn B, Qiu Y, Tang XL, Takano H, Banerjee S, Bolli R (Division of Cardiology, University of Louisville) | (一般講演)Involvement of tyrosine kinases in the development of late preconditioning against myocardial stunning in conscious rabbits | XX Annual Meeting of the International Society for Heart Research, American Section (Ann Arbor) | 1998.8 |
| Xuan YT, Tang XL, Qiu Y, Banerjee S, Takano H, et al (Division of Cardiology, University of Louisville) | (一般講演)Direct evidence that inducible nitric oxide synthase mediates the late phase of ischemic preconditioning in conscious rabbits | XX Annual Meeting of the International Society for Heart Research, American Section (Ann Arbor) | 1998.8 |
| Sano J, Mizuno K, Ohkuni S, Ohmura K, Fukuma Y, Imaizumi T, Sakai S, Okamatsu K, Matsumoto S, Ohno N | (一般講演)Inhibitor of Coronary Artery Disease (CAD) with Green (Japanese) Tea. Is it the Japanese Paradox? | 18th World Congress of the International Union of Angiology (Tokyo) | 1998.9 |

| 演者名 | 演題名 | 学会名 | 年月 |
|---|---|--|---------|
| Sakai S ¹⁾ , Mizuno K ¹⁾ , Okamatsu K ¹⁾ , Yokoyama S ¹⁾ , Ohno N ¹⁾ , Matsumoto S ¹⁾ , Ohkuni S ¹⁾ , Kitamura K ¹⁾ , Imaizumi T ¹⁾ , Tanaka K ¹⁾ , Uemura R, Sekido M, Tomita Y, Kusama Y, Takayama M, Munakata K, Takano T, Hayakawa H (¹⁾ Department of Internal Medicine, Chiba Hokusyo Hospital) | (一般講演)Coronary angioscopic findings in infarct-related lesion before and after stent implantation in patients with acute myocardial infarction | American Heart Association 71st Scientific Sessions (Dallas) | 1998.11 |
| Schwencke C ¹⁾ , Yamamoto M ¹⁾ , Okumura S ²⁾ , Kim SJ ²⁾ (¹⁾ Allegheny Univ of the Health Sci, ²⁾ Allegheny Univ) | (一般講演)Compartmentalization of Adenylyl Cyclase and Protein Kinase A in Caveolae | American Heart Association the 71st Scientific Sessions (Dallas) | 1998.11 |
| Asai K, Meguro T, Coast DA, Smith AB, Ishikawa Y, et al (Cardiovascular Pulmonary Research Institute, Allegheny University of the Health Sciences) | (一般講演)Chronic β -adrenergic receptor blockade prevents the depression in cardiac function in older mice with cardiac Gs α overexpression | American Heart Association the 71st Scientific Sessions (Dallas) | 1998.11 |
| Mathier MA, Asai K, Shannon RP (Cardiovascular Pulmonary Research Institute, Allegheny University of the Health Sciences) | (一般講演)Nitric oxide modulates myocardial oxygen consumption and attenuates the decline in contractility seen in conscious dogs during rapid ventricular pacing | American Heart Association the 71st Scientific Sessions (Dallas) | 1998.11 |
| Asai K, Kudej RK, Takagi G, Shen YT, Smith A, Sato N, et al (Cardiovascular Pulmonary Research Institute, Allegheny University of the Health Sciences) | (一般講演)Peripheral vascular endothelial dysfunction and increased aortic stiffness in conscious older monkeys without associated cardiovascular disease | American Heart Association the 71st Scientific Sessions (Dallas) | 1998.11 |
| Takano H, Tang XL, Qiu Y, Banerjee S, Dawn B, Bolli R (Division of Cardiology, University of Louisville) | (一般講演)The tetrahydrobiopterin inhibitor N-acetylserotonin abrogates late preconditioning against myocardial stunning in conscious rabbits | American Heart Association the 71st Scientific Sessions (Dallas) | 1998.11 |
| Banerjee S, Tang XL, Qiu Y, Takano H, Manchikalapudi S, et al (Division of Cardiology, University of Louisville) | (一般講演)Nitroglycerine induces late preconditioning against myocardial stunning via a protein kinase C mediated pathway in conscious rabbits | American Heart Association the 71st Scientific Sessions (Dallas) | 1998.11 |

| 演者名 | 演題名 | 学会名 | 年月 |
|--|---|---|---------|
| Dawn B, Qiu Y, Tang XL, Takano H, Banerjee S, Bolli R (Division of Cardiology, University of Louisville) | (一般講演)The protective effects of late preconditioning are mediated by tyrosine kinase activity in conscious rabbits | American Heart Association the 71st Scientific Sessions (Dallas) | 1998.11 |
| Nagano T, Sato T ¹⁾ , Matsuda H, Kitamura A ²⁾ , Aramaki T ¹⁾ (Northwestern University, Masuika) | (一般講演)Getting mechanism of calcium permeable channels in guinea-pig hepatocytes | Biophysical Society 43rd Annual Meeting (Baltimore) | 1999.2 |
| Xuan YT, Tang XL, Qiu Y, Banerjee S, Takano H, et al (Division of Cardiology, University of Louisville) | (一般講演)Direct evidence that inducible nitric oxide synthase mediates the late phase of ischemic preconditioning in conscious rabbits | American Heart Association the 71st Scientific Sessions (Dallas) | 1998.11 |
| Kitamura A ¹⁾ , Nagano T, Matsuda H, Aramaki T, Sato R ²⁾ , Ogawa R ¹⁾ (¹⁾ Masuika, ²⁾ Northwestern University) | (一般講演)Nitric oxide-mediated apoptosis in hepatocytes is associated with stimulation of K ⁺ channels | Biophysical Society 43rd Annual Meeting (Baltimore) | 1999.2 |
| He Y, Tomita Y, Kusama Y, Munakata K, Kishida H, Hayakawa H | (一般講演)Genetic Determination of the Early Onset of Myocardial Infarction | XX Annual Meeting of the International Society for Heart Research, American Section (Ann Arbor) | 1999.3 |
| Shen YT, Kudej RK, Asai K, Nejima J, Lynch JJ, et al (Cardiovascular Pulmonary Research Institute, Allegheny University of the Health Sciences) | (一般講演)Effects of chronic rapid pacing on ischemic preconditioning in conscious dogs | XX Annual Meeting of the International Society for Heart Research, American Section (Ann Arbor) | 1999.3 |
| Yashima M, Karagueuzian H ¹⁾ , Peng sheng C ¹⁾ , Mandel WJ ¹⁾ , Katoh T, kishida H, Hayakawa H ¹⁾ (¹⁾ Cedars-Sinai Medical Center) | (一般講演)Mechanism of "Warmup" Spontaneous Ventricular Fibrillation | 第63回日本循環器学会学術集会 | 1999.3 |

| 演者名 | 演題名 | 学会名 | 年月 |
|--|--|---------------------------|--------|
| 小林義典, 井野威, 宮内靖史, 川口直美, 大村和子, 斎藤寛和, 新博次, 加藤貴雄, 岸田浩, 早川弘一 | (一般講演)高周波カテーテル・アブレーションの初期5年間の成績 | 第95回日本内科学会講演会 | 1998.4 |
| 斎藤勉, 葉梨亜矢, 塚田弥生, 草間芳樹, 岸田浩, 早川弘一 | (一般講演)冠動脈疾患における予後規定因子としてのMacrophage Colony Stimulating Factor(M-CSF) | 第95回日本内科学会講演会 | 1998.4 |
| 関山達也, 長戸孝道, 清水秀治, 古明地弘和, 長野具雄, 張雪君, 大須賀勝, 寺田秀人, 里村克章, 勝田悌美, 荒牧琢己 | (一般講演)慢性肝疾患患者における頭部MRI T1強調画像淡蒼球高信号の病態に関する検討 | 第95回日本内科学会講演会 | 1998.4 |
| 草間芳樹, 清宮康嗣, 本間博, 斎藤勉, 宗像一雄, 岸田浩, 早川弘一 | (一般講演)ドプタミン負荷心エコーによる冠動脈病変予測の問題点—偽陽性例の検討— | 第95回日本内科学会講演会 | 1998.4 |
| 加藤貴雄, 淀川顯司, 早川弘一, 金沢正樹 ¹⁾ , 清水滋 ¹⁾ (¹⁾ NEC) | (一般講演)新しいP波検出アルゴリズムを用いた変行伝導を伴う上室性期外収縮のコンピュータ診断 | 第95回日本内科学会講演会 | 1998.4 |
| 小野卓哉, 斎藤寛和, 岩崎雄樹, 小林義典, 本間博, 新博次, 加藤貴雄, 岸田浩, 早川弘一 | (一般講演)神経調節性失神の自律神経学的特色—薬理学的自律神経機能検査による検討— | 第95回日本内科学会講演会 | 1998.4 |
| 鈴木健, 山本剛, 宮本新次郎, 山中博之, 藤田信輔, 長澤統一(多摩永山病院内科) | (一般講演)多変量解析法による運動負荷心行動態指標と心筋梗塞予後の検討 | 第95回日本内科学会 | 1998.4 |
| 岡松健太郎 ¹⁾ , 高野雅充 ¹⁾ , 横山真也 ¹⁾ , 大野則彦 ²⁾ , 松本真 ³⁾ , 北村克弘 ³⁾ , 酒井俊太 ³⁾ , 佐野純子 ¹⁾ , 水野杏一 ¹⁾ , 早川弘一(¹⁾ 千葉北総病院内科, ²⁾ 防衛医科大学第一内科) | (一般講演)血管内エコー(IVUS)像, 心電図(ECG)および冠動脈内圧同時記録法によるCoronary Artery Distensibility(DIST)とプラークとの関係 | 第95回日本内科学会講演会 | 1998.4 |
| 畑典武, 国見聡宏, 松田裕之, 高野雅充, 他(国立横須賀病院循環器科) | (一般講演)ATP感受性K ⁺ チャンネルに係わる拮抗作用の有無についての検討 | 第95回日本内科学会講演会 | 1998.4 |
| 小谷英太郎, 関戸司久, 上村竜太, 酒井俊太 ¹⁾ , 高山守正, 吉田博史, 高久俊, 石井健輔, 桜井薫, 内田高浩, 星野公彦, 安武正弘, 富田喜文, 草間芳樹, 宗像一雄, 高野照夫(¹⁾ 千葉北総病院内科) | (一般講演)左前下行枝完全閉塞症例の近位部病変真腔確認にperfusion balloonが有用であった1例 | 第12回日本インターベンション学会関東甲信越地方会 | 1998.4 |

| 演者名 | 演題名 | 学会名 | 年月 |
|---|--|------------------------------|--------|
| 小谷英太郎 ¹⁾ , 関戸司久 ¹⁾ , 上村竜太 ¹⁾ , 酒井俊太 ²⁾ , 高山守正 ¹⁾ , 吉田博史, 高久 俊, 石井健輔, 桜井 薫, 内田高浩, 星野公彦, 安武正弘, 富田喜文, 草間芳樹, 宗像一雄, 高野照夫 ¹⁾ (¹⁾ 集中治療室, ²⁾ 千葉北総病院内科) | (一般講演)左前下行枝完全閉塞症例の近位部病変真腔確認にperfusion balloonが有用であった1例 | 第12回日本心血管インターベンション学会関東甲信越地方会 | 1998.4 |
| 横山真也 ¹⁾ , 水野杏一 ¹⁾ , 大國眞一 ¹⁾ , 酒井俊太 ¹⁾ , 多田裕美子 ¹⁾ , 大村和子 ¹⁾ , 松本 真 ¹⁾ , 岡松健太郎 ¹⁾ , 大野則彦 ¹⁾ , 三浦洋司 ¹⁾ , 小川晃生 ¹⁾ , 小原俊彦 ²⁾ , 今泉孝敬 ²⁾ , 田中啓治 ²⁾ (¹⁾ 千葉北総病院内科, ²⁾ 同集中治療部) | (一般講演)血管内視鏡ガイド下インターベンションが有用であった症例 | 第12回日本心血管インターベンション学会関東甲信越地方会 | 1998.4 |
| 川嶋修司, 高山守正, 石井健輔, 高木啓倫, 高久 俊, 吉田博史, 上村竜太, 桜井 薫, 小谷英太郎, 関戸司久, 内田高浩, 星野公彦, 安武正弘, 富田喜文, 草間芳樹, 宗像一雄, 岸田 浩, 木内 要, 子島 潤, 高野照夫 | (一般講演)左前下行枝近位部の多量閉塞血栓がIVUS操作により回旋枝起始部を亜閉塞したLupus Anticoagulant陽性の若年男性急性心筋梗塞の1例 | 第83回日本シネアンジオ研究会 | 1998.4 |
| 清水秀一, 緒方憲一, 大坂元久, 小林義典, 斎藤寛和, 伊藤高司 ¹⁾ , 新 博次, 早川弘一(¹⁾ 情報科学センター) | (一般講演)心房細動停止過程における細動波の空間的特性—心房電位間相互情報量による検討— | 第37回日本エム・イー学会大会 | 1998.5 |
| 緒方憲一, 野村敦宣, 清水秀一, 平山悦之, 小林義典, 斎藤寛和, 新 博次, 早川弘一 | (一般講演)T波Alternansの機序—心電図及び単相性活動電位波形の自動解析の可能性 | 第37回日本エム・イー学会大会 | 1998.5 |
| 太田眞夫, 藤田進彦, 田中古登子, 富田喜文, 橋本英洋, 高野照夫, 荒牧琢己, 大竹稔, 早川弘一 | (一般講演)インスリン抵抗性改善薬の有効例・無効例の差についての臨床的検討 | 第41回日本糖尿病学会年次学術集会 | 1998.5 |
| 酒井俊太, 子島 潤, 坪 宏一, 田寺 長, 中西一浩, 高山守正, 高野照夫, 李 武志 ¹⁾ | (一般講演)3年間経時的に経食道心エコー図法にて治癒経過を観察し得たB型大動脈解離の1例 | 第71回日本超音波医学会総会 | 1998.5 |
| 内田拓実, 本間 博, 松崎つや子 ¹⁾ , 佐藤淳子 ¹⁾ , 水瀬 学 ¹⁾ , 漆澤亜希 ¹⁾ , 伊藤恵子, 菅原博子, 岸田 浩, 早川弘一(¹⁾ 生理機能センター) | (一般講演)ドパミン負荷心エコー法に対するacoustic densitometry法の臨床的意義 | 日本超音波医学会第71回学術集会 | 1998.5 |
| 吉田博史, 川口直美, 富田喜文, 草間芳樹, 高山守正, 関山達也, 勝田佛実, 岸田 浩, 荒牧琢己 | (一般講演)抗リン脂質抗体症候群と急性心筋梗塞を合併したステロイド長期投与SLEの1例 | 第463回日本内科学会関東地方会 | 1998.5 |
| 村澤恒男, 森瀬景子, 網谷賢一, 東海林智子, 中村俊彦, 山口朋禎, 増田康文, 雪吹周生, 上田征夫, 原 文男(第二病院内科) | (一般講演)安定期維持透析患者の血液透析に伴う加算平均心電図の変動(統報);糖尿病群と非糖尿病群との比較 | 第43回日本透析医学会学術集会・総会 | 1998.5 |

| 演 者 名 | 演 題 名 | 学 会 名 | 年 月 |
|--|--|--------------------------|--------|
| 中村俊彦, 網谷賢一, 東海林智子, 山口朋禎, 増田康文, 村澤恒男, 上田征夫, 原文男(第二病院内科) | (一般講演)僧帽弁形成術後の溶血による急性腎不全に対し23日間連日の血液浄化療法を施行, 離脱し得た1例 | 第43回日本透析医学会学術集会・総会 | 1998.5 |
| 稲葉敦彦 ¹⁾ , 門松 豊 ¹⁾ , 村澤恒男 ²⁾ (¹⁾ 第二病院人工透析室, ²⁾ 同内科) | (一般講演)TFW15に対するアルブミン保持能力の基礎実験 | 第43回日本透析医学会学術集会・総会 | 1998.5 |
| 増田康文, 網谷賢一, 中村俊彦, 山口朋禎, 立石淳一, 村澤恒男, 上田征夫, 原文男, 他(第二病院内科) | (一般講演)慢性腎不全に合併した胃前庭部毛細血管拡張症(GAVE)に内視鏡的高周波凝固治療が有効であった1例 | 第43回日本透析医学会学術集会・総会 | 1998.5 |
| 村澤恒男, 森瀬景子, 網谷賢一, 東海林智子, 中村俊彦, 山口朋禎, 増田康文, 上田征夫, 原文男(第二病院内科) | (一般講演)維持透析患者の血液透析に伴う加算平均心電図の変動(統報)~遅延電位と除水率, 血液検査データとの関連 | 第41回日本腎臓学会学術総会 | 1998.5 |
| 大塚俊昭, 清宮康嗣, 説田浩一, 小川 剛(博慈会記念総合病院循環器内科) | (一般講演)交通事故による鈍的胸部外傷後, 狭心発作が憎悪した一例 | 第8回イーストカルジオカンファレンス | 1998.5 |
| 説田浩一, 大塚俊昭, 小川 剛, 他(博慈会記念総合病院第三内科) | (一般講演)無症候性に心筋逸脱酵素上昇が継続した一例 | 第8回イーストカルジオカンファレンス | 1998.8 |
| 柴田明佳 ¹⁾ , 鈴木純子 ¹⁾ , 田所久子 ¹⁾ , 佐藤知枝 ¹⁾ , 池野廣幸 ¹⁾ , 鈴木 健 ²⁾ (¹⁾ 多摩永山病院中央検査室, ²⁾ 同内科) | (一般講演)酵母様真菌鑑別倍知ATG生寒天地の有用性 | 第47回日本臨床衛生検査学会 | 1998.5 |
| 井上 淳 ¹⁾ , 千葉逸子 ¹⁾ , 菅野由紀 ¹⁾ , 藤木直美 ¹⁾ , 福田節子 ¹⁾ , 池野廣幸 ¹⁾ , 鈴木 健 ²⁾ (¹⁾ 多摩永山病院中央検査室, ²⁾ 同内科) | (一般講演)1gM性抗マウスr-グロブリン抗体の1例 | 第47回日本臨床衛生検査学会 | 1998.5 |
| 岩崎雄樹, 小野卓哉, 大坂元久, 佐々部典子, 小林義典, 本間 博, 斎藤寛和, 新博次, 加藤貴雄, 岸田 浩, 早川弘一 | (一般講演)誘因別にみた神経調節性失神発症頻度の日内変動 | 第18回ホルター心電図研究会 | 1998.6 |
| 池田真人, 小谷英太郎, 佐野純子, 小林義典, 斎藤寛和, 高山守正, 里村克章, 高野照夫, 岸田 浩, 早川弘一, 矢野明彦 ¹⁾ (¹⁾ 千葉大学寄生虫学教室) | (一般講演)心嚢液PCR法により診断されたToxoplasma pericarditisの1例 | 日本循環器学会関東甲信越地方会第168回学術集会 | 1998.6 |

| 演者名 | 演題名 | 学会名 | 年月 |
|---|---|----------------------------------|--------|
| 網谷賢一, 雪吹周生, 山口朋禎, 高橋直人, 櫛方美文, 村澤恒男, 原文男, 他(第二病院内科) | (一般講演)巨大Valsalva洞動脈瘤による冠動脈血流障害から無症候性心筋梗塞を発症した若年女性の1例 | 日本循環器学会 関東甲信越地方会 第168回学術集会 | 1998.6 |
| 和田健太郎, 上村竜太, 大久保直子, 関戸司久, 木内要, 子島潤, 高山守正, 高野照夫, 他(集中治療室) | (一般講演)心電図で広範囲心筋虚血所見を示した心原性ショックに陥ったValsalva洞動脈瘤破裂(Typellla)の1例 | 第168回日本循環器学会 関東甲信越地方会 | 1998.6 |
| 品田卓郎 ¹⁾ , 森田典成 ¹⁾ , 土田貴也 ¹⁾ , 吉田博史 ¹⁾ , 高山英男 ¹⁾ , 小原俊彦 ¹⁾ , 今泉孝敬 ¹⁾ , 田中啓治 ¹⁾ , 瀬尾継彦 ²⁾ , 酒井俊太 ²⁾ , 大國眞一 ²⁾ , 水野杏一 ²⁾ (¹⁾ 千葉北総病院集中治療部, ²⁾ 同内科) | (一般講演)PCPSとカテーテルインターベンションによって救命しえた右肺動脈主幹部完全閉塞の1例 | 第168回日本循環器学会 関東甲信越地方会 | 1998.6 |
| 大塚美穂 ¹⁾ , 酒井俊太 ¹⁾ , 石井新哉 ¹⁾ , 大野則彦 ¹⁾ , 松本真 ¹⁾ , 福岡祐美子 ¹⁾ , 大村和子 ¹⁾ , 大國眞一 ¹⁾ , 水野杏一 ¹⁾ , 今泉孝敬 ²⁾ , 田中啓治 ²⁾ (¹⁾ 千葉北総病院内科, ²⁾ 同集中治療部) | (一般講演)心不全を契機に診断された偽性特発性副甲状腺機能低下症の1例 | 第168回日本循環器学会 関東甲信越地方会 | 1998.6 |
| 土田貴也, 磯田麻里, 加藤いすず, 富田喜文, 本間博, 清野精彦, 岸田浩, 荒牧琢己, 小谷英太郎 ¹⁾ , 高野照夫 ¹⁾ (¹⁾ 集中治療室) | (一般講演)心エコー図法および心筋生検により診断された心サルコイドーシスの1例 | 第464回日本内科学会 関東地方会 | 1998.6 |
| 田辺浩子, 斉藤勉, 岸田浩, 早川弘一 | (一般講演)糖尿病におけるMicrovascular Lesionの発現とMacrophage Colony Stimulating Factor(M-CSF)の関係 | 第40回日本老年医学会 学術集会 | 1998.6 |
| 大場崇芳, 金應文, 佐伯和則, 長戸孝道, 丸山光紀(北村山公立病院内科) | (一般講演)巨大冠・肺動脈シャントの1例 | 日本内科学会 第155回東北地方会 | 1998.6 |
| 斉藤勉, 田辺浩子, 岸田浩, 早川弘一 | (一般講演)冠動脈疾患における予後規定因子としての流血中Macrophage Colony Stimulating Factor | 第40回日本老年医学会 学術集会 | 1998.6 |
| 小倉宏道 ¹⁾ , 小谷英太郎 ¹⁾ , 加藤貴雄, 高野照夫 ¹⁾ | (一般講演)完全房室ブロックを伴う高齢者急性下壁心筋梗塞症例の検討 | 第40回日本老年医学会 学術集会 | 1998.6 |
| 高山守正 ¹⁾ , 竹永清人, 草間芳樹, 本間博, 小倉宏道 ¹⁾ , 小谷英太郎 ¹⁾ , 上村竜太 ¹⁾ , 関戸司久 ¹⁾ , 内田高浩, 星野公彦, 安武正弘, 富田喜文, 宗像一雄(¹⁾ 集中治療室) | (一般講演)閉塞性肥大型心筋症に対し心筋コントラストエコーによる至適中隔枝を標的とする経皮的な中隔心筋焼灼術(PTSM)を施行した1例 | 第7回日本心臓血管インターベンション学会 学術集会 | 1998.6 |

| 演者名 | 演題名 | 学会名 | 年月 |
|---|---|-------------------------|--------|
| 関戸司久 ¹⁾ , 高山守正 ¹⁾ , 上村竜太 ¹⁾ , 桜井薫, 小谷英太郎 ¹⁾ , 内田高浩, 星野公彦, 安武正弘, 富田喜文, 草間芳樹, 宗像一雄, 高野照夫 ¹⁾ , 三木章伍 ²⁾ (¹⁾ 集中治療室, ²⁾ 鐘淵化学) | (一般講演)ステント後拡張バルン deflate時のバルンステント間発生摩擦力の検討 | 第7回日本心血管インターベンション学会学術集会 | 1998 |
| 上村竜太 ¹⁾ , 高山守正 ¹⁾ , 小谷英太郎 ¹⁾ , 桜井薫, 関戸司久 ¹⁾ , 内田高浩, 星野公彦, 安武正弘, 木内 要 ¹⁾ , 富田喜文, 子島 潤 ¹⁾ , 草間芳樹, 高野照夫 ¹⁾ (¹⁾ 集中治療室) | (一般講演)Pressure wireによる急性心筋梗塞の慢性期左室機能の改善を予測する冠血行因子の検討 | 第7回日本心血管インターベンション学会学術集会 | 1998.6 |
| 横山真也, 水野杏一, 大國眞一, 佐野純子, 酒井俊太, 多田裕美子, 松本 真, 大野則彦, 岡松健太郎, 小川晃生(千葉北総病院内科) | (一般講演)抗高脂血症薬投与によるトロロビポモジュリンの増加とその意義 | 第30回日本動脈硬化学会総会 | 1998.6 |
| 梶原景子 ¹⁾ , 佐藤雅史 ¹⁾ , 菊竹晴子 ¹⁾ , 菊池真理 ¹⁾ , 南部春江 ¹⁾ , 高間都支 ¹⁾ , 高橋雅之 ¹⁾ , 山本 彰 ¹⁾ , 雪吹周生 ²⁾ , 他(¹⁾ 第二病院放射線科, ²⁾ 同内科) | (一般講演)未破裂の左Valsalva洞動脈瘤の1例 | 第413回日本医学放射線学会関東地方会 | 1998.6 |
| 酒巻雅典, 安武正弘, 古明地弘和, 小林義典, 関山達也, 荒牧琢己 | (一般講演)自己免疫性肝炎のステロイド治療中に顕在化した特発性血小板減少性紫斑病の1例 | 第465回日本内科学会関東地方会 | 1998.7 |
| 岡松健太郎 ¹⁾ , 横山真也 ¹⁾ , 大野則彦 ¹⁾ , 松本真 ¹⁾ , 酒井俊太 ¹⁾ , 大國眞一 ¹⁾ , 今泉孝敬 ²⁾ , 水野杏一 ¹⁾ (¹⁾ 千葉北総病院内科, ²⁾ 同集中治療部) | (一般講演)経皮的冠動脈形成術(PTCA)後に認められたcoronary artery distensibility (DIST)の改善とその意義 | 第4回日本血管内治療学会 | 1998.7 |
| 本間 博, 草間芳樹, 大塚俊昭, 西垣龍太郎, 桜井 薫, 内田拓実, 宗像一雄, 岸田浩, 早川弘一 | (一般講演)ドプタミン負荷心エコー法とIntegrated Backscatter法との併用による心筋viability評価 | 第46回循環器負荷研究会 | 1998.8 |
| 西垣龍太郎 ¹⁾ , 横山宗伯 ¹⁾ , 内藤善哉 ¹⁾ , 山田宣孝 ¹⁾ , 浅野伍朗 ¹⁾ , 菅沼眞澄 ²⁾ , 七戸和博 ²⁾ , 荒牧琢己(¹⁾ 病理学教室, ²⁾ 実験動物管理室) | (一般講演)糖尿病性血管症の発生におけるNOSとAGEの役割 | 第39回日本脈管学会総会 | 1998.9 |
| 川俣博志 ¹⁾ , 隈崎達夫 ¹⁾ , 田島廣之 ¹⁾ , 林 宏光 ¹⁾ , 高橋修司 ¹⁾ , 市川和雄 ¹⁾ , 田島雄史 ¹⁾ , 落 雅美 ¹⁾ , 田中茂夫 ²⁾ , 高山守正, 高野照夫, 小川 龍 ³⁾ , 吉川公彦 ⁴⁾ , 打田日出夫 ⁵⁾ (¹⁾ 放射線科, ²⁾ 第二外科, ³⁾ 麻酔科, ⁴⁾ 奈良県立医科大学放射線科) | (一般講演)Penetrating Atherosclerotic Ulcerに起因する腹部大動脈瘤に対するstent-graft留置術 | 第39回日本脈管学会総会 | 1998.9 |
| 小林義典, 相澤瑞穂, 岩崎雄樹, 森田典成, 林 明聡, 宮内靖史, 斎藤寛和, 新 博次, 加藤貴雄, 早川弘一, 高野照夫 ¹⁾ (¹⁾ 集中治療室) | (一般講演)心筋梗塞急性期に出現する心房細動の発生背景因子と薬物治療 | 第6回不整脈薬物療法研究会 | 1998.9 |

| 演者名 | 演題名 | 学会名 | 年月 |
|--|--|----------------------|--------|
| 田中邦夫, 鈴木 健, 青木 聡, 山本 剛, 中込明裕, 小谷英太郎, 高野仁司, 国見聡宏, 内田高浩, 大場崇芳, 藤田進彦, 長澤絏一 (多摩永山病院内科) | (一般講演)心筋梗塞患者における非責任血管の重要性: Doppler flow wire法による検討 | 第39回日本脈管学会総会 | 1998.9 |
| 張 雪君, 清水秀治, 長野具雄, 古明地弘和, 大須賀勝, 寺田秀人, 関山達也, 里村克章, 勝田悌実, 荒牧琢己 | (一般講演)Portopulmonary hypertensionの自験例における血行動態的特徴 | 日本門脈圧亢進症食道静脈瘤学会第5回総会 | 1998.9 |
| 八島正明 | (一般講演)Mechanism of the probabilistic nature of ventricular defibrillation threshold | 第66回日本医科大学医学会総会 | 1998.9 |
| 平山悦之 | (一般講演)Effects of protein phosphatase and Kinase inhibitors on Ca ²⁺ and Cl ⁻ currents in guinea pig ventricular myocytes | 第66回日本医科大学医学会総会 | 1998.9 |
| 吉田太郎 ¹⁾ , 高濱克也 ¹⁾ , 林 宏光 ¹⁾ , 石原眞木子 ¹⁾ , 中原 円 ¹⁾ , 市川太郎 ¹⁾ , 隈崎達夫 ¹⁾ , 池田眞人, 竹永清人, 荒牧琢己, 他 ¹⁾ (放射線科) | (一般講演)肝特異性MRI造影剤(Feridex)による肝細胞腺腫の診断 | 第66回日本医科大学医学会総会 | 1998.9 |
| 秋元敏雄 ¹⁾ , 仲間一雄 ¹⁾ , 勝田悌実, 足立眞理 ²⁾ , 小林宣明 ²⁾ , 林 則秀 ²⁾ (¹⁾ 実験動物管理室, ²⁾ 第4学年学生) | (一般講演)二次性胆汁性肝硬変ラット作出に及ぼす飼料の影響 | 第66回日本医科大学医学会総会 | 1998.9 |
| 網谷賢一 ¹⁾ , 寺田秀人 ¹⁾ , 中村俊彦 ¹⁾ , 村澤恒男 ¹⁾ , 原 文男 ¹⁾ , 荒牧琢己(¹⁾ 第二病院内科) | (一般講演)胆石発作様の症状で発症した自己免疫性肝炎(混合型)の1例 | 第66回日本医科大学医学会総会 | 1998.9 |
| 櫛方美文, 山口朋禎, 高橋直人, 内田拓実, 寺田秀人, 村澤恒男, 上田征夫, 原 文男, 他(第二病院内科) | (一般講演)ステント挿入により著しい改善を見た大動脈症候群の1例 | 第66回日本医科大学医学会総会 | 1998.9 |
| 伊佐治剛, 村澤恒男, 森瀬景子, 網谷賢一, 東海林智子, 中村俊彦, 山口朋禎, 寺田秀人, 上田征夫, 原 文男(第二病院内科) | (一般講演)付属第二病院人工透析室開設以来の血液浄化療法導入患者の分析について | 第66回日本医科大学医学会総会 | 1998.9 |
| 宜保陽介, 内田拓実, 櫛方美文, 網谷賢一, 山口朋禎, 高橋直人, 寺田秀人, 村澤恒男, 上田征夫, 原 文男(第二病院内科) | (一般講演)X線CT上冠動脈の歩行に一致して著明な石灰化が認められた虚血性心疾患の2例 | 第66回日本医科大学医学会総会 | 1998.9 |

| 演者名 | 演題名 | 学会名 | 年月 |
|--|--|-----------------|--------|
| 津金香代子 ¹⁾ , 吉岡美香 ¹⁾ , 田中久美 ¹⁾ , 中島由美子 ¹⁾ , 菅原通 ¹⁾ , 新宅孝征 ¹⁾ , 原文男 ²⁾ (¹⁾ 第二病院中央検査室, ²⁾ 第二病院内科) | (一般講演)血小板凝集能解析法についての検討 | 第66回日本医科大学医学会総会 | 1998.9 |
| 板倉剛志 ¹⁾ , 鈴木憲康 ¹⁾ , 菅原通 ¹⁾ , 野本恵子 ¹⁾ , 新宅孝征 ¹⁾ , 原文男 ²⁾ (¹⁾ 第二病院中央検査室, ²⁾ 同内科) | (一般講演)当検査室のける結核菌郡DNA検出法 | 第66回日本医科大学医学会総会 | 1998.9 |
| 小伊藤保雄 ¹⁾ , 丹羽美和 ¹⁾ , 畑哲 ¹⁾ , 新宅孝征 ¹⁾ , 原文男 ²⁾ (¹⁾ 第二病院中央検査室, ²⁾ 同内科) | (一般講演)ドライシステムを採用した高感度EIA分析装置の有用性 | 第66回日本医科大学医学会総会 | 1998.9 |
| 井出尚子 ¹⁾ , 新岡明子 ¹⁾ , 大竹佳世子 ¹⁾ , 新宅孝征 ¹⁾ , 原文男 ²⁾ (¹⁾ 第二病院中央検査室, ²⁾ 同内科) | (一般講演)全自動便潜血免疫分析装置の1例 | 第66回日本医科大学医学会総会 | 1998.9 |
| 渡部紀子 ¹⁾ , 大竹佳世子 ¹⁾ , 荒井誠一 ¹⁾ , 鈴木久美 ¹⁾ , 越谷美由紀 ¹⁾ , 山賀節子 ¹⁾ , 西島美輝子 ¹⁾ , 新宅孝征 ¹⁾ , 原文男 ²⁾ (¹⁾ 第二病院中央検査室, ²⁾ 同内科) | (一般講演)糖尿病患者におけるパワースペクトル分析の有用性 | 第66回日本医科大学医学会総会 | 1998.9 |
| 鈴木憲康 ¹⁾ , 板倉剛志 ¹⁾ , 野本恵子 ¹⁾ , 菅原通 ¹⁾ , 新宅孝征 ¹⁾ , 原文男 ²⁾ (¹⁾ 第二病院中央検査室, ²⁾ 同内科) | (一般講演)当院における腸管出血性大腸菌O26(VT2産生)の検出事例 | 第66回日本医科大学医学会総会 | 1998.9 |
| 柴田明佳 ¹⁾ , 田所久子 ¹⁾ , 鈴木純子 ¹⁾ , 佐藤知枝 ¹⁾ , 池野廣幸 ¹⁾ , 鈴木健 ²⁾ (¹⁾ 多摩永山病院中央検査室, ²⁾ 同内科) | (一般講演)酵母様真菌分離鑑別培地の検討 | 第66回日本医科大学医学会総会 | 1998.9 |
| 佐藤綾子 ¹⁾ , 鈴木摩理 ¹⁾ , 手寫浩恵 ¹⁾ , 阿部純子 ¹⁾ , 佐藤寛之 ¹⁾ , 池野廣幸 ¹⁾ , 鈴木健 ²⁾ (¹⁾ 多摩永山病院中央検査室, ²⁾ 同内科) | (一般講演)ST上昇発作中20秒以上にわたる心停止による失神発作が出現, 全経過がHolter心電図に記録できた異形狭心症の1例 | 第66回日本医科大学医学会総会 | 1998.9 |
| 青砥素二, 野本剛史, 里村克章(中央検査室) | (一般講演)腸球菌の検出状況とバンコマイシン(VCM)に対する薬剤感受性の状況 | 第66回日本医科大学医学会総会 | 1998.9 |
| 前田良子, 前田泰二, 野本剛史, 里村克章(中央検査室) | (一般講演)臨床分離株のヘテロVRSA(バンコマイシン軽度耐性黄色ブドウ球菌)の検討 | 第66回日本医科大学医学会総会 | 1998.9 |

| 演者名 | 演題名 | 学会名 | 年月 |
|--|--|-----------------|--------|
| 中村祐二、野本剛史、里村克章(中央検査室) | (一般講演)IMI(immature leukocyte information)チャンネルを利用した末梢血幹細胞分析システムについて—第一報— | 第66回日本医科大学医学会総会 | 1998.9 |
| 山下純一、日ノ澤進一郎、山本信也、野本剛史、里村克章(中央検査室) | (一般講演)トリグリセライド高値検体におけるLDL-コレステロール直接測定法の有用性 | 第66回日本医科大学医学会総会 | 1998.9 |
| 日ノ澤進一郎 ¹⁾ 、野本剛史 ¹⁾ 、里村克章 ¹⁾ 、福生吉裕 ²⁾ (¹⁾ 中央検査室、 ²⁾ 第二内科) | (一般講演)HPLC法によるHbA1C測定時に発見された異常ヘモグロビンの一例 | 第66回日本医科大学医学会総会 | 1998.9 |
| 篠山明弘、青砥泰二、野本剛史、里村克章(中央検査室) | (一般講演)全自動細菌検査装置の比較検討について | 第66回日本医科大学医学会総会 | 1998.9 |
| 後藤明子、青砥泰二、野本剛史、里村克章(中央検査室) | (一般講演)当院における血液分離菌の最近の動向 | 第66回日本医科大学医学会総会 | 1998.9 |
| 間宮一夫、長谷川栄子、福田高久、野本剛史、里村克章(中央検査室) | (一般講演)血漿を検体に用いたヘパラスチンテストについて | 第66回日本医科大学医学会総会 | 1998.9 |
| 三橋 太、橋本政子、野本剛史、里村克章(中央検査室) | (一般講演)抗HIV抗体検出において非特異的反応を認めた一例 | 第66回日本医科大学医学会総会 | 1998.9 |
| 亀山澄子、植田貴子、高橋亜紀子、吉野早恵子、橋本政子、野本剛史、里村克章(中央検査室) | (一般講演)放射線照射MAP血中のカリウム値の変化 | 第66回日本医科大学医学会総会 | 1998.9 |
| 西垣龍太郎 ¹⁾ 、手塚 潔 ¹⁾ 、河本陽子 ¹⁾ 、西海けい子 ¹⁾ 、藤井雄文 ¹⁾ 、川原清子 ¹⁾ 、石渡俊行 ¹⁾ 、横山宗伯 ¹⁾ 、内藤善哉 ¹⁾ 、山田宣孝 ¹⁾ 、浅野伍朗 ¹⁾ 、菅沼真澄 ²⁾ 、七戸和博 ²⁾ 、荒牧琢己 ¹⁾ (¹⁾ 病理学第二、 ²⁾ 実験動物管理室) | (一般講演)高血糖に伴う血管病変発症におけるAGE、iNOS、NF- κ B発現の意義 | 第66回日本医科大学医学会総会 | 1998.9 |
| 関口由紀子 ¹⁾ 、菅谷寿理 ¹⁾ 、五十嵐亜希 ¹⁾ 、小松裕子 ¹⁾ 、石井玲子 ¹⁾ 、永瀬 学 ¹⁾ 、与那嶺弘子 ¹⁾ 、瀬川純子 ¹⁾ 、平野美子 ¹⁾ 、中村利枝 ¹⁾ 、野原秀明 ¹⁾ 、斎藤公一 ¹⁾ 、本間 博 ¹⁾ 、黒田 肇 ¹⁾ 、高橋 啓、及川恵子、富村正登、桜井 薫、福間長知、斎藤 勉、草間芳樹、岸田 浩、早川弘一(¹⁾ 生理機能センター) | (一般講演)高齢者のtreadmill運動負荷試験成績 | 第66回日本医科大学医学会総会 | 1998.9 |

| 演者名 | 演題名 | 学会名 | 年月 |
|--|--|------------------------------|--------|
| 佐藤淳子 ¹⁾ , 松崎つや子 ¹⁾ , 加藤政利 ¹⁾ , 五十嵐亜希 ¹⁾ , 斎藤公一 ¹⁾ , 本間博 ¹⁾ , 黒田肇 ¹⁾ , 大塚俊昭, 伊藤恵子, 菅原博子, 桜井薫, 内田拓実, 草間芳樹, 宗像一雄, 岸田浩, 早川弘一 ^(¹⁾生理機能センター) | (一般講演)心筋Integrated backscatter値の加齢および壁厚による影響 | 第66回日本医科大学医学学会総会 | 1998.9 |
| 菊池有紀子 ¹⁾ , 石井庸介 ¹⁾ , 上村竜太 ¹⁾ , 小谷英太郎 ¹⁾ , 川口直美 ¹⁾ , 小倉宏道 ¹⁾ , 関戸司久 ¹⁾ , 池崎弘之 ¹⁾ , 木内要 ¹⁾ , 子島潤 ¹⁾ , 高山守正 ¹⁾ , 高野照夫 ¹⁾ , 岩崎雄樹, 富田喜文, 岸田浩 ^(¹⁾集中治療室) | (一般講演)急性心筋梗塞を契機に発見された冠動脈左室瘻の1例 | 日本循環器学会 関東甲信越地方会第169回学術集会 | 1998.9 |
| 木村祐子, 岩崎雄樹, 星野公彦, 富田喜文, 斎藤寛和, 岸田浩, 早川弘一, 川口直美 ¹⁾ , 高山守正 ¹⁾ , 高野照夫 ^(¹⁾集中治療室) | (一般講演)急性のペースティング不全にステロイドパルス療法が奏功した心筋炎の1例 | 日本循環器学会 関東甲信越地方会第169回学術集会 | 1998.9 |
| 大野則彦 ¹⁾ , 松本真 ¹⁾ , 海老澤雅子 ¹⁾ , 相澤瑞穂 ¹⁾ , 張静 ¹⁾ , 稲見茂信 ¹⁾ , 岡松健太郎 ¹⁾ , 大村和子 ¹⁾ , 福岡祐美子 ¹⁾ , 酒井俊太 ¹⁾ , 大國真一 ¹⁾ , 水野杏一 ¹⁾ , 小野卓哉, 野村敦宣, 斎藤寛和, 新博次, 早川弘一 ^(¹⁾千葉北総病院内科) | (一般講演)ジノピラミドが有効であった排便時失神の1例 | 日本循環器学会 関東甲信越地方会第169回学術集会 | 1998.9 |
| 磯田麻里, 阿部純子, 壬生倉徹志, 藤田進彦, 山本剛, 青木聡, 中込明裕, 雪吹周生, 藤田信輔, 井野威, 鈴木健, 長澤絏一 ^(¹⁾多摩永山病院内科) | (一般講演)Holter心電図記録中の自然発作においてSA-blockによる失神を来し, CPRにて救命できた異形狭心症の1例 | 第169回日本循環器学会 関東甲信越地方会 | 1998.9 |
| 土田貴也 ¹⁾ , 吉田博史 ¹⁾ , 田邊潤 ¹⁾ , 池田真人 ¹⁾ , 高山英男 ¹⁾ , 小原俊彦 ¹⁾ , 野村敦宣 ¹⁾ , 今泉孝敏 ¹⁾ , 田中啓治 ¹⁾ , 大國真一 ¹⁾ , 水野杏一 ¹⁾ , 牧野俊郎 ¹⁾ , 小林一士 ¹⁾ ^(¹⁾千葉北総病院集中治療部, ²⁾同内科, ³⁾新東京国際空港クリニック) | (一般講演)ドイツからの機内で発症し, pulse infusion thrombolysis (PIT) が有効であった肺動脈血栓症 (traveller's thrombosis) の1例 | 第169回日本循環器学会 関東甲信越地方会 | 1998.9 |
| 三浦洋司, 高野雅充, 国見聡宏, 畑典武, 他(国立横須賀病院循環器科) | (一般講演)敗血症に急性心筋梗塞を併発し慢性期に冠動脈バイパスを誘発し得た若年女性の一例 | 日本循環器学会 関東甲信越地方会第169回学術集会 | 1998.9 |
| 高山守正, 関戸司久, 上村竜太, 小谷英太郎, 酒井俊太, 今泉孝敏, 木内要, 子島潤, 富田喜文, 草間芳樹, 高野照夫 | (一般講演)梗塞発症24時間以後のTIMI O病変への遅延期再灌流の至適時期はいつか? | 第46回日本心臓病学会学術集会 | 1998.9 |
| 斎藤勉, 田辺浩子, 高橋啓, 葉梨亜矢, 塚田弥生, 福岡長知, 草間芳樹, 岸田浩, 早川弘一 | (一般講演)冠動脈疾患における流血中 Macrophage Colony Stimulating Factor の臨床的意義 | 第46回日本心臓病学会学術集会 | 1998.9 |
| 福岡長知, 及川恵子, 松田裕之, 富村正登, 福岡祐美子, 佐野純子, 雪吹周夫, 斎藤勉, 宗像一雄, 岸田浩, 早川弘一 | (一般講演)心不全症例における圧受容体反射感受性障害が心室性期外収縮出現におよぼす影響 | 第46回日本心臓病学会学術集会 | 1998.9 |

| 演 者 名 | 演 題 名 | 学 会 名 | 年 月 |
|---|--|-----------------|--------|
| 高橋 啓, 齊藤 勉, 田辺浩子, 及川恵子, 富村正登, 福間祐美子, 佐野純子, 福間長知, 本間 博, 岸田 浩, 早川弘一 | (一般講演)高血圧性心疾患における心筋肥大様式とTransforming Growth Factor | 第46回日本心臓病学会学術集会 | 1998.9 |
| 小林利行, 齊藤 勉, 佐野純子, 岸田 浩, 早川弘一 | (一般講演)運動負荷におけるTransforming Growth Factor- β 1とLp(a) | 第46回日本心臓病学会学術集会 | 1998.9 |
| 及川恵子, 福間長知, 富村正登, 桜井 薫, 福間祐美子, 佐野純子, 齊藤 勉, 草間芳樹, 宗像一雄, 岸田 浩, 早川弘一 | (一般講演)運動負荷時の下肢易疲労性と圧受容体反射機能障害の関係 | 第46回日本心臓病学会学術集会 | 1998.9 |
| 上村竜太 ¹⁾ , 高山守正 ¹⁾ , 小谷英太郎 ¹⁾ , 関戸司久 ¹⁾ , 酒井俊太 ¹⁾ , 木内 要 ¹⁾ , 安武正弘, 富田喜文, 草間芳樹, 高野照夫 ¹⁾ (¹⁾ 集中治療室) | (一般講演)Pressure Wireによる冠血行動態の定量評価と虚血性心電図変化の検討 | 第46回日本心臓病学会学術集会 | 1998.9 |
| 徳山権一, 木内 要, 上村竜太, 小谷英太郎, 川口直美, 小倉宏道, 関戸司久, 子島潤, 高山守正, 高野照夫, 早川弘一 | (一般講演)急性肺血栓塞栓症における先天性血栓性素因と抗リン脂質抗体の役割 | 第46回日本心臓病学会学術集会 | 1998.9 |
| 上村竜太 ¹⁾ , 高山守正 ¹⁾ , 小谷英太郎 ¹⁾ , 関戸司久 ¹⁾ , 酒井俊太 ¹⁾ , 木内 要 ¹⁾ , 安武正弘, 富田喜文, 草間芳樹, 高野照夫 ¹⁾ | (一般講演)Pressure wireを用いた急性心筋梗塞の慢性期左室機能に影響を及ぼす治療(冠血行)因子の検討 | 第46回日本心臓病学会学術集会 | 1998.9 |
| 北山浩気 ¹⁾ , 遠藤康実, 木内 要, 遠藤孝雄, 新 博次, 早川弘一(¹⁾ 十善会県南病院内科) | (一般講演)抗精神薬はQTc dispersionも延長させるか | 第46回日本心臓病学会学術集会 | 1998.9 |
| 何 媛, 富田喜文, 内田高浩, 安武正弘, 草間芳樹, 宗像一雄, 岸田 浩, 早川弘一, 酒井俊太 ¹⁾ , 高山守正 ¹⁾ , 高野照夫 ¹⁾ (¹⁾ 集中治療室) | (一般講演)急性心筋梗塞に対するステント留置後再狭窄とACE遺伝子多型およびecNOS遺伝子多型との関連について | 第46回日本心臓病学会学術集会 | 1998.9 |
| 山中博之, 鈴木 健, 山本 剛, 中込明裕, 藤田信輔, 田中邦夫, 長澤紘一(多摩永山病院内科) | (一般講演)急性心筋梗塞における ¹²³ I-BMIPP/ ²⁰¹ Tl心筋dual SPECT集積乖離の臨床的意義:心拍変動による検討 | 第46回日本心臓病学会 | 1998.9 |
| 西山康裕 ¹⁾ , 小谷英太郎 ¹⁾ , 日高千鶴子 ¹⁾ , 池田真人 ¹⁾ , 鈴木世孝 ²⁾ , 小泉 潔 ²⁾ , 木内 要 ¹⁾ , 子島潤 ¹⁾ , 高山守正 ¹⁾ , 高野照夫 ¹⁾ (¹⁾ 集中治療室, ²⁾ 第2外科) | (一般講演)気胸手術後, 急性心筋梗塞および多彩な合併症を生じたEhlers-Danlos症候群の1例 | 第46回日本心臓病学会学術集会 | 1998.9 |

| 演者名 | 演題名 | 学会名 | 年月 |
|---|---|-------------------------------|--------|
| 張 静, 岡松健太郎, 稲見茂信, 大野則彦, 横山真也, 松本 真, 大村和子, 福間裕美子, 酒井俊太, 大國真一, 水野杏一(千葉北総病院内科) | (一般講演)急性心筋梗塞に対しステントは他のインターベンションに比べ効果があるか—血管内視鏡による血栓の観察 | 第46回日本心臓病学会学術集会 | 1998.9 |
| 里村公生 ¹⁾ , 磯田菊生 ¹⁾ , 山岸 正 ¹⁾ , 田原敬典 ¹⁾ , 西川健一郎 ¹⁾ , 荒川 宏 ¹⁾ , 渋谷利雄 ¹⁾ , 大鈴文孝 ²⁾ , 水野杏一 ²⁾ (¹⁾ 防衛医科大学第一内科, ²⁾ 千葉北総病院内科) | (一般講演)冠動脈軽～中等度狭窄病変ではどのような症例に血管内視鏡検査を行うか | 第46回日本心臓病学会学術集会 | 1998.9 |
| 今泉孝敬, 田中啓治, 土田貴也, 吉田博史, 高山英男, 石井健輔, 小原俊彦, 他(千葉北総病院集中治療部) | (一般講演)重篤な合併症を伴った急性大動脈解離に対する緊急カテーテルインターベンションの有用性 | 第46回日本心臓病学会学術集会 | 1998.9 |
| 田中啓治, 土田貴也, 吉田博史, 高山英男, 小原俊彦, 今泉孝敬(千葉北総病院集中治療部) | (一般講演)ACE阻害薬を服用中に急性増悪した慢性心不全患者の病態 | 第46回日本心臓病学会学術集会 | 1998.9 |
| 荒尾正人, 清水秀一, 小野卓哉, 桜井 薫, 宮武佳子(都立駒込病院循環器科) | (一般講演)造影なしで冠動脈病変の重症度がどこまで推定できるか? washout rateの標準偏差(ジビリダモール負荷心筋シンチグラム)を用いて | 第46回日本心臓病学会学術集会 | 1998.9 |
| 桜井 薫, 古明地弘和, 斉藤 勉, 大須賀勝, 関山達也, 里村克章, 勝田倭実, 荒牧琢己 | (一般講演)高齢者男性にみられた急性発症型肝炎の1例 | 第251回日本消化器病学会関東支部例会 | 1998.9 |
| 及川恵子, 福間長知, 田辺浩子, 高橋 啓, 富村正登, 福間祐美子, 佐野純子, 斉藤 勉, 草間芳樹, 宗像一雄, 岸田 浩, 早川弘一 | (一般講演)圧受容体反射機能障害を有する症例における運動負荷時易疲労性 | 第4回日本心臓リハビリテーション学会総会 | 1998.9 |
| 大野則彦 ¹⁾ , 相沢瑞穂 ¹⁾ , 張 静 ²⁾ , 稲見茂信 ¹⁾ , 岡松健太郎 ¹⁾ , 松本 真 ¹⁾ , 大村和子 ¹⁾ , 福間祐美子 ¹⁾ , 酒井俊太 ¹⁾ , 大國真一 ¹⁾ , 水野杏一 ¹⁾ , 田邊 潤 ²⁾ , 池田真人 ²⁾ , 高山英男 ²⁾ , 野村敦宣 ²⁾ , 今泉孝敬 ²⁾ , 田中啓治 ²⁾ (¹⁾ 千葉北総病院内科, ²⁾ 同集中治療部) | (一般講演)ステント留置後閉塞に対し, 血管内視鏡にてno reflowを確認し, 適切な治療を選択し得た一例 | 第13回日本心臓血管インターベンション学会関東甲信越地方会 | 1998.9 |
| 今泉孝敬, 高山英男, 小原俊彦, 田中啓治(千葉北総病院集中治療部) | (一般講演)急性大動脈解離に対する緊急カテーテルインターベンションの有用性 | 第12回千葉県重症患者管理研究会 | 1998.9 |

| 演 者 名 | 演 題 名 | 学 会 名 | 年 月 |
|---|---|----------------|---------|
| 隅田香織 ¹⁾ 、橋本政子 ¹⁾ 、野本剛史 ¹⁾ 、里村克章 ¹⁾ 、米山芳雄 ²⁾ (¹⁾ 中央検査室、 ²⁾ 産婦人科) | (一般講演)日立7150形自動分析装置を用いたランピアラテックスRUBELLA、ランピアラテックスTOXOの検討 | 第30回日本臨床自動化学会 | 1998.9 |
| 園部一成、田尾清一、萩原直久、野本剛史、里村克章(中央検査室) | (一般講演)便潜血検査における機器・試薬性能と精度の向上について | 第30回日本臨床自動化学会 | 1998.9 |
| 関山達也、長戸孝道、清水秀治、古明地弘和、長野具雄、張 雪君、尹 明実、大須賀勝、寺田秀人、里村克章、勝田悌実、荒牧琢己 | (一般講演)慢性肝疾患患者における頭部MRI M ₁ 強調画像淡蒼球高信号の病態 | 第6回肝病態生理研究会 | 1998.10 |
| 福本裕子、清野精彦、富田喜文、長江安洋、草間芳樹、岸田 浩、早川弘一、杉崎祐一 ¹⁾ 、浅野伍朗 ¹⁾ (¹⁾ 病理学) | (一般講演)自然発症高血圧ラット Adriamycin心筋症、腎症におけるapoptosisの発現とACE阻害剤の心腎保護効果に関する検討 | 第36回日本癌治療学会総会 | 1998.10 |
| 林 明聡、小林義典、森田典成、岩崎雄樹、宮内靖史、川口直美、大村和子、平山悦之、斎藤寛和、新 博次、加藤貴雄、岸田 浩、早川弘一 | (一般講演)房室結節エントリー性頻拍アブレーションにおける三尖弁輪—冠静脈洞間線状焼灼と電位ガイド下点状焼灼との急性効果の比較 | 第15回日本心電学会学術集会 | 1998.10 |
| 豊田隆志、小原俊彦、亀山幹彦、呉 小怡、宮内靖史、大村和子、小林義典、本間 博、斎藤寛和、新 博次、加藤貴雄、早川弘一 | (一般講演)僧帽弁逸脱症における臨床症状出現機序に関する非侵襲的検討 | 第15回日本心電学会学術集会 | 1998.10 |
| 高山英男 ¹⁾ 、小原俊彦 ¹⁾ 、呉 小怡、加藤貴雄、早川弘一(¹⁾ 千葉北総病院集中治療部) | (一般講演)心室性期外収縮発生直前におけるQRS波内高周波微小成分の一過性変化の検出 | 第15回日本心電学会学術集会 | 1998.10 |
| 緒方憲一、野村敦宣、清水秀一、平山悦之、小林義典、斎藤寛和、新 博次、加藤貴雄、早川弘一 | (一般講演)Microscopic T wave alternansとmonophasic action potential alternansの関連 | 第15回日本心電学会学術集会 | 1998.10 |
| 呉 小怡、Sutovsky I、加藤貴雄、早川弘一 | (一般講演)高分解能心電図を用いたピルジカイニドの薬効薬理の検討 | 第15回日本心電学会学術集会 | 1998.10 |

| 演 者 名 | 演 題 名 | 学 会 名 | 年 月 |
|--|---|----------------|---------|
| 淀川顕司, 加藤貴雄, 早川弘一, 金澤正樹 ¹⁾ , 清水 滋 ²⁾ (¹⁾ NEC) | (一般講演)心電図自動解析における上室性期外収縮の診断精度の向上 | 第15回日本心電学会学術集会 | 1998.10 |
| 森田典成, 新 博次, 金 桂淑, 林 明聡, 宮内靖史, 遠藤康実, 小林義典, 斎藤寛和, 岸田 浩, 早川弘一 | (一般講演)12誘導心電図における期外刺激によるQT dispersionの影響 | 第15回日本心電学会学術集会 | 1998.10 |
| 岩崎雄樹, 小野卓哉, 小林義典, 本間 博, 斎藤寛和, 新 博次, 加藤貴雄, 岸田 浩, 早川弘一 | (一般講演)アルコール負荷head up tilt testの有用性 | 第15回日本心電学会学術集会 | 1998.10 |
| 小野卓哉, 斎藤寛和, 岩崎雄樹, 大野則彦, 野村敦宣, 小林義典, 本間 博, 新 博次, 加藤貴雄, 早川弘一 | (一般講演)神経調節性失神における薬理的自律神経負荷試験法の意義 | 第15回日本心電学会学術集会 | 1998.10 |
| 小川晃生, 小原俊彦, 吳 小怡, 小林義典, 本間 博, 斎藤寛和, 新 博次, 加藤貴雄, 早川弘一 | (一般講演)非虚血性心筋疾患における致死性心室性不整脈の予測因子の非侵襲的検討 | 第15回日本心電学会学術集会 | 1998.10 |
| 清水秀一, 緒方憲一, 大坂元久, 小林義典, 斎藤寛和, 伊藤高司 ¹⁾ , 新 博次, 加藤貴雄, 早川弘一(¹⁾ 情報科学センター) | (一般講演)心房細動停止過程における細動波の空間的特性の変化—心房電位間相互情報量による検討— | 第15回日本心電学会学術集会 | 1998.10 |
| 小倉宏道 ¹⁾ , 淀川顕司 ²⁾ , 相澤瑞穂 ³⁾ , 川口直美 ⁴⁾ , 木内 要 ⁵⁾ , 子島 潤 ⁶⁾ , 高山守正 ⁷⁾ , 高野照夫 ⁸⁾ , 加藤貴雄, 早川弘一(¹⁾ 集中治療室) | (一般講演)心房梗塞による心電図P波の形態変化—右冠動脈近位部完全閉塞例における検討 | 第15回日本心電学会学術集会 | 1998.10 |
| 大村和子 ¹⁾ , 小林義典, 森田典成, 林 明聡, 小林利行, 川口直美, 宮内靖史, 平山悦之, 斎藤寛和, 新 博次, 加藤貴雄, 早川弘一(¹⁾ 千葉北総病院内科) | (一般講演)心房細動における群抗不整脈薬による心房局所電位の変化—特に粗動化の機序について— | 第15回日本心電学会学術集会 | 1998.10 |
| 高山英男 ¹⁾ , 田中啓治 ²⁾ , 田中 隆 ³⁾ , 小原俊彦 ⁴⁾ , 今泉孝敬 ⁵⁾ , 子島 潤 ⁶⁾ , 高野照夫 ⁷⁾ , 加藤貴雄(¹⁾ 千葉北総病院集中治療部, ²⁾ 付属病院集中治療室) | (一般講演)カルウムチャンネル遮断薬MS-551が心筋梗塞急性期の循環動態に及ぼす影響 | 第15回日本心電学会学術集会 | 1998.10 |

| 演 者 名 | 演 題 名 | 学 会 名 | 年 月 |
|--|---|------------------------------|---------|
| 加藤いすず, 斉藤 勉, 平山悦之, 関山達也, 高山守正, 岸田 浩, 荒牧琢己, 榎本達治 ¹⁾ , 工藤翔二 ¹⁾ (¹⁾ 第四内科) | (一般講演)Aprindine投与中に無顆粒球症の発症と間質性肺炎の憎悪をきたした1例 | 第467回日本内科学会関東地方会 | 1998.10 |
| 小谷英太郎 ¹⁾ , 高山守正 ¹⁾ , 田畑美弥子, 川俣博志 ²⁾ , 高橋保裕 ³⁾ , 鈴木則仁 ¹⁾ , 上村竜太 ¹⁾ , 関戸司久 ¹⁾ , 木内 要 ¹⁾ , 斉藤 勉, 子島 潤 ¹⁾ , 隈崎達夫 ²⁾ , 高野照夫 ¹⁾ , 宮武佳子 ³⁾ (¹⁾ 集中治療室, ²⁾ 放射線科, ³⁾ 都立駒込病院循環器科) | (一般講演)右室転移肝癌による切迫流出路閉塞に対し栄養血管である右冠動脈右室枝へのChemoembolizationにより治療した1例 | 第13回日本心血管インターベンション学会関東甲信越地方会 | 1998.10 |
| 大野則彦, 岩崎雄樹, 松本 真, 緒方憲一, 野村敦宣, 大坂元久, 小林義典, 斎藤寛和, 新 博次, 加藤貴雄, 岸田 浩, 早川弘一 | (一般講演)T波の時間的変動—T波オルタナンスとQT variability indexの比較— | 第15回時間循環器研究会 | 1998.10 |
| 緒方憲一, 野村敦宣, 清水秀一, 大坂元久, 平山悦之, 小林義典, 斎藤寛和, 新 博次, 加藤貴雄, 早川弘一 | (一般講演)心電図波形および単相性活動電位波形におけるMicroscopic electrical alternans自動解析の可能性 | 第14回心電図信号情報処理ワークショップ | 1998.10 |
| 大坂元久, 山家智之, 斎藤寛和, 吉澤 誠, 新 博次, 伊藤高司, 加藤貴雄, 仁田新一, 岸田 浩, 早川弘一 | (一般講演)心拍・血圧・腎交感神経活動の相互関係の定量化:非線形手法を用いて | 第14回心電図信号情報処理ワークショップ | 1998.10 |
| 松崎つや子 ¹⁾ , 本間 博 ¹⁾ , 佐藤淳子 ¹⁾ , 水瀬学 ¹⁾ , 五十嵐亜希 ¹⁾ , 加藤政利 ¹⁾ , 中村利枝 ¹⁾ , 斎藤公一 ¹⁾ , 黒田 肇 ¹⁾ , 土田貴也, 富田喜文, 清野精彦, 岸田 浩, 荒牧琢己, 高野照夫(¹⁾ 生理機能センター) | (一般講演)Integrated backscatter法により治療効果が示されたサルコイドーシスの1例 | 日本超音波医学会関東甲信越地方会第10回学術集会 | 1998.10 |
| 野尻陽子 ¹⁾ , 木村陽一 ¹⁾ , 加藤篤衛 ¹⁾ , 三浦祐理子 ¹⁾ , 伊藤文行 ¹⁾ , 榎方美文, 原文男 ²⁾ , 他(¹⁾ 第二病院皮膚科, ²⁾ 同内科) | (一般講演)上大静脈症候群(SVCS)の1例 | 日本皮膚科学会第741回東京地方会 | 1998.10 |
| 山本 彰 ¹⁾ , 梶原景子 ¹⁾ , 高間都支 ¹⁾ , 左藤雅史 ¹⁾ , 原文男 ²⁾ , 他(¹⁾ 第二病院放射線科, ²⁾ 同内科) | (一般講演)心筋虚血を伴った左バルサルバ洞動脈瘤の1例 | 第3回神奈川SPECT研究会 | 1998.10 |
| 高山英男, 小原俊彦, 今泉孝敬, 田中啓治(千葉北総病院集中治療部) | (一般講演)慢性不全急性増悪期の血中ANP濃度とBNP濃度の関係~サブセットを用いた検討~ | 第35回日本臨床生理学会総会 | 1998.10 |

| 演者名 | 演題名 | 学会名 | 年月 |
|---|--|------------------|---------|
| 高野雅充、畑典武、豊田隆志、三浦洋司、国見聡宏(国立横須賀病院循環器科) | (一般講演)冠動脈瘤を伴う安定労作狭心症の一例 | 第53回国立病院療養所総合医学会 | 1998.10 |
| 張雪君、清水秀治、古明地弘和、長野具雄、大須賀勝、寺田秀人、関山達也、里村克章、勝田悌実、荒牧琢己、秋元敏雄 ⁽¹⁾ (実験動物管理室) | (一般講演)二次性胆汁性肝硬変ラットにおける動脈血酸素化に果たす一酸化窒素の役割 | 第2回日本肝臓学会大会 | 1998.10 |
| 小野卓哉、斎藤寛和、加藤いすず、岩崎雄樹、緒方憲一、本間博、新博次、加藤貴雄、早川弘一 | (一般講演)神経調節性失神の誘因—姿勢変化が姿勢保持か?— | 第51回日本自律神経学会総会 | 1998.11 |
| 加藤いすず、小野卓哉、斎藤寛和、岩崎雄樹、大野則彦、本間博、新博次、加藤貴雄、早川弘一 | (一般講演)神経調節性失神に対する薬物療法の指針—薬理学的自律神経負荷試験を用いて— | 第51回日本自律神経学会総会 | 1998.11 |
| 大野則彦 ⁽¹⁾ 、水野杏一 ⁽¹⁾ 、斎藤寛和、松本真 ⁽¹⁾ 、小野卓哉、新博次、大村和子 ⁽¹⁾ 、野村敦宣、早川弘一 ⁽¹⁾ (千葉北総病院内科) | (一般講演)排便時失神の機序の検討 | 第51回日本自律神経学会総会 | 1998.11 |
| 森田典成、小林義典、岩崎雄樹、林明聡、宮内靖史、八島正明、平山悦之、斎藤寛和、新博次、加藤貴雄、岸田浩、早川弘一、宮本新次郎 ⁽¹⁾ 、田寺長 ⁽¹⁾ 、遠藤康実 ⁽¹⁾ 、井野威 ⁽¹⁾ (多摩永山病院内科) | (一般講演)通常型心房粗動に対するカテーテルアブレーション | 日本医科大学医学会第96回例会 | 1998.11 |
| 田畑美弥子、古明地弘和、斎藤勉、関山達也、荒牧琢己、小谷英太郎 ⁽¹⁾ 、高山守正 ⁽¹⁾ 、川俣博志 ⁽¹⁾ (集中治療室、 ⁽²⁾ 放射線科) | (一般講演)右心室転移巣にChemoembolizationが奏功した肝細胞癌の1例 | 第468回日本内科学会関東地方会 | 1998.11 |
| 壬生倉徹志、雪吹周生、藤田信輔、山本剛、宮本新次郎、青木聡、山中博之、中込明裕、井野威、鈴木健、長澤絃一(多摩永山病院内科) | (一般講演)冠攣縮性狭心症における運動負荷時ST変化の特徴 | 日本医科大学医学会第96回例会 | 1998.11 |
| 小谷英太郎、高山守正、上村竜太、関戸司久、酒井俊太、安武正弘、木内要、今泉孝敬、子島潤、富田喜文、草間芳樹、高野照夫 | (一般講演)急性心筋梗塞STENT治療における血栓溶解薬先行投与の再狭窄抑制効果 | 第12回日本冠疾患学会学術大会 | 1998.11 |

| 演者名 | 演題名 | 学会名 | 年月 |
|---|---|--------------------|---------|
| 上村竜太, 高山守正, 小谷英太郎, 桜井薫, 関戸司久, 酒井俊太, 内田高浩, 星野公彦, 安武正弘, 木内 要, 富田喜文, 子島潤, 草間芳樹, 高野照夫 | (一般講演)Pressure wireによる急性心筋梗塞の慢性期左室機能に影響を及ぼす冠血行因子の検討 | 第12回日本冠疾患学会学術大会 | 1998.11 |
| 野村敦宣 ¹⁾ , 小原俊彦 ²⁾ , 田中啓治 ³⁾ , 田中隆 ⁴⁾ , 高山英男 ⁵⁾ , 今泉孝敬 ⁶⁾ , 高野照夫 ⁷⁾ , 加藤貴雄 ⁸⁾ (¹⁾ 千葉北総病院集中治療部, ²⁾ 付属病院集中治療室) | (一般講演)急性心筋梗塞に伴う虚血性不整脈に対するカリウムチャンネル遮断薬MS-551の有用性 | 第12回日本冠疾患学会学術大会 | 1998.11 |
| 岡松健太郎 ¹⁾ , 稲見茂信 ²⁾ , 大野則彦 ³⁾ , 松本真 ⁴⁾ , 大村和子 ⁵⁾ , 福間祐美子 ⁶⁾ , 酒井俊太 ⁷⁾ , 大國眞一 ⁸⁾ , 今泉孝敬 ⁹⁾ , 水野杏一 ¹⁰⁾ (¹⁾ 千葉北総病院内科, ²⁾ 同集中治療部) | (一般講演)Acute coronary syndrome (ACS)におけるcoronary artery distensibility (DIST)の検討 | 第12回日本冠疾患学会 | 1998.11 |
| 稲見茂信, 相澤瑞穂, 張 静, 岡松健太郎, 大野則彦, 松本 真, 大村和子, 福間祐美子, 酒井俊太, 大國眞一, 水野杏一(千葉北総病院内科) | (一般講演)心筋梗塞に対する各インターベンション1ヶ月後の血管内視鏡による観察 | 第12回日本冠疾患学会 | 1998.11 |
| 小谷英太郎, 高山守正, 田畑美弥子, 本間博, 松崎つや子, 上村竜太, 関戸司久, 木内要, 高野照夫, 荒牧琢己 | (一般講演)心エコーにて発見された転移性右室腫瘍による切迫流出路閉塞に対し, 右冠動脈右室枝へのChemoembolizationが有効であった1例 | 第10回心臓超音波研究会 | 1998.11 |
| 本間 博, 草間芳樹, 大塚俊昭, 桜井 薫, 内田拓実, 清野精彦, 宗像一雄, 岸田 浩, 早川弘一, 平岡美紀 ¹⁾ , 大原國俊 ²⁾ , 高橋卓夫 ³⁾ , 工藤翔二 ⁴⁾ (¹⁾ 眼科, ²⁾ 第四内科) | (一般講演)心筋integrated backscatterによる心サルコイドーシス検出の試み | 第18回日本サルコイドーシス学会総会 | 1998.11 |
| 小倉宏道 ¹⁾ , 阿部純子, 相澤瑞穂, 淀川頼司, 岩崎雄樹, 森田典成, 林 明聡, 大野則彦, 高山英男, 小野卓哉, 田中古登子, 松本真, 川口直美 ²⁾ , 宮内靖史, 八島正明, 平山悦之, 小林義典, 斎藤寛和, 新 博次, 加藤貴雄, 早川弘一(¹⁾ 集中治療室) | (一般講演)Pilsicainide投与後, 右脚ブロック, 右側胸部誘導のST上昇をきたした1例 | 第15回東京不整脈フォーラム | 1998.11 |
| 尹 明実, 里村克章, 張 雪君, 古明地弘和, 大須賀勝, 関山達也, 勝田佛実, 荒牧琢己 | (一般講演)肝疾患患者におけるSSM(丸山ワクチン)によるIFN- γ の産生について | 第19回日本臨床薬理学会 | 1998.11 |
| 小野卓哉, 斎藤寛和, 岩崎雄樹, 加藤いすず, 大野則彦, 本間 博, 新 博次, 加藤貴雄, 岸田 浩, 早川弘一 | (一般講演)ムスカリンM ₂ 受容体遮断剤の神経調節性失神に対する有効性 | 第19回日本臨床薬理学会 | 1998.11 |

| 演者名 | 演題名 | 学会名 | 年月 |
|--|---|---------------------|---------|
| 緒方憲一, 岩崎雄樹, 小野卓哉, 松本 真, 小林義典, 斎藤寛和, 新 博次, 加藤貴雄, 岸田 浩, 早川弘一 | (一般講演)抗不整脈薬の徐脈性催不整脈作用—発現症例の臨床的検討から— | 第19回日本臨床薬理学会 | 1998.11 |
| 相澤瑞徳, 岩崎雄樹, 新 博次, 森田典成, 林 明聡, 小林義典, 斎藤寛和, 早川弘一 | (一般講演)日本医科大学付属病院における β 遮断薬使用実態調査 | 第19回日本臨床薬理学会 | 1998.11 |
| 張 静, 水野杏一, 稲見茂信, 岡松健太郎, 大野則彦, 横山真也, 松本 真, 大村和子, 酒井俊太, 福間祐美子, 大國眞一(千葉北総病院内科) | (一般講演)抗高脂血症剤による接着因子の変化 | 第19回日本臨床薬理学会 | 1998.11 |
| 相澤瑞徳, 小川晃生, 岩崎雄樹, 森田典成, 林 明聡, 小林義典, 新 博次, 早川弘一 | (一般講演) β 遮断薬の使用実態(日本医科大学付属病院における調査) | 第4回日本薬剤疫学会学術総会 | 1998.11 |
| 鈴木摩理 ¹⁾ , 手寫浩恵 ¹⁾ , 久保田稔 ¹⁾ , 佐藤綾子 ¹⁾ , 佐藤寛之 ¹⁾ , 池野廣幸 ¹⁾ , 鈴木 健 ²⁾ (¹⁾ 多摩永山病院中央検査室, ²⁾ 同内科) | (一般講演)心房細動例に対するパルスジェネレーター組込み型ホルター心電計の有用性 | 第14回循環器情報処理研究会 | 1998.11 |
| 谷口宏史, 清水秀治, 古明地弘和, 福間長知, 関山達也, 大須賀勝, 里村克章, 勝田悌実, 荒牧琢己, 内藤善哉 ¹⁾ (¹⁾ 第二病理) | (一般講演)多核巨細胞を伴った自己免疫性肝炎の1剖検例 | 第252回日本消化器病学会関東支部例会 | 1998.12 |
| Igor Sutovsky, 吳 小怡, 加藤貴雄, 早川弘一 | (一般講演)高分解能心電図を用いたNcr+拮抗剤の薬効の検討 | 第9回日本医科大学外国人留学生者研究会 | 1998.11 |
| 吳 小怡, Igor Sutovsky, 加藤貴雄, 早川弘一 | (一般講演)高分解能心電図を用いたピルジカイニドの薬効薬理の検討 | 第9回日本医科大学外国人留学生者研究会 | 1998.11 |
| 尹 明実, 里村克章, 荒牧琢己 | (一般講演)B型慢性肝炎におけるPre-C変異とCore-Promoter変異 | 第9回日本医科大学外国人留学生者研究会 | 1998.11 |

| 演者名 | 演題名 | 学会名 | 年月 |
|---|---|---------------------------|---------|
| 張 静、水野杏一、稲見茂信、岡松健太郎、大野則彦、横山真也、松本 真、大村和子、酒井俊太、福間祐美子、水野杏一(千葉北総病院内科) | (一般講演)抗高脂血症剤による接着因子の変化 | 第9回日本医科大学外国人留学者研究会 | 1998.11 |
| 柴田泰史 ¹⁾ 、野本剛史 ¹⁾ 、里村克章 ¹⁾ 、久志本茂樹 ²⁾ 、池田幸穂 ²⁾ 、山本保博 ²⁾ (¹⁾ 中央検査室、 ²⁾ 救急医学) | (一般講演)頭部外傷急性期におけるフィブリノゲン分解産物およびフィブリン分解産物の分析測定による線溶動態の検討 | 第26回日本救急医学会総会 | 1998.11 |
| 張 雪君、大須賀勝、勝田悌実、荒牧琢己、秋元敏雄(実験動物管理室) | (一般講演)二次性胆汁性肝硬変ラットにおける動脈酸化に果たす一酸化窒素の役割 | 第9回日本医科大学外国人留学者研究会 | 1998.11 |
| 岩崎雄樹、宮内靖史、福間長知、小林義典、本間 博、斎藤寛和、加藤貴雄、宗像一雄、岸田 浩、早川弘一、田中茂夫 ¹⁾ (¹⁾ 第二外科) | (一般講演)植え込み型ホルター心電図が原因不明失神の診断に有用であった1例 | 日本循環器学会 関東甲信越地方会第170回学術集会 | 1998.12 |
| 田邊 潤 ¹⁾ 、今泉孝敬 ¹⁾ 、野村敦宣 ¹⁾ 、高山英男 ¹⁾ 、松田裕之 ¹⁾ 、高橋保裕 ¹⁾ 、愛須紀子 ¹⁾ 、清宮康嗣 ¹⁾ 、田中啓治 ²⁾ 、酒井俊太 ²⁾ 、水野杏一 ²⁾ 、他(¹⁾ 千葉北総病院集中治療部、 ²⁾ 内科) | (一般講演)開頭術中に左内胸グラフト(LITAG)の閉塞を起こし、血管内エコーと内視鏡にて確認しつつ緊急ステント留置術を行った、稀な発症機序を有すると思われたAMIの1例 | 第170回日本循環器学会関東甲信越地方会 | 1998.12 |
| 吉田博史、田中啓治、野村敦宣、高山英男、今泉孝敬、他(千葉北総病院集中治療部) | (一般講演)ハワイで発症しチャーター機で帰国、新東京国際空港と病院間をヘリ移送し緊急ステント留置術を行った急性心筋梗塞の1例 | 第7回日本集中治療医学会関東甲信越地方会 | 1998.12 |
| 加藤浩司 ¹⁾ 、高山守正 ¹⁾ 、石井健輔 ¹⁾ 、高橋保裕 ¹⁾ 、関戸司久 ¹⁾ 、小谷英太郎 ¹⁾ 、上村竜太 ¹⁾ 、木内 要 ¹⁾ 、草間芳樹、岸田 浩、高野照夫 ¹⁾ 、油谷浩幸 ²⁾ (¹⁾ 集中治療室、 ²⁾ 東京大学第三内科) | (一般講演)急性冠症候群の原因として推測されているいわゆるEmpty lipid pool像の自然経過を観察できた1例 | 日本循環器学会 関東甲信越地方会第170回学術集会 | 1998.12 |
| 大野則彦、斎藤寛和、岩崎雄樹、松本 真、緒方憲一、野村敦宣、小林義典、新 博次、加藤貴雄、岸田 浩、早川弘一 | (一般講演)低心機能例におけるT波の時間的変動—T波alternansとQT variability indexの比較— | 第5回心不全と不整脈フォーラム | 1998.12 |
| 山科育子、佐野純子、小林義典、関山達也、勝田悌実、荒牧琢己、川口信子 ¹⁾ 、矢野明彦 ²⁾ (¹⁾ 飯田クリニック、 ²⁾ 千葉大学寄生虫学教室) | (一般講演)大量胸水貯留を伴って発症したトキソプラズマ胸膜炎の1例 | 第469回日本内科学会関東地方会 | 1998.12 |

| 演 者 名 | 演 題 名 | 学 会 名 | 年 月 |
|--|---|-------------------|---------|
| 高橋保裕, 高山守正, 関戸司久, 小谷英太郎, 上村竜太, 木内 要, 高野照夫, 徳山権一, 石井健輔, 高木啓倫, 藤田進彦, 笠神康平, 桜井 薫, 内田高浩, 安武正弘, 富田喜文, 草間芳樹, 宗像一雄, 岸田 浩 | (一般講演)冠動脈造影にて観察されるempty lipid pool像の画像上の特徴と臨床背景 | 第6回心血管内イメージング研究会 | 1998.12 |
| 上村竜太 ¹⁾ , 高山守正 ¹⁾ , 桜井 薫, 小谷英太郎 ¹⁾ , 関戸司久 ¹⁾ , 酒井俊太, 内田高浩, 安武正弘, 木内 要 ¹⁾ , 草間芳樹, 高野照夫 ¹⁾ (¹⁾ 集中治療室) | (一般講演)AMI急性期インターベンションにおけるPressure wireの役割 | 第6回心血管内イメージング研究会 | 1998.12 |
| 中村俊彦 ¹⁾ , 網谷賢一 ²⁾ , 東海林智子 ³⁾ , 山口朋禎 ²⁾ , 寺田秀人 ²⁾ , 増田康文 ²⁾ , 村澤恒男 ²⁾ , 原文男 ²⁾ , 他(¹⁾ 第二病院消化器病センター, ²⁾ 第二病院内科) | (一般講演)頻回の血漿交換療法により救命し得た劇症肝炎(typeB亜急性型)の1例 | 第31回神奈川県消化器病医学会総会 | 1998.12 |
| 清水秀治, 長戸孝道, 古明地弘和, 長野具雄, 上田洋一, 大須賀勝, 関山達也, 勝田悌実, 里村克章, 荒牧琢己, 奥村英正 ¹⁾ (¹⁾ 東京白十字病院) | (一般講演)超高齢者の肝機能に関する検討 | 第33回日本成人病学会 | 1999.1 |
| 壬生倉徹志, 雪吹周生, 藤田信輔, 山本剛, 宮本新次郎, 青木 聡, 山中博之, 中込明裕, 井野 威, 鈴木 健, 長澤絃一(多摩永山病院内科) | (一般講演)冠攣縮性狭心症における運動負荷心電図の特徴 | 第33回日本成人病学会 | 1999.1 |
| 清水秀治, 長戸孝道, 古明地弘和, 長野具雄, 上田洋一, 大須賀勝, 関山達也, 勝田悌実, 里村克章, 荒牧琢己, 奥村英正 ¹⁾ (¹⁾ 東京白十字病院) | (一般講演)超高齢者の肝機能に関する検討 | 日本高齢消化器医学会議 | 1999.1 |
| 緒方憲一, 斎藤寛和, 品田卓郎, 清水秀一, 大野則彦, 遠藤康実, 野村教宣, 八島正明, 平山悦之, 小林義典, 新 博次, 加藤貴雄, 早川弘一 | (一般講演)活動電位持続時間はT波オルタナンスに関係するか?—単相性活動電位での検討— | 第9回体表心臓微小電位研究会 | 1999.2 |
| 淀川顕司, 高山英男, 加藤貴雄, 早川弘一 | (一般講演)ウェーブレット変換法を用いた心室性期外収縮二段脈の機序に関する検討 | 第9回体表心臓微小電位研究会 | 1999.2 |
| 谷口宏史, 清水秀治, 古明地弘和, 福間長知, 大須賀勝, 関山達也, 里村克章, 勝田悌実, 荒牧琢己, 内藤善哉 ¹⁾ (¹⁾ 第二病院) | (一般講演)自己免疫性肝炎に多核巨細胞を認めた1剖検例 | 日本医科大学医学会第97回例会 | 1999.2 |

| 演者名 | 演題名 | 学会名 | 年月 |
|--|--|--------------------------|--------|
| 小野いすず, 小野卓哉, 斎藤寛和, 岩崎雄樹, 大野則彦, 松本 真, 小林義典, 新博次, 加藤貴雄, 岸田 浩, 早川弘一, 本間 博 ¹⁾ , 斉藤公一 ¹⁾ (¹⁾ 生理機能センター) | (一般講演)起立性洞頻脈症候群(POTS)の自律神経学的特徴:薬理的自律神経負荷試験による検討 | 日本医科大学医学会第97回例会 | 1999.2 |
| 竹永清人, 土田貴哉, 稲見茂信, 横山真也, 大場崇芳, 張 静, 松本 真, 大村和子, 酒井俊太, 大國眞一, 水野杏一(千葉北総病院内科) | (一般講演) β -blocker投与により冠動脈攣縮が誘発されたと推測された1例 | 日本医科大学医学会第97回例会 | 1999.2 |
| 大野忠明, 山中博之, 田寺 長, 藤田信輔, 井野 威, 鈴木 健, 長澤紘一(多摩永山病院内科) | (一般講演)ヒト坑マウス抗体(HAMA)による腫瘍マーカー及び甲状腺ホルモン異常値のため診断に困窮した1例 | 日本医科大学医学会第97回例会 | 1999.2 |
| 菊池有紀子, 金子晴生, 古明地弘和, 斉藤勉, 関山達也, 荒牧琢己 | (一般講演)興味あるMechado-Joseph病の1例 | 第470回日本内科学会関東地方会 | 1999.2 |
| 壬生倉徹志, 藤田信輔, 田寺 長, 遠藤康実, 山中博之, 中込明裕, 雪吹周生, 井野威, 鈴木 健, 長澤紘一(多摩永山病院内科) | (一般講演)心臓 β 受容体ダウンレギュレーションが原因と推測された無症候性褐色細胞腫の1例 | 第470回日本内科学会関東地方会 | 1999.2 |
| 淀川颯司, 小野卓哉, 桜井 薫, 古明地弘和, 斉藤 勉, 大須賀勝, 関山達也, 里村克章, 勝田梯実, 荒牧琢己 | (一般講演)3年間で病理組織所見の明らかな伸展を認めたNon-alcoholic steatohepatitis (NASH)の1例 | 第253回日本消化器病学会関東支部例会 | 1999.2 |
| 林 明聡, 小野卓哉, 小林義典, 斎藤寛和, 清野精彦, 新博次, 岸田 浩, 早川弘一, 高野照夫 | (一般講演)著明な右室脂肪浸潤を認めた筋緊張性ジストロフィーの1剖検例 | 日本循環器学会関東甲信越地方会第171回学術集会 | 1999.2 |
| 愛須紀子 ¹⁾ , 高橋保裕 ¹⁾ , 野村教宣 ¹⁾ , 清宮康嗣 ¹⁾ , 松田裕之 ¹⁾ , 今泉孝敬 ¹⁾ , 田中啓治 ¹⁾ , 大場崇芳 ²⁾ , 他(¹⁾ 千葉北総病院集中治療部, ²⁾ 同内科) | (一般講演)ハイドロライザーによる血栓吸引療法を行った急性肺血栓塞栓症を伴うKlippel-Trenaury-weber症候群(KTWS)の1例 | 日本循環器学会関東甲信越地方会第171回学術集会 | 1999.2 |
| 高橋保裕 ¹⁾ , 酒井俊太 ²⁾ , 田邊 潤 ²⁾ , 稲見茂信 ²⁾ , 横山真也 ²⁾ , 大場崇芳 ²⁾ , 張 静 ²⁾ , 松本 真 ²⁾ , 大村和子 ²⁾ , 大國眞一 ²⁾ , 水野杏一 ²⁾ , 清宮康嗣 ¹⁾ , 松田裕之 ¹⁾ , 今泉孝敬 ¹⁾ , 田中啓治 ¹⁾ , 他(¹⁾ 千葉北総病院集中治療部, ²⁾ 同内科) | (一般講演)"empty lipid pool"像を血管内視鏡と血管内エコーで観察した非Q波前壁梗塞の1例 | 日本循環器学会関東甲信越地方会第171回学術集会 | 1999.2 |

| 演者名 | 演題名 | 学会名 | 年月 |
|--|---|--------------------|--------|
| 堀江 格, 緒方憲一, 古明地弘和, 斉藤 勉, 荒牧琢己, 楠 進 ¹⁾ (¹⁾ 東京大学脳神経内科) | (一般講演)Cytomegalovirusによる抗GM2抗体陽性Guillain-Barre症候群の1例 | 第471回日本内科学会関東地方会 | 1999.3 |
| 上村竜太, 小谷英太郎, 関戸司久, 小倉宏道, 川口直美, 木内 要, 子島 潤, 高山守正, 高野照夫(集中治療室) | (一般講演)IABP support中にpressurewireにて冠動脈内圧測定が可能であった1症例 | 第19回IABP研究会 | 1999.2 |
| 清水秀一, 緒方憲一, 八島正明, 平山悦之, 大坂元久, 小林義典, 斉藤寛和, 新 博次, 加藤貴雄, 岸田 浩, 早川弘一 | (一般講演)心房細動停止過程における細動波の周波数解析 | 第16回時間循環器研究会 | 1999.3 |
| 高山守正 ¹⁾ , 関戸司久 ¹⁾ , 小谷英太郎 ¹⁾ , 上村竜太 ¹⁾ , 川口直美 ¹⁾ , 小倉宏道 ¹⁾ , 池崎弘之 ¹⁾ , 木内 要 ¹⁾ , 安武安弘, 草間芳樹, 高野照夫 ¹⁾ , 早川弘一(¹⁾ 集中治療室) | (一般講演)心臓集中治療における急性心筋梗塞への冠動脈Stent治療の普及と第二世代Stentによる成績の向上 | 第26回日本集中治療医学会総会 | 1999.3 |
| 設楽敏朗 ¹⁾ , 池崎弘之 ¹⁾ , 高野照夫 ¹⁾ , 竹田晋浩 ²⁾ , 小川 龍 ¹⁾ (¹⁾ 集中治療室, ²⁾ 麻酔科) | (一般講演)集中治療におけるBiPAP利用に対する再考 | 第26回日本集中治療医学会総会 | 1999.3 |
| 田中啓治, 吉田博史, 野村敦宣, 高山英男, 今泉孝敬, 他(千葉北総病院集中治療部) | (一般講演)海外, 航空機内, 空港で発症した重症循環器疾患患者の新東京国際空港: 病院間移送について | 第26回日本集中治療医学会総会 | 1999.3 |
| 鈴木規仁 ¹⁾ , 池崎弘之 ²⁾ , 設楽敏朗 ²⁾ , 杖下隆哉 ¹⁾ , 中西一浩 ¹⁾ , 竹田晋浩 ¹⁾ , 高山守正 ²⁾ , 高野照夫 ²⁾ , 小川 龍 ¹⁾ (¹⁾ 麻酔科, ²⁾ 集中治療室) | (一般講演)右室駆出率測定用スワンガンツカテーテルを用いた食道癌術後管理の検討 | 第26回日本集中治療医学会総会 | 1999.3 |
| 田邊 潤 ¹⁾ , 今泉孝敬 ¹⁾ , 野村敦宣 ¹⁾ , 酒井俊太 ²⁾ , 高山英男 ²⁾ , 岡松健太郎 ²⁾ , 池田真人 ¹⁾ , 田中啓治 ¹⁾ (¹⁾ 千葉北総病院集中治療部, ²⁾ 同内科) | (一般講演)開頭術中に左内胸動脈グラフト(LITAG)閉塞を起こし, 緊急ステント留置術を行い救命しえた発症機序希少な1例 | 第26回日本集中治療医学会総会 | 1999.3 |
| 清宮康嗣 ¹⁾ , 高橋保裕 ¹⁾ , 愛須紀子 ¹⁾ , 松田裕之 ¹⁾ , 高山英男 ¹⁾ , 野村敦宣 ¹⁾ , 小原俊彦 ¹⁾ , 今泉孝敬 ¹⁾ , 田中啓治 ¹⁾ , 加藤貴雄 ¹⁾ (千葉北総病院集中治療部) | (一般講演)急性心筋梗塞に伴う虚血性不整脈に対するカリウムチャネル遮断薬MS-551の有用性 | 第63回日本循環器学会総会・学術集会 | 1998.3 |

| 演 者 名 | 演 題 名 | 学 会 名 | 年 月 |
|--|--|-----------------|--------|
| 今泉孝敬, 田中啓治, 野村敦宣, 小原俊彦, 高山英男, 吉田博史, 森田典成, 品田卓也, 土田貴也, 田邊 潤, 池田真人(千葉北総病院集中治療部) | (一般講演)大動脈バルンパンピング(IABP)抜去時における経皮的血管縫合器(Proster-XL)の有用性について | 第26回日本集中治療医学会総会 | 1999.3 |
| 高山英男, 野村敦宣, 今泉孝敬, 田中啓治(千葉北総病院集中治療部) | (一般講演)心不全急性増悪期の血中ANP濃度とBNP濃度の関係:サブセットを用いた検討 | 第26回日本集中治療医学会総会 | 1999.3 |
| 徳山権一 ¹⁾ , 木内 要 ¹⁾ , 上村竜太 ¹⁾ , 小谷英太郎 ¹⁾ , 川口直美 ¹⁾ , 小倉宏道 ¹⁾ , 関戸司久 ¹⁾ , 子島 潤 ¹⁾ , 高山守正 ¹⁾ , 清野精彦 ¹⁾ , 高野照夫 ¹⁾ , 早川弘一 ¹⁾ (集中治療室) | (一般講演)急性肺血栓塞栓症の短期予後規定因子は何か? | 第26回日本集中治療医学会総会 | 1999.3 |
| 坪 宏一 ¹⁾ , 子島 潤 ¹⁾ , 木内 要 ¹⁾ , 高山守正 ¹⁾ , 高野照夫 ¹⁾ , 島井新一郎, 早川弘一, 杉本忠彦 ²⁾ , 佐々木建志 ³⁾ (¹⁾ 集中治療室, ²⁾ 海老名総合付属東病院) | (一般講演)急性大動脈解離160例の年代による治療法の変遷と予後の改善 | 第26回日本集中治療医学会総会 | 1999.3 |
| 高山英男, 小原俊彦, Sutovsky I, 吳 小怡, 加藤貴雄, 岸田 浩, 早川弘一 | (一般講演)ウェーブレット変換を用いた心電図QRS高周波微小成分の検討—第3報:心筋症における心室頻拍との関連性 | 第63回日本循環器学会学術集会 | 1999.3 |
| 木内 要 ¹⁾ , 高野照夫 ¹⁾ , 淀川顕司 ¹⁾ , 子島 潤 ¹⁾ , 高山守正 ¹⁾ , 早川弘一 ¹⁾ (集中治療室) | (一般講演)重症左心不全における右心機能の役割—右心機能と神経液性因子— | 第63回日本循環器学会学術集会 | 1999.3 |
| 説田浩一 ¹⁾ , 清水秀一 ¹⁾ , 小野卓哉 ¹⁾ , 荒尾正人 ¹⁾ , 宮武佳子 ¹⁾ , 大塚俊昭 ²⁾ , 小川 剛 ²⁾ , 清野精彦, 高野照夫, 清宮康嗣, 岸田 浩, 早川弘一(¹⁾ 都立駒込病院循環器科, ²⁾ 博慈会記念総合病院循環器内科) | (一般講演)慢性心不全症例における血清心筋Troponin T値と可溶性Fas及びFas Ligandとの関連:潜在性心筋傷害はapoptosisと関係するか? | 第63回日本循環器学会学術集会 | 1999.3 |
| 及川恵子, 福間長知, 草間芳樹, 宗像一雄, 岸田 浩, 早川弘一, 汲田伸一郎 ¹⁾ , 隈崎達夫 ¹⁾ (¹⁾ 放射線科) | (一般講演)心臓および末梢の交感神経機能が運動負荷時心拍反応へおよぼす影響—心臓と骨格筋MIBGによる検討— | 第63回日本循環器学会学術集会 | 1999.3 |
| 馬淵浩輔, 福間長知, 及川恵子, 富村正登, 松田裕之, 福間祐美子, 斉藤 勉, 草間芳樹, 宗像一雄, 岸田 浩 | (一般講演)Cardiac syndrome Xにおける運動負荷初期の心拍反応異常—自律神経機能指標を用いた機序の検討— | 第63回日本循環器学会学術集会 | 1999.3 |

| 演 者 名 | 演 題 名 | 学 会 名 | 年 月 |
|---|--|-----------------|--------|
| 及川恵子, 福岡長知, 宗像一雄, 馬淵浩輔, 松田裕之, 富村正登, 福岡祐美子, 佐野純子, 斉藤 勉, 岸田 浩 | (一般講演)神経性調節機能の障害に伴う運動負荷時の下肢易疲労性一圧受容体反射感受性を用いた検討一 | 第63回日本循環器学会学術集会 | 1999.3 |
| 福本裕子, 清野精彦, 富田喜文, 草間芳樹, 岸田 浩, 早川弘一, 浅野伍朗 ⁽¹⁾ (病理学) | (一般講演)自然発症高血圧ラット Adriamycin心筋症におけるapoptosisの発現とcilazaprilの心筋保護効果に関する検討 | 第63回日本循環器学会学術集会 | 1999.3 |
| 小谷英太郎 ⁽¹⁾ , 高山守正 ⁽¹⁾ , 上村竜太 ⁽¹⁾ , 関戸司久 ⁽¹⁾ , 石井健輔 ⁽¹⁾ , 高木啓倫, 笠神康平, 藤田進彦, 酒井俊太, 内田高浩, 安武正弘, 今泉孝敬, 木内 要 ⁽¹⁾ , 富田喜文, 草間芳樹, 子島 潤 ⁽¹⁾ , 宗像一雄, 高野照夫 ⁽¹⁾ (集中治療室) | (一般講演)急性心筋梗塞STENT治療における血栓溶解薬先行投与の再狭窄予防効果 | 第63回日本循環器学会学術集会 | 1999.3 |
| 斉藤 勉, 田邊浩子, 高橋 啓, 及川恵子, 馬淵浩輔, 富村正登, 葉梨亜矢, 哲翁・塚田弥生, 福岡祐美子, 佐野純子, 福岡長知, 草間芳樹, 岸田 浩, 早川弘一 | (一般講演)異型狭心症における冠動脈トームスとMacrophage Colony Stimulating Factor | 第63回日本循環器学会学術集会 | 1999.3 |
| 大野則彦, 斎藤寛和, 岩崎雄樹, 松本 真, 緒方憲一, 小野卓哉, 野村敦宣, 大坂元久, 小林義典, 新 博次, 加藤貴雄, 岸田 浩, 早川弘一 | (一般講演)T波の時間的変動一T波オルタナンスとQT variability indexの比較一 | 第63回日本循環器学会学術集会 | 1999.3 |
| 加藤貴雄, 飯沼宏之 ⁽¹⁾ , 井上 博 ⁽¹⁾ , 大江 透 ⁽¹⁾ , 小川 聡 ⁽¹⁾ , 笠貫 宏 ⁽¹⁾ , 田邊晃久 ⁽¹⁾ , 早川弘一 ⁽¹⁾ (JALT-2実行委員会) | (一般講演)頻脈性不整脈に対する長期薬物治療に関する大規模前向き調査 JALT-2報告一第1報:登録例の臨床背景と長期予後について一 | 第63回日本循環器学会学術集会 | 1999.3 |
| 大場崇芳 ⁽¹⁾ , 水野杏一 ⁽¹⁾ , 大國眞一 ⁽¹⁾ , 稲見茂信 ⁽¹⁾ , 横山真也 ⁽¹⁾ , 松本 真 ⁽¹⁾ , 張 静 ⁽¹⁾ , 大村和子 ⁽¹⁾ , 酒井俊太 ⁽¹⁾ , 田中啓治 ⁽¹⁾ , 今泉孝敬 ⁽¹⁾ , 清宮康嗣 ⁽¹⁾ , 竹永清人 ⁽¹⁾ , 早川弘一 ⁽¹⁾ (千葉北総病院内科) | (一般講演)炎症性疾患は急性冠症候群の発症因子になりうるか?一冠動脈内視鏡による検討一 | 第63回日本循環器学会学術集会 | 1999.3 |
| 小野卓哉, 斎藤寛和, 小野いすず, 岩崎雄樹, 大野則彦, 小林義典, 本間 博, 新 博次, 加藤貴雄, 岸田 浩, 早川弘一 | (一般講演)起立性洞頻脈症候群の自律神経学的特徴 | 第63回日本循環器学会学術集会 | 1999.3 |
| 林 明聡, 小林義典, 森田典成, 岩崎雄樹, 宮内靖史, 斎藤寛和, 新 博次, 加藤貴雄, 岸田 浩, 早川弘一, 矢島俊己 ⁽¹⁾ , 新田 隆 ⁽¹⁾ , 田中茂夫 ⁽¹⁾ (第二外科) | (一般講演)植え込み型除細動器適応後の致死性心室性不整脈自然発生と非侵襲的EPSによる誘発不整脈重症度の経時的変動との関係 | 第63回日本循環器学会学術集会 | 1999.3 |

| 演 者 名 | 演 題 名 | 学 会 名 | 年 月 |
|---|--|-----------------|--------|
| 笠神康平, 本間 博, 大塚俊昭, 斉藤 勉, 安武正弘, 草間芳樹, 宗像一雄, 岸田 浩, 早川弘一 | (一般講演)ドブタミン負荷心エコー図(DSE)偽陽性例と真陽性例の判別は可能か? | 第63回日本循環器学会学術集会 | 1999.3 |
| 本間 博, 草間芳樹, 大塚俊昭, 桜井 薫, 内田拓実, 宗像一雄, 岸田 浩, 早川弘一 | (一般講演)ドブタミン負荷心エコー法とintegrated backscatterによる心筋viability評価 | 第63回日本循環器学会学術集会 | 1999.3 |
| 高山守正, 本間 博, 松崎つや子, 草間芳樹, 関戸司久, 小谷英太郎, 上村竜太, 桜井 薫, 内田高浩, 安武正弘, 宗像一雄, 岸田 浩, 高野照夫 | (一般講演)経皮的中隔心筋焼灼術(PTSD)における心筋コントラストエコー使用の有用性:閉塞責任肥大心筋焼灼への至適中隔枝同定 | 第63回日本循環器学会学術集会 | 1999.3 |
| ストフスキーイゴル, 吳 小怡, 高山英男, 加藤貴雄, 早川弘一 | (一般講演)抗不整脈薬TDMにおける高分解能心電図の応用 | 第63回日本循環器学会学術集会 | 1999.3 |
| 緒方憲一, 斎藤寛和, 清水秀一, 野村敦宣, 遠藤康実, 八島正明, 平山悦之, 小林義典, 新 博次, 加藤貴雄, 岸田 浩, 早川弘一 | (一般講演)Ia群抗不整脈薬による再分極時間延長はマイクロボルトレベルのT波オルタナンスを増大するか? | 第63回日本循環器学会学術集会 | 1999.3 |
| 清野精彦, 大林完二 ¹⁾ (¹⁾ 大林内科医院(Tokyo TROP T Trial代表) | (一般講演)循環器救急外来における心筋Troponin T全血迅速判定パネルテストの効用と医療経済的評価:Tokyo Troponin T Trialの分析 | 第63回日本循環器学会学術集会 | 1999.3 |
| 柏木睦美, 清野精彦, 塚本 浩, 高野照夫, 岸田 浩, 早川弘一 | (一般講演)閉経女性において経皮estrogen補充療法は皮膚血流量を減じ反応性充血を抑制するが, 血流依存性血管拡張反応には影響しない | 第63回日本循環器学会学術集会 | 1999.3 |
| 福間長知, 及川恵子, 馬淵浩輔, 松田裕之, 富村正登, 福間祐美子, 佐野純子, 斉藤 勉, 宗像一雄, 岸田 浩, 早川弘一 | (一般講演)心不全患者における心室性期外収縮と圧受容体反射機能障害との関係 | 第63回日本循環器学会学術集会 | 1999.3 |
| 福間長知, 及川恵子, 松田裕之, 富村正登, 福間祐美子, 佐野純子, 斉藤 勉, 宗像一雄, 岸田 浩, 早川弘一, 汲田伸一郎 ²⁾ , 隈崎達夫 ³⁾ (¹⁾ 放射線科) | (一般講演)圧受容体反射感受性低下による交感神経系の機能異常—心臓および骨格筋MIBG検査を用いた検討— | 第63回日本循環器学会学術集会 | 1999.3 |

| 演 者 名 | 演 題 名 | 学 会 名 | 年 月 |
|--|--|-----------------|--------|
| 田辺浩子, 齊藤 勉, 高橋 啓, 及川恵子, 馬淵浩輔, 富村正登, 葉梨亜矢, 哲翁・塚田弥生, 福岡祐美子, 佐野純子, 福岡長知, 岸田 浩, 早川弘一 | (一般講演)n発現因子としてAdvanced Glycation End Products(AGE)とMacrophage Colony Stimulating Factor(M-CSF) | 第63回日本循環器学会学術集会 | 1999.3 |
| 高山守正, 草間芳樹, 本間 博, 富田喜文, 松崎つや子, 関戸司久, 小谷英太郎, 上村竜太, 桜井 薫, 内田高浩, 安武正弘, 宗像一雄, 岸田 浩, 高野照夫, 早川弘一 | (一般講演)閉塞性肥大型心筋症に対する経皮的中心筋焼灼術の臨床成績 | 第63回日本循環器学会学術集会 | 1999.3 |
| 森田典成, 小林義典, 阿部純子, 相澤瑞穂, 岩崎雄樹, 林 明聡, 宮内靖史, 平山悦之, 斎藤寛和, 新 博次, 岸田 浩, 早川弘一 | (一般講演)通常型心房粗動における下位右房解剖学的峡部の伝導様式の検討—特にprocainamideの時計回転方向伝導に対するpreferential effectについて— | 第63回日本循環器学会学術集会 | 1999.3 |
| 岩崎雄樹, 小林義典, 宮内靖史, 森田典成, 林 明聡, 川口直美, 斎藤寛和, 新 博次, 岸田 浩, 早川弘一, 井野 威 ¹⁾ , 大村和子 ²⁾ (¹⁾ 多摩永山病院内科, ²⁾ 千葉北総病院内科) | (一般講演)房室結節fast pathwayの心房筋への複数入力カテーテル・アブレーション施行前後の検討— | 第63回日本循環器学会学術集会 | 1999.3 |
| 小野卓哉, 斎藤寛和, 小野いすず, 岩崎雄樹, 大野則彦, 小林義典, 本間 博, 新 博次, 加藤貴雄, 岸田 浩, 早川弘一 | (一般講演)神経調節性失神の機序—Arterial baroreflex or Cardiopulmonary baroreflex? | 第63回日本循環器学会学術集会 | 1999.3 |
| 上村竜太 ¹⁾ , 高山守正 ¹⁾ , 小谷英太郎 ¹⁾ , 関戸司久 ¹⁾ , 酒井俊太 ¹⁾ , 木内 要 ¹⁾ , 子島 潤 ¹⁾ , 高野照夫 ¹⁾ , 桜井 薫, 内田高浩, 安武正弘, 富田喜文, 草間芳樹(¹⁾ 集中治療室) | (一般講演)急性心筋梗塞に対する急性期PTCA後の梗塞部壁運動障害回復と冠内圧動態との関係 | 第63回日本循環器学会学術集会 | 1999.3 |
| 林 明聡, 小林義典, 宮内靖史, 森田典成, 岩崎雄樹, 川口直美, 大村和子, 平山悦之, 斎藤寛和, 新 博次, 加藤貴雄, 岸田 浩, 早川弘一 | (一般講演)房室結節リエントリー性頻拍アブレーションにおける三尖弁輪—冠静脈洞間線状焼灼と電位ガイド下点状焼灼との急性効果の比較 | 第63回日本循環器学会学術集会 | 1999.3 |
| 酒井俊太 ¹⁾ , 稲見茂信 ¹⁾ , 横山真也 ¹⁾ , 大場崇芳 ¹⁾ , 松本 真 ¹⁾ , 張 静 ¹⁾ , 大村和子 ¹⁾ , 大國真一 ¹⁾ , 水野杏一 ¹⁾ , 清宮康嗣 ²⁾ , 松田裕之 ²⁾ , 野村敦宣 ²⁾ , 今泉孝敏 ²⁾ , 田中啓治 ²⁾ , 早川弘一(¹⁾ 千葉北総病院内科, ²⁾ 同集中治療部) | (一般講演)冠動脈インターベンション時の冠動脈内視鏡施行の意義に関する検討 | 第63回日本循環器学会学術集会 | 1999.3 |
| 横山真也 ¹⁾ , 水野杏一 ¹⁾ , 稲見茂信 ¹⁾ , 大場崇芳 ¹⁾ , 松本 真 ¹⁾ , 張 静 ¹⁾ , 大村和子 ¹⁾ , 酒井俊太 ¹⁾ , 大國真一 ¹⁾ , 早川弘一(¹⁾ 千葉北総病院内科) | (一般講演)急性冠疾患に関する黄色ブラークの意義 | 第63回日本循環器学会学術集会 | 1999.3 |

| 演 者 名 | 演 題 名 | 学 会 名 | 年 月 |
|--|--|--------------------------|---------|
| 岡松健太郎 ¹⁾ , 水野杏一 ¹⁾ , 大國眞一 ¹⁾ , 酒井俊太 ¹⁾ , 大村和子 ¹⁾ , 松本 真 ¹⁾ , 横山真也 ¹⁾ , 稲見茂信 ¹⁾ , 竹永清人 ¹⁾ , 張 静 ¹⁾ , 早川弘一 ¹⁾ (¹⁾ 千葉北総病院内科) | (一般講演)Acute Coronary Syndrome (ACS) 発症におけるCoronary Artery Distensibility (DIST) の重要性 | 第63回日本循環器学会学術集会 | 1999.3 |
| 佐々部典子 ¹⁾ , 斎藤寛和, 大坂元久, 新 博次, 早川弘一(¹⁾ NTT東京中央管理センター循環器科) | (一般講演)全ての発作性心房細動(PAF)は発症直前に副交感神経が興奮している?—心拍変動スペクトル解析(HRV)による分類と発症直前のRR間隔変化の検討から— | 第63回日本循環器学会学術集会 | 1999.3 |
| 稲見茂信, 竹永清人, 土田貴也, 張 静, 大場崇芳, 横山真也, 松本 真, 大村和子, 酒井俊太, 大國眞一, 水野杏一(千葉北総病院内科) | (一般講演)STENTの再狭窄が少ない機序—血管内視鏡による検討 | 第63回日本循環器学会総会 | 1999.3 |
| 横山真也, 水野杏一, 稲見茂信, 大場崇芳, 松本 真, 張 静, 大村和子, 酒井俊太, 大國眞一(千葉北総病院内科) | (一般講演)急性冠疾患に関する黄色プラークの意義 | 第63回日本循環器学会総会 | 1999.3 |
| 横山真也, 町井正人, 杉本忠彦, 岩原信一郎, 佐々木建志, 原田 厚(海老名総合病院附属東病院循環器センター) | (一般講演)慢性心房細動の心房有効不応期の不均一性 | 日本医科大学医学会第92回例会 | 1997.5 |
| 横山真也, 町井正人, 杉本忠彦, 岩原信一郎, 佐々木建志, 原田 厚(海老名総合病院附属東病院循環器センター) | (一般講演)慢性心房細動の心房有効不応期の不均一性 | 日本循環器学会関東甲信越地方会第164回学術集会 | 1997.6 |
| 大塚俊昭, 高野雅充, 富村正登, 佐野純子, 北村克弘, 大國眞一, 水野杏一, 岩崎雄樹, 坪 宏一, 星野公彦, 今泉孝敬, 田中啓治(千葉北総病院内科, 同集中治療部) | (一般講演)Wiktorステント挿入後ステント近位部, ステント内およびステント遠位部に長い高度狭窄を来した一例 | 第81回日本シネアンジオ研究会 | 1997.6 |
| 高野雅充, 酒井俊太, 大國眞一, 水野杏一(千葉北総病院内科) | (シンポジウム)Cutting Balloon Angioplastyにおける血管内エコーの有用性(Pressure Wire IVUS) | 第6回心血管イメージング研究会 | 1997.12 |
| 井野 威, 田寺 長, 大野忠明, 田中古登子, 宮本新次郎, 長澤紘一(多摩永山病院内科) | (一般講演)頻拍中に心房興奮様式および周期が複雑に変化した房室結節リエントリー頻拍の1例 | 第10回臨床不整脈研究回 | 1998.1 |
| 横山真也, 福田直人, 町井正人, 杉本忠彦, 岩原信一郎, 他(海老名総合病院附属東病院循環器センター) | (一般講演)慢性心房細動の心房有効不応期の不均一性 | 日本循環器学会第62回学術集会 | 1998.3 |